

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7132b
連合講座	共通
授業科目	獣医学特別講義 I
配置大学	
担当教員名	専任教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	共通必修
教育目標	<p>大学院で学ぶ者として基本的な事項の習得を目指す授業である。他大学の教員や学生と交流し、研究内容を知ることにより、視野をひろげ、創造力を深める。また、研究テーマにそったプレゼンテーションを行ってプレゼンテーション能力を高めると共に、研究交流を通じて、コミュニケーション能力を身につけることを目標とする。</p>
教育内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学院生にとって基本的な事項に関する講義 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究計画法および倫理 ・ 発表法と質疑応答法 ・ 論文執筆法 2. 研究計画発表 3. 研究者による講演
評価方法	出席状況および発表内容により評価する。
備考	講義は合宿形成で行い、全日程に参加する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7921e
連合講座	共通
授業科目	獣医学特別講義Ⅱ
配置大学	
担当教員名	専任教員あるいは教務担当の代議委員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	1
必修および選択	共通選択
教育目標	各大学にて講演会等を開催し、研究内容に関する広い視野と学際的な素養を身につける。また、研究内容のプレゼンテーションやワークショップを通じて研究課題に対するコミュニケーション手法を身につける。
教育内容	獣医学領域に関する講演やワークショップに参加する。
評価方法	授業への出席状況および質疑応答などを基に総合的に評価する。
備考	連合獣医学研究科主催の合同ゼミナールやワークショップにて読み替えもできる。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7931e
連合講座	共通
授業科目	獣医学特別講義Ⅲ
配置大学	
担当教員名	専任教員あるいは教務担当の代議委員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	1
必修および選択	共通選択
教育目標	各大学にて講演会等を開催し、研究内容に関する広い視野と学際的な素養を身につける。また、研究内容のプレゼンテーションやワークショップを通じて研究課題に対するコミュニケーション手法を身につける。
教育内容	獣医学領域に関する講演やワークショップに参加する。
評価方法	授業への出席状況および質疑応答などを基に総合的に評価する。
備考	連合獣医学研究科主催の合同ゼミナールやワークショップにて読み替えもできる。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7811b
連合講座	共通
授業科目	学際領域特別講義 I
配置大学	
担当教員名	専任教員あるいは教務担当の代議委員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	1
必修および選択	共通必修
教育目標	実施大学以外の 3 大学および連携機関の教員による獣医学領域に関する視野の拡大を目標とした授業である。
教育内容	各教員の研究の専門性を生かした内容の授業である。
評価方法	授業への出席状況および質疑応答などを基に総合的に評価する。
備考	1 回が 3 講義からなり、全ての受講が必要である。配置大学以外での受講も可能である。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7821b
連合講座	共通
授業科目	学際領域特別講義Ⅱ
配置大学	
担当教員名	専任教員あるいは教務担当の代議委員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	1
必修および選択	共通必修
教育目標	実施大学以外の 3 大学および連携機関の教員による獣医学領域に関する視野の拡大を目標とした授業である。
教育内容	各教員の研究の専門性を生かした内容の授業である。
評価方法	授業への出席状況および質疑応答などを基に総合的に評価する。
備考	1 回が 3 講義からなり、全ての受講が必要である。配置大学以外での受講も可能である。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7013b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特別演習(I)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	<p>主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。</p>
教育内容	<p>主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。</p>
評価方法	<p>履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・学位論文作成指導の本体をなすものです。 ・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7012b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特別実験(I)
配置大学	
担当教員名	主指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	第一副指導教員が履修者の研究内容に応じて実験上の知識の教授と助言を行い、学位論文の作成を支援する。
教育内容	履修者が論文作成上に必要とする実験的手法について、第一副指導教員から指導を受ける。
評価方法	実験手法の習得を含めて総合的に評価する。
備考	第一副指導教員が履修者を直接指導する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7111e
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I c)
配置大学	
担当教員名	外国人講師 (専任教員)
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	1
必修および選択	選択
教育目標	研究者に必要な英語の基礎的な能力を育成する。外国人講師により会話力を高め質疑応答力を身につけることを目標とする。
教育内容	<ul style="list-style-type: none">・英語の基礎的な能力を育成するため、英語による論文作成、プレゼンテーション、質疑応答などの手法を学ぶ。・詳しいプログラムは別に定める。
評価方法	授業への出席状況および質疑応答などを基に総合的に評価する。
備考	外国人講師による科学英語である。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7023b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特別演習(Ⅱ)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。
教育内容	主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。
評価方法	履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・学位論文作成指導の本体をなすものです。・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7022b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特別実験(Ⅱ)
配置大学	
担当教員名	第二副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	第二副指導教員が履修者の研究内容に応じて実験上の知識の教授と助言を行い、学位論文の作成を支援する。
教育内容	履修者が論文作成上に必要とする実験的手法について、第二副指導教員から指導を受ける。
評価方法	実験手法の習得を含めて総合的に評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・第二副指導教員が履修者を直接指導する。・履修者が第二副指導教員を訪問し、直接指導をうけることがある。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121e
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論（Ⅱc）
配置大学	
担当教員名	外国人講師（専任教員）
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	1
必修および選択	選択
教育目標	研究者に必要な英語能力を育成する。外国人講師により会話力を高め質疑応答力を身につけることを目標とする。
教育内容	英語の応用能力を育成するため、英語による論文作成、プレゼンテーション、質疑応答などの手法を学ぶ。
評価方法	授業への出席状況および質疑応答などを基に総合的に評価する。
備考	外国人講師による科学英語である。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7033b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特別演習(Ⅲ)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。
教育内容	主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。
評価方法	履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・学位論文作成指導の本体をなすものです。・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7132b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特別実験(Ⅲ)
配置大学	
担当教員名	連携機関の教員など（専任教員）
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	海外の学会参加・発表や連携機関および海外の研究機関での研修を通じて、国際性と実践力を育成する。国際的に通用する高度な思考能力を育成する。
教育内容	連携機関が主催する研修に参加し、実践力を磨く。あるいは、海外フィールド実習か海外短期集中コースに参加する。または、海外で開催される国際学会に参加して発表する。
評価方法	海外研修や国内研修、実践実習への参加状況および報告書などを基に総合的に評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・研究科が提供する連携機関の実践実習、海外フィールド実習、海外短期集中コースのいずれかに参加する。・実践実習は主に 3 年次学生を対象に実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7143b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特別演習(Ⅳ)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。
教育内容	主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。
評価方法	履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・学位論文作成指導の本体をなすものです。・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7213b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特別演習(I)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	<p>主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。</p>
教育内容	<p>主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。</p>
評価方法	<p>履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・学位論文作成指導の本体をなすものです。 ・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7212b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特別実験(I)
配置大学	
担当教員名	主指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	第一副指導教員が履修者の研究内容に応じて実験上の知識の教授と助言を行い、学位論文の作成を支援する。
教育内容	履修者が論文作成上に必要とする実験的手法について、第一副指導教員から指導を受ける。
評価方法	実験手法の習得を含めて総合的に評価する。
備考	第一副指導教員が履修者を直接指導する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7311e
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I c)
配置大学	
担当教員名	外国人講師 (専任教員)
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	1
必修および選択	選択
教育目標	研究者に必要な英語の基礎的な能力を育成する。外国人講師により会話力を高め質疑応答力を身につけることを目標とする。
教育内容	<ul style="list-style-type: none">・英語の基礎的な能力を育成するため、英語による論文作成、プレゼンテーション、質疑応答などの手法を学ぶ。・詳しいプログラムは別に定める。
評価方法	授業への出席状況および質疑応答などを基に総合的に評価する。
備考	外国人講師による科学英語である。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7223b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特別演習(Ⅱ)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。
教育内容	主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。
評価方法	履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・学位論文作成指導の本体をなすものです。・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7222b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特別実験(Ⅱ)
配置大学	
担当教員名	第二副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	第二副指導教員が履修者の研究内容に応じて実験上の知識の教授と助言を行い、学位論文の作成を支援する。
教育内容	履修者が論文作成上に必要とする実験的手法について、第二副指導教員から指導を受ける。
評価方法	実験手法の習得を含めて総合的に評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・ 第二副指導教員が履修者を直接指導する。・ 履修者が第二副指導教員を訪問し、直接指導をうけることがある。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321e
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論（Ⅱc）
配置大学	
担当教員名	外国人講師（専任教員）
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	1
必修および選択	選択
教育目標	研究者に必要な英語能力を育成する。外国人講師により会話力を高め質疑応答力を身につけることを目標とする。
教育内容	英語の応用能力を育成するため、英語による論文作成、プレゼンテーション、質疑応答などの手法を学ぶ。
評価方法	授業への出席状況および質疑応答などを基に総合的に評価する。
備考	外国人講師による科学英語である。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7233b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特別演習(Ⅲ)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。
教育内容	主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。
評価方法	履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・学位論文作成指導の本体をなすものです。・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7332b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特別実験(Ⅲ)
配置大学	
担当教員名	連携機関の教員など（専任教員）
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	海外の学会参加・発表や連携機関および海外の研究機関での研修を通じて、国際性と実践力を育成する。国際的に通用する高度な思考能力を育成する。
教育内容	連携機関が主催する研修に参加し、実践力を磨く。あるいは、海外フィールド実習か海外短期集中コースに参加する。または、海外で開催される国際学会に参加して発表する。
評価方法	海外研修や国内研修、実践実習への参加状況および報告書などを基に総合的に評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・研究科が提供する連携機関の実践実習、海外フィールド実習、海外短期集中コースのいずれかに参加する。 ・実践実習は主に 3 年次学生を対象に実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7343b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特別演習(Ⅳ)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。
教育内容	主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。
評価方法	履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・学位論文作成指導の本体をなすものです。・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7413b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特別演習(I)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	<p>主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。</p>
教育内容	<p>主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。</p>
評価方法	<p>履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・学位論文作成指導の本体をなすものです。 ・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7412b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特別実験(I)
配置大学	
担当教員名	主指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	第一副指導教員が履修者の研究内容に応じて実験上の知識の教授と助言を行い、学位論文の作成を支援する。
教育内容	履修者が論文作成上に必要とする実験的手法について、第一副指導教員から指導を受ける。
評価方法	実験手法の習得を含めて総合的に評価する。
備考	第一副指導教員が履修者を直接指導する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7511e
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I c)
配置大学	
担当教員名	外国人講師 (専任教員)
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	1
必修および選択	選択
教育目標	研究者に必要な英語の基礎的な能力を育成する。外国人講師により会話力を高め質疑応答力を身につけることを目標とする。
教育内容	<ul style="list-style-type: none">・英語の基礎的な能力を育成するため、英語による論文作成、プレゼンテーション、質疑応答などの手法を学ぶ。・詳しいプログラムは別に定める。
評価方法	授業への出席状況および質疑応答などを基に総合的に評価する。
備考	外国人講師による科学英語である。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7423b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特別演習(Ⅱ)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。
教育内容	主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。
評価方法	履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・学位論文作成指導の本体をなすものです。・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7422b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特別実験(Ⅱ)
配置大学	
担当教員名	第二副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	第二副指導教員が履修者の研究内容に応じて実験上の知識の教授と助言を行い、学位論文の作成を支援する。
教育内容	履修者が論文作成上に必要とする実験的手法について、第二副指導教員から指導を受ける。
評価方法	実験手法の習得を含めて総合的に評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・ 第二副指導教員が履修者を直接指導する。・ 履修者が第二副指導教員を訪問し、直接指導をうけることがある。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521e
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱc）
配置大学	
担当教員名	外国人講師（専任教員）
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	1
必修および選択	選択
教育目標	研究者に必要な英語能力を育成する。外国人講師により会話力を高め質疑応答力を身につけることを目標とする。
教育内容	英語の応用能力を育成するため、英語による論文作成、プレゼンテーション、質疑応答などの手法を学ぶ。
評価方法	授業への出席状況および質疑応答などを基に総合的に評価する。
備考	外国人講師による科学英語である。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7433b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特別演習(Ⅲ)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。
教育内容	主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。
評価方法	履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・学位論文作成指導の本体をなすものです。・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7532b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特別実験(Ⅲ)
配置大学	
担当教員名	連携機関の教員など（専任教員）
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	海外の学会参加・発表や連携機関および海外の研究機関での研修を通じて、国際性と実践力を育成する。国際的に通用する高度な思考能力を育成する。
教育内容	連携機関が主催する研修に参加し、実践力を磨く。あるいは、海外フィールド実習か海外短期集中コースに参加する。または、海外で開催される国際学会に参加して発表する。
評価方法	海外研修や国内研修、実践実習への参加状況および報告書などを基に総合的に評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・研究科が提供する連携機関の実践実習、海外フィールド実習、海外短期集中コースのいずれかに参加する。 ・実践実習は主に 3 年次学生を対象に実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7543b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特別演習(Ⅳ)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。
教育内容	主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。
評価方法	履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・学位論文作成指導の本体をなすものです。・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7613b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特別演習(I)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。
教育内容	主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。
評価方法	履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・学位論文作成指導の本体をなすものです。・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7612b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特別実験(I)
配置大学	
担当教員名	主指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	第一副指導教員が履修者の研究内容に応じて実験上の知識の教授と助言を行い、学位論文の作成を支援する。
教育内容	履修者が論文作成上に必要とする実験的手法について、第一副指導教員から指導を受ける。
評価方法	実験手法の習得を含めて総合的に評価する。
備考	第一副指導教員が履修者を直接指導する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7711e
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I c)
配置大学	
担当教員名	外国人講師 (専任教員)
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	1
必修および選択	選択
教育目標	研究者に必要な英語の基礎的な能力を育成する。外国人講師により会話力を高め質疑応答力を身につけることを目標とする。
教育内容	<ul style="list-style-type: none">・英語の基礎的な能力を育成するため、英語による論文作成、プレゼンテーション、質疑応答などの手法を学ぶ。・詳しいプログラムは別に定める。
評価方法	授業への出席状況および質疑応答などを基に総合的に評価する。
備考	外国人講師による科学英語である。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7623b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特別演習(Ⅱ)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。
教育内容	主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。
評価方法	履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・学位論文作成指導の本体をなすものです。・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7622b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特別実験(Ⅱ)
配置大学	
担当教員名	第二副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	第二副指導教員が履修者の研究内容に応じて実験上の知識の教授と助言を行い、学位論文の作成を支援する。
教育内容	履修者が論文作成上に必要とする実験的手法について、第二副指導教員から指導を受ける。
評価方法	実験手法の習得を含めて総合的に評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・ 第二副指導教員が履修者を直接指導する。・ 履修者が第二副指導教員を訪問し、直接指導を受けることがある。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721e
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論（Ⅱc）
配置大学	
担当教員名	外国人講師（専任教員）
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	1
必修および選択	選択
教育目標	研究者に必要な英語能力を育成する。外国人講師により会話力を高め質疑応答力を身につけることを目標とする。
教育内容	英語の応用能力を育成するため、英語による論文作成、プレゼンテーション、質疑応答などの手法を学ぶ。
評価方法	授業への出席状況および質疑応答などを基に総合的に評価する。
備考	外国人講師による科学英語である。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7633b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特別演習(Ⅲ)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。
教育内容	主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。
評価方法	履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・学位論文作成指導の本体をなすものです。・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7732b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特別実験(Ⅲ)
配置大学	
担当教員名	連携機関の教員など（専任教員）
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	海外の学会参加・発表や連携機関および海外の研究機関での研修を通じて、国際性と実践力を育成する。国際的に通用する高度な思考能力を育成する。
教育内容	連携機関が主催する研修に参加し、実践力を磨く。あるいは、海外フィールド実習か海外短期集中コースに参加する。または、海外で開催される国際学会に参加して発表する。
評価方法	海外研修や国内研修、実践実習への参加状況および報告書などを基に総合的に評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・研究科が提供する連携機関の実践実習、海外フィールド実習、海外短期集中コースのいずれかに参加する。 ・実践実習は主に 3 年次学生を対象に実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7743b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特別演習(IV)
配置大学	
担当教員名	第一副指導教員
e-mail	
教育研究指導分野	
科目名	
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	主指導教員、第一副指導教員、第二副指導教員が履修者の研究内容について、期間内に学位論文が完成出来るように総合的に研究指導する。
教育内容	主指導教員が立てた研究指導に基づいて研究を遂行する。第一指導教員と第二副指導教員は、主指導教員の研究指導をサポートし履修者の研究を支援する。
評価方法	履修者の取組状況、研究成果、学位論文、審査会での質疑応答などを総合して評価する。
備考	<ul style="list-style-type: none">・学位論文作成指導の本体をなすものです。・一年次から学位論文完成まで、履修者が主指導教員、第一および第二副指導教員より日常的に研究指導がうけられるように心がける。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	北村 延夫
e-mail	kitamura@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	比較組織学
科目名	消化管の構造と制御組織
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	消化管の構造的特徴を食性と関連付けて理解し、それらの機能を調節する自律制御機構の組織学的成り立ちを理解する。消化管内分泌細胞および消化管神経の特徴について形態や含有する化学信号物質等に基づいて詳解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	鈴木 宏志
e-mail	hisuzuki@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	ゲノム機能学
科目名	発生・生殖工学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	発生工学の魅力は、興味ある遺伝子の機能を個体レベルで解析可能にすることにある。培養細胞を用いて血圧の制御にかかわる遺伝子の機能を観察することは困難だが、発生工学は生体の高次機構のなかで遺伝子機能を直接的に解析可能な検定系を提供できる。本授業では、発生工学とそれを支える生殖工学への理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	河津 信一郎
e-mail	skawazu@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	原虫病予防治療学
科目名	分子寄生虫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	「ポストゲノム」の原虫病研究では、遺伝子改変（トランスジェニック）技術を応用して、原虫ゲノムのリソースから真に有用な遺伝子を選別する研究手法が重要になると考える。このセミナーでは、トランスジェニック原虫の作製方法と、そのゲノム機能解析研究への応用法を理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	石井 利明
e-mail	ishii@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	神経薬理学
科目名	離乳と脳高次機能
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	離乳期に顕彰する自給本能発現における脳神経機構を解説し、動物行動を調節する脳高次機能の適応や発達の理解を深める。特に、離乳時の「固執」の変化は、動物行動と脳神経活動の因果関係や脳高次機能と心理学的発達の接点を理解する上で最適な題材となる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	古岡 秀文
e-mail	furuoka@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	病態病理学
科目名	感染病理
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	BSE やスクレイピーを含むプリオン病、ヘルペスウイルスをはじめとする神経系ウイルス感染症や Lawsonia をはじめとする消化管細菌感染症にみられる病態の特徴と病理学的診断法、ならびにこれら感染症にみられる宿主免疫について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	倉園 久生
e-mail	hkurazon@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	蛋白毒素科学
科目名	細菌感染症
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ある種の病原細菌は、蛋白毒素を産生して種々の病態を惹起する。現在までに病原細菌の産生する蛋白毒素が数多く報告され、あるものについてはその詳細な作用機作が分かっている。本授業では、細菌感染症を引き起こす病原細菌の産生する蛋白毒素の作用機作について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	猪熊 壽
e-mail	inokuma@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物内科学
科目名	大動物感染症の診断、治療および予防
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	大動物内科学において問題となる牛白血病などの難診断疾患、およびリケッチア、原虫などの人獣共通新興感染症を含む大動物の感染症について、その診断、治療および予防に関するアプローチの方法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	宮原 和郎
e-mail	miyahara@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	臨床病理学
科目名	臨床病理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	画像診断法 (X線透視診断、X線撮影診断、超音波診断など) を主体とした臨床病理学的診断方法による、産業動物、特に乳牛における消化器疾患、循環器疾患および運動器疾患の病態について、実際の臨床例を題材としてその診断過程を基に理解させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	佐々木 基樹
e-mail	sasakim@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	比較組織学
科目名	分化、発達にともなう生殖器の機能形態学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	胎子期から成熟個体までの脊椎動物の生殖器の分化、発達にともなう形態学的変化と、それにとともなう生理学的機能の変化を把握することによってその相互関係を理解する。さらに、視床下部、下垂体の生殖器に対する調節機構や母体と胎子間の相互作用の理解も視野に入れる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	五十嵐 慎
e-mail	makoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	耐病性遺伝子工学
科目名	原虫の宿主感染機構と免疫応答
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	トキソプラズマ原虫に対するワクチン開発、およびシスト形成の分子機構の解明を主テーマとする。細胞内寄生原虫感染における基礎的な免疫機構および一般的な分子生物学の知識を身につける。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	横山 直明
e-mail	yokoyama@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	原虫病高度診断学
科目名	赤血球内寄生性原虫病学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	赤血球内に寄生する病原性原虫（バベシア原虫やタイレリア原虫）に対して、現在までに有効な予防法は確立されていない。確立の糸口として"どのようなタイプの原虫が、どのように増殖し、どのようにして宿主に病気を引き起こすのかを正しく理解することが重要となる。この科目では、赤血球内寄生性原虫による最新の関連知見を紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	小川 晴子
e-mail	hogawa@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	家禽疫病学
科目名	家禽のウイルス感染症
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	鳥インフルエンザやニューカッスル病等の家禽に重篤な疾病を引き起こすウイルスについて概説し、自然界におけるそれらウイルスの進化と引き起こされる疾病の制御法について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	古林 与志安
e-mail	kyoshi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	運動器病理学
科目名	ウイルス関連腫瘍の病態と診断
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス関連腫瘍について病態を概説するとともに、それら疾患に対する診断法を含めた最新知見について、より深い知識が拡充できるように講義する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	松井 基純
e-mail	mmatsui@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	繁殖障害診断治療学
科目名	牛および馬における繁殖障害の病態生理
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜の生産性に大きな影響を与える牛および馬の繁殖機能障害について、病態生理とその対策を学ぶ。特に、繁殖生理の要である内分泌学的視点に加え、近年、重要視されている栄養や快適性などの飼養環境要因についても、最新の研究成果を学び、課題を掘り起こす。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	福本 晋也
e-mail	fukumoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	ベクター生物学
科目名	寄生虫生態学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	節足動物によって媒介されるフィラリアやマラリア等の寄生虫感染症を対象として、ベクターと宿主の体内における寄生体の複雑かつ巧妙なライフサイクルを分子遺伝学的観点から概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	大石 明広
e-mail	aoishi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物外科学
科目名	イヌの腎性貧血の病態生理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	このセミナーでは、エリスロポエチン産生性の問題、赤血球寿命の問題、および出血・失血の問題について行われてきている研究について学び、腎性貧血病態への理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	松本 高太郎
e-mail	kmatsumoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物内科学
科目名	マダニ媒介性疾患へのアプローチ
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症であるリケッチア症やエーリキア症、原虫性疾患などのマダニ媒介性疾患について、その診断および治療、周辺環境の調査法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	加藤 健太郎
e-mail	kkato@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	地球規模感染症学
科目名	分子感染症学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症を含めた原虫、ウイルス感染症において、原因となる病原体が如何にして宿主細胞に侵入・感染し、どの様にして宿主細胞内で増殖するのかという命題について、その分子機構を概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	南保 泰雄
e-mail	ynambo@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	馬繁殖学
科目名	馬の生殖内分泌
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	写真やビデオ画像などを使用し、馬の生産現場で行われている臨床繁殖診療について、種々の発情検査、交配適期の選択、妊娠鑑定、分娩管理法、分娩後初回発情などの一般診療から、カラードプラ超音波診断による画像診断、ホルモン測定による生殖内分泌検査方法などの研究まで、授業を行う。また、日本のサラブレッド生産育成について紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	石川 透
e-mail	torui@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	免疫生理学
科目名	上皮膜輸送
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	上皮細胞は体液コンパートメント間の水や電解質の交換に重要な役割を果たしている。このような分子の上皮膜輸送は多種多様なイオン輸送タンパク機能とその統合により可能となる。この科目では上皮細胞に機能発現するイオンチャンネル、トランスポーター、ポンプの構造機能連関および細胞内調節機構について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	室井 喜景
e-mail	muroi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	行動神経科学
科目名	本能行動を制御する神経機構
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の本能は様々な行動を通して表現される。例を挙げながら中枢神経系による本能行動の制御機構を概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	山岸 則夫
e-mail	yamagishi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	牛病学
科目名	牛疾患の病態と診断・治療法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	牛の代謝性疾患や各種外科疾患に関して、最新研究報告を交えて説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山本 欣郎
e-mail	yyoshio@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞システム学
科目名	感覚神経の信号伝達
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感覚神経の信号伝達経路について概説し、嗅覚、味覚、聴覚、固有感覚の特徴について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	板垣 匡
e-mail	itagaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	寄生虫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	寄生虫には多様な種があるが、それらは生命の誕生から繰り広げられてきた寄生虫と宿主の相互関係や相克の結果として進化し形成された。寄生虫種が持つ形態や生態、宿主特異性などの生物学的特徴と進化の関連を考察し、寄生虫生物学を理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	宇塚 雄次
e-mail	ujiiwa@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物臨床外科学
科目名	小動物臨床放射線学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	日々進化する伴侶動物医療において、外科的な診断・処置法について、とくに麻酔や断層撮影に関する造詣を深める。具体的には、各種麻酔薬の生体に対するさまざまな影響や、外科的疾患、とくに神経学的疾患に対する断層撮影の活用法についての授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 繁
e-mail	sshigeru@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	代謝病学
科目名	獣医内科学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	乳牛の周産期疾病、特に分娩前後にみられる乳熱などの低カルシウム (C a) 血症関連疾病およびケトosisや脂肪肝などの負のエネルギーバランス (N E B) 関連疾病の発生要因、病態および防除について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 れえ子
e-mail	reekos@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物病態内科学
科目名	鉄結合蛋白ラクトフェリンの免疫調節作用
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	免疫不全症に伴う慢性炎症のメカニズムについて、生体内における好中球機能ならびにリンパ球機能変動の観点から免疫学的に学ぶとともに、実際の臨床例における分析結果についても考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	中牟田 信明
e-mail	nakamuta@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経解剖学
科目名	脊椎動物嗅覚系の形態学的側面
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	様々な動物における嗅覚器と嗅球の形態等について、最新の論文を紹介しながら解説し、鋤鼻系を含む嗅覚系の理解と新しい研究課題の発掘を目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	木崎 景一郎
e-mail	kizaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞生理学
科目名	着床, 胎盤形成および血管新生の生物学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	着床および胎盤形成について概説し、これらの現象の成立に必須な子宮内膜細胞と栄養膜細胞の相互作用、分化機構、及び血管新生について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
 岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山田 美鈴
e-mail	ymisuzu@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞システム学
科目名	生体内ホメオスタシス維持機構論
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生物は外的環境を感知し、その変化に柔軟に対応するホメオスタシス機構を備えている。本科目では、各自でホメオスタシス維持機構に関するテーマを設定し、研究の背景・実験方等を発表やレポートとしてまとめ、議論することで理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 至
e-mail	satoital@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	環境衛生学
科目名	放射線の研究利用と防護
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	研究推進のための有力なツールである放射線・放射性同位元素の様々な利用方法について解説するとともに、その管理の特殊性や防護理論を教授することにより、放射線・放射性同位元素の安全かつ有効な研究利用について習得させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	岡田 啓司
e-mail	keiji@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	生産獣医療学
科目名	生産獣医療学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	牛の生産獣医療学は、食の安全、動物福祉、畜産と環境を含む分野である。私たちの牛群管理は、反芻獣栄養学と護蹄管理を中基礎としている。それらをもとに、動物福祉を配慮した生産性向上の方策を探る。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	古市 達哉
e-mail	furuichi@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	モデル動物学
科目名	モデル動物を用いた疾患の病態解析
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	疾患モデル動物の作製方法、および疾患モデル動物を用いた病態解析法について解説する。基礎研究および創薬研究におけるモデル動物の重要性を解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	村上 賢二
e-mail	muraken@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	病原微生物学
科目名	獣医微生物学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物感染症の制御のために、病原体の病原性のメカニズムについて、さらに感染症の予防、診断、治療法を学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	片山 泰章
e-mail	masaaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	機能再建外科学
科目名	小動物臓器移植学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	猫の末期腎不全に対する根治的治療法である腎移植についての最新情報を移植免疫、免疫抑制法、手術技術および臓器保存の点から解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	高橋 透
e-mail	tatoru@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	繁殖機能制御学
科目名	獣医臨床繁殖学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	臨床繁殖学における診断?治療に関して、これを生理学および管理学的な視点から概説した上で、多様な繁殖障害に対する診断法や、生殖機能の人為的制御に基づく繁殖管理技術について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	落合 謙爾
e-mail	kochiai@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	組織病理学
科目名	獣医病理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物のさまざまな疾患の病態解析
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山崎 真大
e-mail	masayama@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物病態内科学
科目名	応用獣医血液学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬・猫の持つ、細胞内が低カリウム濃度となっている赤血球についてその生化学的特徴を解説し、それらを応用した研究について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	高橋 正弘
e-mail	takamasa@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	大動物診断治療学
科目名	牛の胚移植の応用について
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	最近、海外でも和牛が注目されていますが、胚移植を活用した和牛の生産は農家の経営に役立つ技術であります。そこで、脂肪酸分析と胚品質の関係、リピートブリーダーへの活用など牛胚移植の新しい繁殖技術に関して説明します。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 洋
e-mail	satohsss@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	毒性薬理学
科目名	抗がん剤の薬理学的・毒性学的特性
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	抗がん剤の薬効機序とそれに起因した毒性作用に関して概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	彦野 弘一
e-mail	hhikono@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医免疫学
科目名	感染症の免疫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	この科目は博士課程の学生に、感染とワクチネーションに対する免疫応答についての広い理解と、それを動物における感染症の研究、制圧、予防へ応用する能力を与える。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	大沼 俊名
e-mail	oonumat@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞生理学
科目名	血管新生制御の分子機構
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	腫瘍の進展や炎症時におこる血管新生について概説し、その具体的な解析方法について、各種の遺伝子組換え動物を使用したアプローチを中心に詳細な説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
 岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	福井 大祐
e-mail	dfukui@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	動物園動物・野生動物医学
科目名	保全医学概論
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人と動物の健康、そして地球上に存在するすべての生命体の基盤となる生態系の健全性は、互いにつながりを有しており、それらを維持・回復するには、「生物多様性保全」および「人と動物の共存」が重要な課題となる。この One Health を実現するための保全医学のアプローチについて、その概要を身近な野生動物問題を例示して解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	一條 俊浩
e-mail	ichijo@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	生産獣医療学
科目名	産業動物における臨床診断、治療および予後の関する診断法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生産獣医療の種類と特徴について概説するとともに、産業動物における臨床診断を中心に、効果的な治療および予後診断にいたるまでのプロセスを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	寺嶋 淳
e-mail	
教育研究指導分野	衛生微生物学
科目名	食品媒介細菌感染症
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品を介する細菌感染症について、起因菌の細菌学的性状及び病原性発現機序とともに分子遺伝学的手法に基づく診断法などを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岩手大学
担当教員名	星野 有希
e-mail	yhoshino@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	軟部組織外科学
科目名	伴侶動物の腫瘍性疾患に対する新規治療法の開発
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	伴侶動物の腫瘍性疾患について概説し、その病態発生から適応される新規治療法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	渡辺 元
e-mail	gen@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	生殖生理学
科目名	生殖の比較生物学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	卵や精子形成の調節における性腺と生殖中枢の関係について解説する。また、実験動物、家畜、家禽、野生動物など種々の動物の研究例を紹介しながら、生殖機能の内分泌学的調節メカニズムについて解説し、生理学的解析の進め方についても理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	白井 淳資
e-mail	jshirai@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医伝染病学
科目名	獣医伝染病学特論
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	学部の伝染病学の講義で行う内容をより詳しく、また学術的観点から深探求し、重要な家畜感染症を解説して行く。また人類にとって驚異となる感染症(人獣共通感染症を含む)について概要、疫学、病因および日本人が感染する可能性などについて解説し、それぞれの疾病に対しこれからどう取り組むかについてディスカッションを行う。今まで海外で行った感染症に関する研究を海外の研究施設も含め紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	藤川 浩
e-mail	fujik@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	食品安全管理学
科目名	食品の微生物学的安全性確保
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	有害微生物による食品の安全性を予防するため、微生物管理、すなわち微生物の汚染防止、殺菌、増殖抑制が非常に重要である。本講義では食品の微生物管理における基礎および応用についての理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	町田 登
e-mail	machida@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	腫瘍臨床病理学
科目名	小動物の腫瘍性疾患の細胞診断学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬および猫に発生する各種腫瘍性疾患の細胞診断について方法論と判読法を習得することを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	柴田 秀史
e-mail	shibata@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	比較解剖学
科目名	大脳辺縁系の神経解剖学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	中枢神経の構造の概略を説明した後、動物が生きていく上で必須の機能である記憶や学習といった高次神経機能の基盤となる Papez 回路を中心とした大脳辺縁系の神経解剖学を解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	佐々木 一昭
e-mail	skazuaki@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	臨床薬理学
科目名	薬物動態学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	薬物動態学の基礎となる理論と薬物分析に関する方法論を講義する。薬物の吸収、分布、代謝、排泄という薬物動態学の基礎を学び、臨床への応用を考える。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	渋谷 淳
e-mail	mshibuta@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	毒性病理学
科目名	発達期神経毒性学、発がん
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	化学物質による発癌メカニズムの探究や神経発達に対する影響とその分子標的の解明などに関して、形態学に根ざした分子解析アプローチの可能性、アプリケーションの限界、得られた結果の解釈や応用性等について学び、個々の実験解析に活かせるようにする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	谷口 隆秀
e-mail	taniguti@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	感染防御学
科目名	ウイルス感染症における免疫反応と病態形成機構
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス感染症では、宿主側の様々な要因によって多様な病態が形成される。感染によって引き起こされる免疫応答が必ずしも宿主に有利に働くとは限らない。本講義では宿主の生体防御機構とウイルス感染症における病態形成の関係について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	佐藤 俊幸
e-mail	tsatoh@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	行動生物学
科目名	動物の行動形質の進化的理解：血縁選択と性選択
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	獣医学分野ではあまりとりあげられない、行動の適応的意義を、進化的観点から解説する。とくに血縁者どうしの協力的行動の進化 (血縁選択)、メスの選り好みによるオスの一見非適応的な形質の進化 (性選択) など、包括適応度の概念を導入しないと理解できない現象の解説を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	林谷 秀樹
e-mail	eisei@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医疫学
科目名	疫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	疫学、特に感染症の疫学および臨床疫学に焦点を当て、その理論と応用について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	西藤 公司
e-mail	kojimail@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医皮膚科学
科目名	皮膚バリア機構の破綻による哺乳動物の皮膚疾患
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	皮膚バリア機構の破綻が関与すると考えられている哺乳動物の皮膚疾患(天疱瘡、膿痂疹、アトピー性皮膚炎など)を題材とし、バリア機構の破綻に関連する分子機構と病態との関連について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	田中 綾
e-mail	ryoryo@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	獣医循環器病学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	各種心機能検査による心疾患の病態評価と各病態に対する治療戦略について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	田中 知己
e-mail	tomomit@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜不妊症防除学
科目名	繁殖機能の中枢制御機構
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	反芻家畜の繁殖を調節している中枢機構に関して最近の知見を紹介し、家畜の繁殖が促進または障害される際のメカニズムを考えていく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	竹原 一明
e-mail	takehara@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医衛生学
科目名	感染症制御法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス性・細菌性感染症の病原体の自然界での生態について概説し、どのようにそれら病原体の侵入を制御したり、殺滅させたりできるかについて、戦略を説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	清水 美希
e-mail	mshimizu@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	酸化ストレスと疾患
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体内の酸化還元状態や生体内メチル化反応の変化を調べることにより、各種疾患の病態発現機序を解明する。特に、加齢性変化といわれている脳疾患や心血管疾患について検討する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	岸本 海織
e-mail	miori@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	放射線診断学および放射線防護
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	獣医学領域における放射線診断学の歴史と先端技術について説明する。また、放射線の安全な取扱いに必須となる放射線防護について、各自が現場で適切な防護方法を考え出せるレベルの知識の習得を目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	鈴木 和彦
e-mail	kzsuzuki@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	毒性病理学
科目名	線維化とがんの発症機序
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	化学物質による組織傷害によって惹起される線維化およびがんの発症機序への関与が示唆されている因子群についての多角的な解析およびそれらの結果に基づいた考察の仕方について学び、個々の実験へ活用できることを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	福島 隆治
e-mail	ryu-ji@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	小動物診断治療学
科目名	犬猫における超音波診断学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	従来からの犬猫の超音波診断法に加え、新規の適応と技術について学ぶ。 また、その習得することを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	水谷 哲也
e-mail	tmizutan@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜感染症学
科目名	ウイルスの網羅的解析
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	既知のウイルスについてはすでに検査方法が確立しているが、未知のウイルスの核酸配列については全く情報がないので検出することが難しい。家畜感染症の分野において、最新の核酸を増幅する技術を駆使した、ウイルスの迅速・網羅的な検出方法を理解することを目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	石原 加奈子
e-mail	kanako-i@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	食品安全管理学
科目名	分子疫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品媒介性感染症やその他の感染症における分子疫学及び疫学解析の手法やその応用を学び、感染症の制御についてディスカッションを行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	古谷 哲也
e-mail	furuyat@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	病原感染因子学
科目名	感染因子と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルスや原虫の動物やヒトへの感染においては、宿主細胞への侵入や細胞内感染の維持のため、寄生体と宿主の相互作用が必須であるが、この相互作用を研究することによって、疾病の治療や感染の予防に応用することができる。本講義では、この宿主・寄生体相互作用についての最新の知見を紹介し、学生の研究の発展にどのように生かしていくことができるかをディスカッションする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	大松 勉
e-mail	tomatsu@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜感染症学
科目名	獣医経済学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜感染症の発生は甚大な損失を社会全体にもたらすことから、感染症防疫にかかわる人材も経済学的視点を身に付けることが重要である。本講義ではその基礎となる経済学について理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	井手 香織
e-mail	k-ide@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医皮膚科学
科目名	上皮向性リンパ腫-ヒトと犬での比較-
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	主に皮膚や粘膜に病巣をつくり、治療が困難である上皮向性リンパ腫について、小動物のみならずヒトも含めた特徴・病態を説明し、動物種間における類似点や異なる点を比較検討する。そして最新の病態解析研究をもとに、犬の上皮向性リンパ腫について今後どのようなアプローチで研究を進めていけるのかをディスカッションする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	吉田 敏則
e-mail	yoshida7@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験病理学
科目名	分子器官病理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	慢性疾患の分子病理学的特徴ならびに発生機序について学び、動物の疾病とヒトの疾病との共通性、病理発生における外因（感染症や化学物質暴露など）と内因（遺伝子変異や代謝異常など）との相互作用、疾患モデル動物を用いた治療標的分子の探索などにも目を向け、動物からヒトへより幅の広い角度から病気の成り立ちについて理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	打出 毅
e-mail	uchide@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	分子診断治療学
科目名	獣医内科学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人と伴侶動物で共通して認められる疾患について、分子的類似性を基盤とした新しい診断法、治療法について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	永岡 謙太郎
e-mail	nagaokak@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	分子生理学
科目名	アミノ酸代謝と生体機能
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体におけるアミノ酸の有用性や代謝経路について概説し、様々な表現系を有するアミノ酸代謝酵素欠損マウスについて研究概要を説明するとともに、用いられている実験技術について理解させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	小山 哲史
e-mail	skoyama@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	行動生物学
科目名	行動生態学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の一般的な行動原理を概説し、それぞれの動物およびその動物の行動の特性に応じた適応度上のコストと利益について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	阿閉 泰郎
e-mail	atozi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	脳形態学
科目名	哺乳類および鳥類の比較神経解剖学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	次の項目について講義および討論を行う。 1. 神経解剖学の研究方法 2. 神経組織の基本知識 3. 感覚系（嗅覚、視覚、聴覚、体性感覚）の哺乳類と鳥類との相違 4. 辺縁系の哺乳類と鳥類での違い 5. 高次機構の違い
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	志水 泰武
e-mail	yshimizu@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経生理学
科目名	恒常性を維持するための神経内分泌系
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	提示し課題に対して提出されたレポートを題材とし、討論しながら、データの取り扱い方を教授する。また論文を作成する過程で必要となる考察力の育成を目指す。
教育内容	e-learning システムを使って、提示された実験データをどのように活用して結論を導くべきか討論する。また、仮説を立て、その仮説を立証するためにどのような実験を組むべきか思考する。知識の提供ではなく、思考力の育成を目指す。
評価方法	受講状況と課題ごとに提出されるレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-learning システムで授業を実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	海野 年弘
e-mail	tunno@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	内因性物質薬理学
科目名	細胞膜の受容体とイオンチャネルの異常に基づく疾患
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	細胞膜の受容体やイオンチャネルの異常に基づく疾患について、その疾患の病態発現機構を分子レベルで概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 E-learning システムで授業を実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	柳井 徳磨
e-mail	yanai@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	比較病理学
科目名	野生および動物園動物病理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。また、得られた成果をアジアにおける保全医学関連の国際学会で発表し、他の研究者と情報を共有し、国際的な学会活動に対する発表および討議能力を身につける。
教育内容	保全医学の一環として、環境、野生動物および人類の健康状態の病理学的側面を研究し、環境の異常に対して警鐘を鳴らす。環境の変化を知るための基礎的な研究、具体的には、野生動物の中毒、感染症および大量死などの現象を解明、さらに野生動物と人の間の共通感染症の病理発生を研究する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	福士 秀人
e-mail	hfukushi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	分子感染症学
科目名	ウイルス病原性発現機構の分子生物学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルスの病原性発現機構の解明は感染症制御の基礎である。この授業ではウイルスゲノムを標的として病原性発現機構を解明する手法について原理および応用に関して学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	杉山 誠
e-mail	sugiyama@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	人獣共通感染症学
科目名	ウイルス性人獣共通感染症と社会
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	研究者は社会的な位置づけを一層意識する必要がある。社会（一般人）とのコミュニケーション能力がますます重要になる。この授業では、ウイルス性人獣共通感染症をテーマに、一般人に科学的な情報をどのように伝達したら良いかについて考えたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	鈴木 正嗣
e-mail	mszk@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	野生動物保護管理学
科目名	野生動物管理のための獣医学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	イノシシやシカなどで確認されている急速な生息数増加は農林業被害や植生破壊の原因となっている。個体群管理は、これを解決するための有効なツールとされている。本セミナーは、個体群管理を適性に遂行するための基礎研究や手法について教示する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	鬼頭 克也
e-mail	k-kitoh@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	住血寄生虫症の病態発生と診断、治療法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬と猫の住血寄生虫を原因とする疾患を対象に、宿主－寄生体関係を主とした病態発生、診断、治療について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	山添 和明
e-mail	yamazoe@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物外科学
科目名	創傷治癒と湿潤療法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	現在、人医療では消毒薬とガーゼによる治療法から湿潤環境を維持する治療法へと変化しつつある。本授業では創傷治癒の基本原則を理解し、獣医療でも導入されつつある湿潤療法を症例を交えて紹介し、その適用について考えたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	前田 貞俊
e-mail	sadat@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床免疫学
科目名	動物の免疫介在性疾患における分子病態の解明
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	イヌおよびネコのアレルギー性疾患の臨床的特徴について概説した後、今日における診断および治療に関する問題点を明らかにする。さらに、アレルギー学および免疫生物学に関する論文の critical reading を通して比較免疫学の概念に関する理解を深め、獣医アレルギー学研究者が進むべき方向について議論していく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	椎名 貴彦
e-mail	tshiina@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経生理学
科目名	消化管の病態生理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食道や胃、小腸、大腸の運動は、脳・脊髄に由来する外来神経系と、消化管内部に存在する内在神経系によって制御されている。神経系による消化管運動の調節機構には、アセチルコリンや一酸化窒素をはじめ、様々な神経伝達物質が関与している。神経伝達物質の作用が十分に発揮されない、あるいは過剰に反応してしまうことにより、下痢や便秘などの、消化器異常が引き起こされると考えられている。本セミナーでは、学術論文を教材として、消化管ごとの神経支配の違いや、神経の分布様式、消化管運動の制御メカニズムなどを理解するとともに、それらと消
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	酒井 洋樹
e-mail	shiroki@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	腫瘍病理学
科目名	比較腫瘍病理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	医学および獣医学の最新論文を精読することによって、人間、犬および猫の腫瘍性疾患について比較検討し、比較腫瘍学の中での獣医腫瘍病理学の有用性を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大屋 賢司
e-mail	kohya@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	分子感染症学
科目名	細胞内寄生病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	病原微生物（特に細胞内寄生細菌）と宿主の相互作用から感染成立・発症に至るまでの過程を、細胞微生物学的側面から理解し、自身の研究活動に生かすことを目的とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	伊藤 直人
e-mail	naotoito@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	人獣共通感染症学
科目名	ウイルス性人獣共通病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	多くのウイルスは特定の宿主動物と共に進化し、長い時間をかけて共生関係を築いている。しかし、共存関係にない動物に感染すると、強い病原性を示す場合が少なくない。それは一体なぜだろうか？本講義では、分子レベルならびに進化というマクロな視点からウイルス-宿主（細胞）の相互作用について解説する。さらに、これらの相互作用の理解を通じて、人獣共通感染症の制御について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	浅野 玄
e-mail	asanojr@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	野生動物保護管理学
科目名	侵略的外来哺乳類の管理
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	わが国における生物多様性の劣化の一因として外来種による固有生態系への侵略があげられている。セミナーでは移入哺乳類の個体群管理法の実例を学び、個体群動態学的指標としてもっとも重要な年齢査定法について実験も行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	猪島 康雄
e-mail	inoshima@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	感染症診断学
科目名	ウイルス感染症の診断と対策
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	産業動物や野生動物のウイルス感染症発生例をもとに現在の診断法とその問題点などについて学ぶ。飼養・出荷形態や流通経路、生息環境や行動特性などの理解した上で、感染症制御のための現実的な対策について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大場 恵典
e-mail	ohba@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	産業動物臨床学
科目名	動物の遺伝性疾患の解析
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の遺伝性疾患について概説する。とくに原因遺伝子の同定方法および遺伝子診断法の確立について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	高島 康弘
e-mail	atakashi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感染症、およびそれに関連する領域（アレルギー、疫学、基礎免疫学）の論文のうち世界的に高い評価を受けたものを読み討議することで寄生者と宿主の関係を理解する。また討議の過程で戦略的な研究の進め方について理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	渡邊 一弘
e-mail	nabechan@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物外科学
科目名	小動物歯科口腔外科
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物の歯科・口腔外科を概説します。さらに、人の歯科治療法と比較することによって小動物における最良の歯科治療法を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	森 崇
e-mail	tmori@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床腫瘍学
科目名	獣医臨床腫瘍学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	腫瘍性疾患は、小動物に限らず人においてもいまだ様々な問題が山積している。どのような点が問題となっているか実際の臨床現場に触れていただいた上で、問題解決はどこまで進んでいるのか、またどのようなアプローチで研究が進められているのかについて理解することを目的としている。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	村瀬 哲磨
e-mail	muraset@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床繁殖学
科目名	哺乳動物精子の受精能力発現
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜を含む哺乳動物の受精において精子は鞭毛の超活性化運動、受精能獲得および先体反応（膜融合）を起こす。これらの現象が起きなければ受精できないことから、反応を調節する機構は不妊症の原因解明あるいは避妊のターゲットとなる。これらの分子機構に関する論文を読み本セミナーでは考察をしたいと思う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	齋藤 正一郎
e-mail	shouichi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経組織学
科目名	形態学における分子生物学的手法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	近年、科学技術の進歩により、組織切片上におけるタンパク質の検出限界は向上し、また易分解性である mRNA も検出できるようになった。しかしながら、その研究手技の原理、および一般的に”そうしなさい”とされている手技の理由を熟知しなければ、個々人の研究分野に適した独自の手技を確立することは難しい。本授業では、形態学的研究に利用されている分子生物学的手法 (in situ hybridization および免疫組織化学) についての原理と応用について討論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	高須 正規
e-mail	takasu@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床繁殖学
科目名	絶滅危惧種の保全戦略
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	種の保全を目的とした繁殖技術に関して概説し、この技術を用いた保全戦略を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	神志那 弘明
e-mail	kamicna@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医臨床神経病学
科目名	小動物の神経病学と画像診断学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物に認められる神経疾患の概要とそれらの画像診断技術について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	松山 勇人
e-mail	mhayato@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	内因性物質薬理学
科目名	平滑筋の受容体およびイオンチャネルの役割
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	平滑筋の受容体やイオンチャネルについて理解を深めるとともに、病態における役割について考察する。授業では各自が国際雑誌に投稿されている最近の科学論文を詳解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	西飯 直仁
e-mail	nishii@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物内科学
科目名	小動物の内分泌代謝性疾患の病態生理
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物の内分泌代謝性疾患について、病態生理、診断および治療法について解説する。また獣医内分泌学における問題点を見出し、その解決策について議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	浅井 鉄夫
e-mail	tasai@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	動物感染症制御学
科目名	感染症における抗菌剤治療および耐性菌
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感染症の原因菌における耐性獲得は重要な問題でとなっている。動物医療における薬剤耐性菌の出現防止に、獣医師は責任を持って取り組まなければならない。耐性菌に関する科学的知見に基づいて、抗菌剤の選択や使用方法について考えていく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	柴田 早苗
e-mail	shiba211@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医麻酔学
科目名	獣医麻酔学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物病院での診療などを通して、動物実験の際に必要な麻酔科学の知識を得る。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大西 真
e-mail	ohnishi7@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興感染症学
科目名	獣医微生物学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症、特に新興・再興細菌感染症に焦点をあてて、病原体の特徴に関して概説し、病原体の特性に応じて開発された分子診断法、分子疫学解析法について説明する。また、比較ゲノム解析学的視点により病原細菌の進化過程とその多様性形成機構について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	森川 茂
e-mail	morikawa@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱の疫学、診断、予防
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	平成 19 年 6 月に改正、施行された感染症法により、1 類感染症に分類されるウイルス性出血熱や 2 類感染症に分類される SARS 等の重篤な人獣共通感染症の原因ウイルスの保有、実験に関しても法的に規制されることになった。国内では 1 類感染症で輸入症例が確認されているのはラッサ熱 1 例のみだが、欧州では輸入症例が多発している。これらの重篤な人獣共通感染症についての疫学・診断及び予防を理解することを目標として授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	川端 寛樹
e-mail	kbata@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興感染症学
科目名	ベクター媒介性の新興細菌感染症の現状、発症機序
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	節足動物媒介性の新興感染症の現状、発症機序を理解し、その制御方法を探る事を目的とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	井上 智
e-mail	sinoue@nih.go.jp
教育研究指導分野	再興感染症学
科目名	動物由来感染症の発生機序とその予防方法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	新興再興感染症における動物由来感染症の発生機序と発生予防の方法について公衆衛生の視点から獣医領域からのアプローチとその役割について考えてみたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	西條 政幸
e-mail	msaijo@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱および新興ウイルス感染症
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス性出血熱含む新興ウイルス感染症の疫学，病態，診断，予防・治療に関する理解を深めるとともに，その対策について考察するための授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	福士 秀悦
e-mail	fukushi@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	エボラ出血熱、ラッサ熱など、公衆衛生上の脅威となりうるウイルス性出血熱の発生状況を知り、診断法と発生予防対策について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	北嶋 聡
e-mail	satoshi@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品衛生学
科目名	食品、その成分および混入化学物質による毒性
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	食品の安全を確保するための対策がこれまで以上に必要とされてきています。ここでは、食品に由来する様々な化学物質（食品成分および食品添加物、残留農薬、環境汚染物質、マイコトキシンなどの混入化学物質）により誘発される毒性を、より高精度に把握する方策を探ることを目標として授業を行います。
教育内容	食品由来の様々な化学物質に関する実験動物を用いた毒性把握の現状、問題点と対策につきレポートを提出してもらい、この内容についてメールにて質問と意見交換ならびに全受講生によるディスカッションを行います。
評価方法	最終レポートをまとめてもらい、これにより成績評価をおこないます。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	大西 貴弘
e-mail	ohnisi@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品微生物学
科目名	自然免疫と生体防御機構
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体防御機構における自然免疫の重要性を概説し、病原微生物由来の分子パターンがどのような機構によって認識されるのか説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	朝倉 宏
e-mail	hasakura@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品微生物学
科目名	食品有害細菌の分子疫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品を介して感染する細菌性疾病の種類や特徴に関して概説し、病原細菌の特性に応じて開発された分子疫学手法および分子診断法（分子遺伝学的・免疫学的診断法等）について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	佐々木 貴正
e-mail	ysasaki@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食肉衛生学
科目名	食肉における病原細菌の制御
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食肉を汚染する病原細菌の種類、家畜の飼育管理状況及び食肉処理工程を概説し、食肉加工における病原細菌の制御法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	西藤 岳彦
e-mail	taksaito@affrc.go.jp
教育研究指導分野	獣医微生物学
科目名	ウイルス性人獣共通感染症
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症のうち、ウイルスに起因するものに焦点を合わせて、自然界での存在様式、伝播機序、人および動物宿主における病原性などに関する理解を深めることを目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	高松 大輔
e-mail	p1013dt@affrc.go.jp
教育研究指導分野	獣医微生物学
科目名	グラム陽性球菌による細菌感染症
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	グラム陽性球菌による感染症、特に豚レンサ球菌症やミツバチの腐蛆病について、発生状況や発病機序を概説し、病原体の特性や進化についても説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	真瀬 昌司
e-mail	masema@affrc.go.jp
教育研究指導分野	家畜衛生学
科目名	鳥ウイルス性疾病の疫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	鳥インフルエンザを含むウイルスに起因する鳥類の疾病の種類や特徴に関して概説し、原因となるウイルスの病原性および疫学について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	菅野 徹
e-mail	kannot@affrc.go.jp
教育研究指導分野	国際重要伝染病学
科目名	酪農環境下におけるウイルス性疾病
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	大規模酪農環境下において問題となるウイルス性疾病の現状や、それら疾病の防疫を目的としたウイルスの生態及び動態の解析や予防診断技術の開発など起因病原体側からの研究アプローチを紹介することにより臨床ウイルス学の理解を深めることを目標とした授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I a)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	筒井 俊之
e-mail	tsutsui@affrc.go.jp
教育研究指導分野	動物感染症疫学
科目名	家畜感染症の流行疫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物感染症の流行要因の解析に応用する疫学手法について実例を用いながら概説し、より詳細な分析を行うための統計学的手法について説明する。さらに、動物感染症の流行動態の解析や対策の評価に用いるシミュレーションモデル、発生予防措置を検討するために用いるリスクアセスメントについて説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	佐藤 文夫
e-mail	Fumio_Sato@jra.go.jp
教育研究指導分野	馬生産育成学
科目名	馬の生産および疾病管理
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	軽種馬の生産および育成技術の向上を目指して、誕生から競走馬になるまでの 育成期全般における飼養管理方法の改善、新生子学、若馬特有の内科および 外科疾患の診断・治療・予防方法の解明、新たな調教・馴致法の導入に関する 体系的な調査研究の紹介。そこでは、軽種馬の X 線や内視鏡、エコーを用いた 画像診断法や一次診療などの臨床獣医学的なことから、内分泌学、生理学や 行動学的手法を用いた調査研究まで馬に関することを学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより 総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等 について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	桑野 睦敏
e-mail	hoofvet@center.equinst.go.jp
教育研究指導分野	馬蹄病学
科目名	馬の蹄病理学および臨床医学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	スライド写真やビデオ画像などを使い、ウマの特殊な肢端構造である蹄の解剖学および各種蹄病について、解剖学的、病理学的、生化学的および病原微生物学的知見を教育。また、日本の装蹄技術についても紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I a)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	大村 一
e-mail	hajime@equinst.go.jp
教育研究指導分野	馬生理学
科目名	馬運動生理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	運動中の呼吸循環応答を概説し、馬の生理学的特徴について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	末水 洋志
e-mail	suemizu@ciea.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	遺伝子改変動物作製の実際とヒト化動物
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	免疫不全マウスにヒト細胞・組織を生着させたヒト化マウスに関して概説し、様々な疾患・病態、あるいは正常生体機能を反映したモデル（免疫・感染症、薬物代謝）について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	橋本 晴夫
e-mail	hashimot@cica.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	実験動物の開発・育成の基礎とモデル動物
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	実験動物の歴史、飼育技術、遺伝子改変技術について概説し、糖尿病を例に糖尿病モデル動物の変遷と現在の 2 型糖尿病モデルマウスについて説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I a)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	林元 展人
e-mail	nobuh@ciea.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	実験動物の品質管理、感染症とそのモデル
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	本科目ではマウス、ラットの感染症を概説するとともに、具体的な微生物学的品質管理（衛生管理、検査手法）について説明する。また、昨今使用されるマウス、ラットを用いた感染症モデルについて説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	北村 延夫
e-mail	kitamura@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	比較組織学
科目名	消化管の構造と制御組織
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	消化管の構造的特徴を食性と関連付けて理解し、それらの機能を調節する自律制御機構の組織学的成り立ちを理解する。消化管内分泌細胞および消化管神経の特徴について形態や含有する化学信号物質等に基づいて詳解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	鈴木 宏志
e-mail	hisuzuki@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	ゲノム機能学
科目名	発生・生殖工学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	発生工学の魅力は、興味ある遺伝子の機能を個体レベルで解析可能にすることにある。培養細胞を用いて血圧の制御にかかわる遺伝子の機能を観察することは困難だが、発生工学は生体の高次機構のなかで遺伝子機能を直接的に解析可能な検定系を提供できる。本授業では、発生工学とそれを支える生殖工学への理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	河津 信一郎
e-mail	skawazu@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	原虫病予防治療学
科目名	分子寄生虫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	「ポストゲノム」の原虫病研究では、遺伝子改変（トランスジェニック）技術を応用して、原虫ゲノムのリソースから真に有用な遺伝子を選別する研究手法が重要になると考える。このセミナーでは、トランスジェニック原虫の作製方法と、そのゲノム機能解析研究への応用法を理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	石井 利明
e-mail	ishii@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	神経薬理学
科目名	離乳と脳高次機能
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	離乳期に顕彰する自給本能発現における脳神経機構を解説し、動物行動を調節する脳高次機能の適応や発達の理解を深める。特に、離乳時の「固執」の変化は、動物行動と脳神経活動の因果関係や脳高次機能と心理学的発達の接点を理解する上で最適な題材となる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	古岡 秀文
e-mail	furuoka@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	病態病理学
科目名	感染病理
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	BSE やスクレイピーを含むプリオン病、ヘルペスウイルスをはじめとする神経系ウイルス感染症や Lawsonia をはじめとする消化管細菌感染症にみられる病態の特徴と病理学的診断法、ならびにこれら感染症にみられる宿主免疫について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	倉園 久生
e-mail	hkurazon@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	蛋白毒素科学
科目名	細菌感染症
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ある種の病原細菌は、蛋白毒素を産生して種々の病態を惹起する。現在までに病原細菌の産生する蛋白毒素が数多く報告され、あるものについてはその詳細な作用機作が分かっている。本授業では、細菌感染症を引き起こす病原細菌の産生する蛋白毒素の作用機作について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	猪熊 壽
e-mail	inokuma@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物内科学
科目名	大動物感染症の診断、治療および予防
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	大動物内科学において問題となる牛白血病などの難診断疾患、およびリケッチア、原虫などの人獣共通新興感染症を含む大動物の感染症について、その診断、治療および予防に関するアプローチの方法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	宮原 和郎
e-mail	miyahara@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	臨床病理学
科目名	臨床病理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	画像診断法 (X線透視診断、X線撮影診断、超音波診断など) を主体とした臨床病理学的診断方法による、産業動物、特に乳牛における消化器疾患、循環器疾患および運動器疾患の病態について、実際の臨床例を題材としてその診断過程を基に理解させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	佐々木 基樹
e-mail	sasakim@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	比較組織学
科目名	分化、発達にともなう生殖器の機能形態学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	胎子期から成熟個体までの脊椎動物の生殖器の分化、発達にともなう形態学的変化と、それにとともなう生理学的機能の変化を把握することによってその相互関係を理解する。さらに、視床下部、下垂体の生殖器に対する調節機構や母体と胎子間の相互作用の理解も視野に入れる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	五十嵐 慎
e-mail	makoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	耐病性遺伝子工学
科目名	原虫の宿主感染機構と免疫応答
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	トキソプラズマ原虫に対するワクチン開発、およびシスト形成の分子機構の解明を主テーマとする。細胞内寄生原虫感染における基礎的な免疫機構および一般的な分子生物学の知識を身につける。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	横山 直明
e-mail	yokoyama@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	原虫病高度診断学
科目名	赤血球内寄生性原虫病学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	赤血球内に寄生する病原性原虫（バベシア原虫やタイレリア原虫）に対して、現在までに有効な予防法は確立されていない。確立の糸口として"どのようなタイプの原虫が、どのように増殖し、どのようにして宿主に病気を引き起こすのかを正しく理解することが重要となる。この科目では、赤血球内寄生性原虫による最新の関連知見を紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	小川 晴子
e-mail	hogawa@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	家禽疫病学
科目名	家禽のウイルス感染症
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	鳥インフルエンザやニューカッスル病等の家禽に重篤な疾病を引き起こすウイルスについて概説し、自然界におけるそれらウイルスの進化と引き起こされる疾病の制御法について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	古林 与志安
e-mail	kyoshi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	運動器病理学
科目名	ウイルス関連腫瘍の病態と診断
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス関連腫瘍について病態を概説するとともに、それら疾患に対する診断法を含めた最新知見について、より深い知識が拡充できるように講義する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	松井 基純
e-mail	mmatsui@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	繁殖障害診断治療学
科目名	牛および馬における繁殖障害の病態生理
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜の生産性に大きな影響を与える牛および馬の繁殖機能障害について、病態生理とその対策を学ぶ。特に、繁殖生理の要である内分泌学的視点に加え、近年、重要視されている栄養や快適性などの飼養環境要因についても、最新の研究成果を学び、課題を掘り起こす。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	福本 晋也
e-mail	fukumoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	ベクター生物学
科目名	寄生虫生態学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	節足動物によって媒介されるフィラリアやマラリア等の寄生虫感染症を対象として、ベクターと宿主の体内における寄生体の複雑かつ巧妙なライフサイクルを分子遺伝学的観点から概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	大石 明広
e-mail	aoishi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物外科学
科目名	イヌの腎性貧血の病態生理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	このセミナーでは、エリスロポエチン産生性の問題、赤血球寿命の問題、および出血・失血の問題について行われてきている研究について学び、腎性貧血病態への理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	松本 高太郎
e-mail	kmatsumoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物内科学
科目名	マダニ媒介性疾患へのアプローチ
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症であるリケッチア症やエーリキア症、原虫性疾患などのマダニ媒介性疾患について、その診断および治療、周辺環境の調査法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	加藤 健太郎
e-mail	kkato@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	地球規模感染症学
科目名	分子感染症学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症を含めた原虫、ウイルス感染症において、原因となる病原体が如何にして宿主細胞に侵入・感染し、どの様にして宿主細胞内で増殖するのかという命題について、その分子機構を概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	南保 泰雄
e-mail	ynambo@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	馬繁殖学
科目名	馬の生殖内分泌
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	写真やビデオ画像などを使用し、馬の生産現場で行われている臨床繁殖診療について、種々の発情検査、交配適期の選択、妊娠鑑定、分娩管理法、分娩後初回発情などの一般診療から、カラードプラ超音波診断による画像診断、ホルモン測定による生殖内分泌検査方法などの研究まで、授業を行う。また、日本のサラブレッド生産育成について紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	石川 透
e-mail	torui@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	免疫生理学
科目名	上皮膜輸送
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	上皮細胞は体液コンパートメント間の水や電解質の交換に重要な役割を果たしている。このような分子の上皮膜輸送は多種多様なイオン輸送タンパク機能とその統合により可能となる。この科目では上皮細胞に機能発現するイオンチャンネル、トランスポーター、ポンプの構造機能連関および細胞内調節機構について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	室井 喜景
e-mail	muroi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	行動神経科学
科目名	本能行動を制御する神経機構
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の本能は様々な行動を通して表現される。例を挙げながら中枢神経系による本能行動の制御機構を概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	山岸 則夫
e-mail	yamagishi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	牛病学
科目名	牛疾患の病態と診断・治療法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	牛の代謝性疾患や各種外科疾患に関して、最新研究報告を交えて説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山本 欣郎
e-mail	yyoshio@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞システム学
科目名	感覚神経の信号伝達
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感覚神経の信号伝達経路について概説し、嗅覚、味覚、聴覚、固有感覚の特徴について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	板垣 匡
e-mail	itagaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	寄生虫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	寄生虫には多様な種があるが、それらは生命の誕生から繰り広げられてきた寄生虫と宿主の相互関係や相克の結果として進化し形成された。寄生虫種が持つ形態や生態、宿主特異性などの生物学的特徴と進化の関連を考察し、寄生虫生物学を理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	宇塚 雄次
e-mail	ujiiwa@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物臨床外科学
科目名	小動物臨床放射線学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	日々進化する伴侶動物医療において、外科的な診断・処置法について、とくに麻酔や断層撮影に関する造詣を深める。具体的には、各種麻酔薬の生体に対するさまざまな影響や、外科的疾患、とくに神経学的疾患に対する断層撮影の活用法についての授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 繁
e-mail	sshigeru@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	代謝病学
科目名	獣医内科学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	乳牛の周産期疾病、特に分娩前後にみられる乳熱などの低カルシウム (C a) 血症関連疾病およびケトosisや脂肪肝などの負のエネルギーバランス (N E B) 関連疾病の発生要因、病態および防除について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 れえ子
e-mail	reekos@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物病態内科学
科目名	鉄結合蛋白ラクトフェリンの免疫調節作用
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	免疫不全症に伴う慢性炎症のメカニズムについて、生体内における好中球機能ならびにリンパ球機能変動の観点から免疫学的に学ぶとともに、実際の臨床例における分析結果についても考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	中牟田 信明
e-mail	nakamuta@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経解剖学
科目名	脊椎動物嗅覚系の形態学的側面
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	様々な動物における嗅覚器と嗅球の形態等について、最新の論文を紹介しながら解説し、鋤鼻系を含む嗅覚系の理解と新しい研究課題の発掘を目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	木崎 景一郎
e-mail	kizaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞生理学
科目名	着床, 胎盤形成および血管新生の生物学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	着床および胎盤形成について概説し、これらの現象の成立に必須な子宮内膜細胞と栄養膜細胞の相互作用、分化機構、及び血管新生について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山田 美鈴
e-mail	yomisuzu@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞システム学
科目名	生体内ホメオスタシス維持機構論
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生物は外的環境を感知し、その変化に柔軟に対応するホメオスタシス機構を備えている。本科目では、各自でホメオスタシス維持機構に関するテーマを設定し、研究の背景・実験方等を発表やレポートとしてまとめ、議論することで理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 至
e-mail	satoital@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	環境衛生学
科目名	放射線の研究利用と防護
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	研究推進のための有力なツールである放射線・放射性同位元素の様々な利用方法について解説するとともに、その管理の特殊性や防護理論を教授することにより、放射線・放射性同位元素の安全かつ有効な研究利用について習得させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	岡田 啓司
e-mail	keiji@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	生産獣医療学
科目名	生産獣医療学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	牛の生産獣医療学は、食の安全、動物福祉、畜産と環境を含む分野である。私たちの牛群管理は、反芻獣栄養学と護蹄管理を中基礎としている。それらをもとに、動物福祉を配慮した生産性向上の方策を探る。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
 岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	古市 達哉
e-mail	furuichi@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	モデル動物学
科目名	モデル動物を用いた疾患の病態解析
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	疾患モデル動物の作製方法、および疾患モデル動物を用いた病態解析法について解説する。基礎研究および創薬研究におけるモデル動物の重要性を解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	村上 賢二
e-mail	muraken@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	病原微生物学
科目名	獣医微生物学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物感染症の制御のために、病原体の病原性のメカニズムについて、さらに感染症の予防、診断、治療法を学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	片山 泰章
e-mail	masaaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	機能再建外科学
科目名	小動物臓器移植学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	猫の末期腎不全に対する根治的治療法である腎移植についての最新情報を移植免疫、免疫抑制法、手術技術および臓器保存の点から解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	高橋 透
e-mail	tatoru@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	繁殖機能制御学
科目名	獣医臨床繁殖学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	臨床繁殖学における診断?治療に関して、これを生理学および管理学的な視点から概説した上で、多様な繁殖障害に対する診断法や、生殖機能の人為的制御に基づく繁殖管理技術について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	落合 謙爾
e-mail	kochiai@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	組織病理学
科目名	獣医病理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物のさまざまな疾患の病態解析
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山崎 真大
e-mail	masayama@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物病態内科学
科目名	応用獣医血液学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬・猫の持つ、細胞内が低カリウム濃度となっている赤血球についてその生化学的特徴を解説し、それらを応用した研究について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	高橋 正弘
e-mail	takamasa@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	大動物診断治療学
科目名	牛の胚移植の応用について
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	最近、海外でも和牛が注目されていますが、胚移植を活用した和牛の生産は農家の経営に役立つ技術であります。そこで、脂肪酸分析と胚品質の関係、リピートブリーダーへの活用など牛胚移植の新しい繁殖技術に関して説明します。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 洋
e-mail	satohsss@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	毒性薬理学
科目名	抗がん剤の薬理学的・毒性学的特性
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	抗がん剤の薬効機序とそれに起因した毒性作用に関して概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	彦野 弘一
e-mail	hhikono@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医免疫学
科目名	感染症の免疫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	この科目は博士課程の学生に、感染とワクチネーションに対する免疫応答についての広い理解と、それを動物における感染症の研究、制圧、予防へ応用する能力を与える。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	大沼 俊名
e-mail	oonumat@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞生理学
科目名	血管新生制御の分子機構
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	腫瘍の進展や炎症時におこる血管新生について概説し、その具体的な解析方法について、各種の遺伝子組換え動物を使用したアプローチを中心に詳細な説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	福井 大祐
e-mail	dfukui@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	動物園動物・野生動物医学
科目名	保全医学概論
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人と動物の健康、そして地球上に存在するすべての生命体の基盤となる生態系の健全性は、互いにつながりを有しており、それらを維持・回復するには、「生物多様性保全」および「人と動物の共存」が重要な課題となる。この One Health を実現するための保全医学のアプローチについて、その概要を身近な野生動物問題を例示して解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	一條 俊浩
e-mail	ichijo@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	生産獣医療学
科目名	産業動物における臨床診断、治療および予後の関する診断法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生産獣医療の種類と特徴について概説するとともに、産業動物における臨床診断を中心に、効果的な治療および予後診断にいたるまでのプロセスを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	寺嶋 淳
e-mail	
教育研究指導分野	衛生微生物学
科目名	食品媒介細菌感染症
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品を介する細菌感染症について、起因菌の細菌学的性状及び病原性発現機序とともに分子遺伝学的手法に基づく診断法などを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岩手大学
担当教員名	星野 有希
e-mail	yhoshino@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	軟部組織外科学
科目名	伴侶動物の腫瘍性疾患に対する新規治療法の開発
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	伴侶動物の腫瘍性疾患について概説し、その病態発生から適応される新規治療法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	渡辺 元
e-mail	gen@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	生殖生理学
科目名	生殖の比較生物学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	卵や精子形成の調節における性腺と生殖中枢の関係について解説する。また、実験動物、家畜、家禽、野生動物など種々の動物の研究例を紹介しながら、生殖機能の内分泌学的調節メカニズムについて解説し、生理学的解析の進め方についても理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	白井 淳資
e-mail	jshirai@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医伝染病学
科目名	獣医伝染病学特論
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	学部の伝染病学の講義で行う内容をより詳しく、また学術的観点から深探求し、重要な家畜感染症を解説して行く。また人類にとって驚異となる感染症(人獣共通感染症を含む)について概要、疫学、病因および日本人が感染する可能性などについて解説し、それぞれの疾病に対しこれからどう取り組むかについてディスカッションを行う。今まで海外で行った感染症に関する研究を海外の研究施設も含め紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	藤川 浩
e-mail	fujik@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	食品安全管理学
科目名	食品の微生物学的安全性確保
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	有害微生物による食品の安全性を予防するため、微生物管理、すなわち微生物の汚染防止、殺菌、増殖抑制が非常に重要である。本講義では食品の微生物管理における基礎および応用についての理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	町田 登
e-mail	machida@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	腫瘍臨床病理学
科目名	小動物の腫瘍性疾患の細胞診断学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬および猫に発生する各種腫瘍性疾患の細胞診断について方法論と判読法を習得することを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	柴田 秀史
e-mail	shibata@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	比較解剖学
科目名	大脳辺縁系の神経解剖学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	中枢神経の構造の概略を説明した後、動物が生きていく上で必須の機能である記憶や学習といった高次神経機能の基盤となる Papez 回路を中心とした大脳辺縁系の神経解剖学を解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	佐々木 一昭
e-mail	skazuaki@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	臨床薬理学
科目名	薬物動態学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	薬物動態学の基礎となる理論と薬物分析に関する方法論を講義する。薬物の吸収、分布、代謝、排泄という薬物動態学の基礎を学び、臨床への応用を考える。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	渋谷 淳
e-mail	mshibuta@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	毒性病理学
科目名	発達期神経毒性学、発がん
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	化学物質による発癌メカニズムの探究や神経発達に対する影響とその分子標的の解明などに関して、形態学に根ざした分子解析アプローチの可能性、アプリケーションの限界、得られた結果の解釈や応用性等について学び、個々の実験解析に活かせるようにする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	谷口 隆秀
e-mail	taniguti@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	感染防御学
科目名	ウイルス感染症における免疫反応と病態形成機構
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス感染症では、宿主側の様々な要因によって多様な病態が形成される。感染によって引き起こされる免疫応答が必ずしも宿主に有利に働くとは限らない。本講義では宿主の生体防御機構とウイルス感染症における病態形成の関係について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	佐藤 俊幸
e-mail	tsatoh@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	行動生物学
科目名	動物の行動形質の進化的理解：血縁選択と性選択
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	獣医学分野ではあまりとりあげられない、行動の適応的意義を、進化的観点から解説する。とくに血縁者どうしの協力的行動の進化（血縁選択）、メスの選り好みによるオスの一見非適応的な形質の進化（性選択）など、包括適応度の概念を導入しないと理解できない現象の解説を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	林谷 秀樹
e-mail	eisei@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医疫学
科目名	疫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	疫学、特に感染症の疫学および臨床疫学に焦点を当て、その理論と応用について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	西藤 公司
e-mail	kojimail@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医皮膚科学
科目名	皮膚バリア機構の破綻による哺乳動物の皮膚疾患
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	皮膚バリア機構の破綻が関与すると考えられている哺乳動物の皮膚疾患(天疱瘡、膿痂疹、アトピー性皮膚炎など)を題材とし、バリア機構の破綻に関連する分子機構と病態との関連について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	田中 綾
e-mail	ryoryo@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	獣医循環器病学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	各種心機能検査による心疾患の病態評価と各病態に対する治療戦略について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	田中 知己
e-mail	tomomit@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜不妊症防除学
科目名	繁殖機能の中枢制御機構
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	反芻家畜の繁殖を調節している中枢機構に関して最近の知見を紹介し、家畜の繁殖が促進または障害される際のメカニズムを考えていく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	竹原 一明
e-mail	takehara@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医衛生学
科目名	感染症制御法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス性・細菌性感染症の病原体の自然界での生態について概説し、どのようにそれら病原体の侵入を制御したり、殺滅させたりできるかについて、戦略を説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	清水 美希
e-mail	mshimizu@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	酸化ストレスと疾患
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体内の酸化還元状態や生体内メチル化反応の変化を調べることにより、各種疾患の病態発現機序を解明する。特に、加齢性変化といわれている脳疾患や心血管疾患について検討する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	岸本 海織
e-mail	miori@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	放射線診断学および放射線防護
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	獣医学領域における放射線診断学の歴史と先端技術について説明する。また、放射線の安全な取扱いに必須となる放射線防護について、各自が現場で適切な防護方法を考え出せるレベルの知識の習得を目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	鈴木 和彦
e-mail	kzsuzuki@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	毒性病理学
科目名	線維化とがんの発症機序
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	化学物質による組織傷害によって惹起される線維化およびがんの発症機序への関与が示唆されている因子群についての多角的な解析およびそれらの結果に基づいた考察の仕方について学び、個々の実験へ活用できることを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	福島 隆治
e-mail	ryu-ji@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	小動物診断治療学
科目名	犬猫における超音波診断学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	従来からの犬猫の超音波診断法に加え、新規の適応と技術について学ぶ。 また、その習得することを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	水谷 哲也
e-mail	tmizutan@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜感染症学
科目名	ウイルスの網羅的解析
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	既知のウイルスについてはすでに検査方法が確立しているが、未知のウイルスの核酸配列については全く情報がないので検出することが難しい。家畜感染症の分野において、最新の核酸を増幅する技術を駆使した、ウイルスの迅速・網羅的な検出方法を理解することを目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	石原 加奈子
e-mail	kanako-i@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	食品安全管理学
科目名	分子疫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品媒介性感染症やその他の感染症における分子疫学及び疫学解析の手法やその応用を学び、感染症の制御についてディスカッションを行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	古谷 哲也
e-mail	furuyat@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	病原感染因子学
科目名	感染因子と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルスや原虫の動物やヒトへの感染においては、宿主細胞への侵入や細胞内感染の維持のため、寄生体と宿主の相互作用が必須であるが、この相互作用を研究することによって、疾病の治療や感染の予防に応用することができる。本講義では、この宿主・寄生体相互作用についての最新の知見を紹介し、学生の研究の発展にどのように生かしていくことができるかをディスカッションする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	大松 勉
e-mail	tomatsu@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜感染症学
科目名	獣医経済学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜感染症の発生は甚大な損失を社会全体にもたらすことから、感染症防疫にかかわる人材も経済学的視点を身に付けることが重要である。本講義ではその基礎となる経済学について理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	井手 香織
e-mail	k-ide@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医皮膚科学
科目名	上皮向性リンパ腫-ヒトと犬での比較-
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	主に皮膚や粘膜に病巣をつくり、治療が困難である上皮向性リンパ腫について、小動物のみならずヒトも含めた特徴・病態を説明し、動物種間における類似点や異なる点を比較検討する。そして最新の病態解析研究をもとに、犬の上皮向性リンパ腫について今後どのようなアプローチで研究を進めていけるのかをディスカッションする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	吉田 敏則
e-mail	yoshida7@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験病理学
科目名	分子器官病理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	慢性疾患の分子病理学的特徴ならびに発生機序について学び、動物の疾病とヒトの疾病との共通性、病理発生における外因（感染症や化学物質暴露など）と内因（遺伝子変異や代謝異常など）との相互作用、疾患モデル動物を用いた治療標的分子の探索などにも目を向け、動物からヒトへより幅の広い角度から病気の成り立ちについて理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	打出 毅
e-mail	uchide@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	分子診断治療学
科目名	獣医内科学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人と伴侶動物で共通して認められる疾患について、分子的類似性を基盤とした新しい診断法、治療法について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	永岡 謙太郎
e-mail	nagaokak@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	分子生理学
科目名	アミノ酸代謝と生体機能
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体におけるアミノ酸の有用性や代謝経路について概説し、様々な表現系を有するアミノ酸代謝酵素欠損マウスについて研究概要を説明するとともに、用いられている実験技術について理解させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	小山 哲史
e-mail	skoyama@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	行動生物学
科目名	行動生態学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の一般的な行動原理を概説し、それぞれの動物およびその動物の行動の特性に応じた適応度上のコストと利益について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	阿閉 泰郎
e-mail	atozi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	脳形態学
科目名	哺乳類および鳥類の比較神経解剖学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	次の項目について講義および討論を行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 神経解剖学の研究方法 2. 神経組織の基本知識 3. 感覚系（嗅覚、視覚、聴覚、体性感覚）の哺乳類と鳥類との相違 4. 辺縁系の哺乳類と鳥類での違い 5. 高次機構の違い
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	志水 泰武
e-mail	yshimizu@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経生理学
科目名	恒常性を維持するための神経内分泌系
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	提示し課題に対して提出されたレポートを題材とし、討論しながら、データの取り扱い方を教授する。また論文を作成する過程で必要となる考察力の育成を目指す。
教育内容	e-learning システムを使って、提示された実験データをどのように活用して結論を導くべきか討論する。また、仮説を立て、その仮説を立証するためにどのような実験を組むべきか思考する。知識の提供ではなく、思考力の育成を目指す。
評価方法	受講状況と課題ごとに提出されるレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-learning システムで授業を実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	海野 年弘
e-mail	tunno@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	内因性物質薬理学
科目名	細胞膜の受容体とイオンチャネルの異常に基づく疾患
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	細胞膜の受容体やイオンチャネルの異常に基づく疾患について、その疾患の病態発現機構を分子レベルで概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 E-learning システムで授業を実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	柳井 徳磨
e-mail	yanai@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	比較病理学
科目名	野生および動物園動物病理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	<p>講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。また、得られた成果をアジアにおける保全医学関連の国際学会で発表し、他の研究者と情報を共有し、国際的な学会活動に対する発表および討議能力を身につける。</p>
教育内容	<p>保全医学の一環として、環境、野生動物および人類の健康状態の病理学的側面を研究し、環境の異常に対して警鐘を鳴らす。環境の変化を知るための基礎的な研究、具体的には、野生動物の中毒、感染症および大量死などの現象を解明、さらに野生動物と人の間の共通感染症の病理発生を研究する。</p>
評価方法	<p>受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。</p>
備考	<p>指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。</p>

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	福士 秀人
e-mail	hfukushi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	分子感染症学
科目名	ウイルス病原性発現機構の分子生物学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルスの病原性発現機構の解明は感染症制御の基礎である。この授業ではウイルスゲノムを標的として病原性発現機構を解明する手法について原理および応用に関して学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	杉山 誠
e-mail	sugiyama@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	人獣共通感染症学
科目名	ウイルス性人獣共通感染症と社会
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	研究者は社会的な位置づけを一層意識する必要がある。社会（一般人）とのコミュニケーション能力がますます重要になる。この授業では、ウイルス性人獣共通感染症をテーマに、一般人に科学的な情報をどのように伝達したら良いかについて考えたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	鈴木 正嗣
e-mail	mszk@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	野生動物保護管理学
科目名	野生動物管理のための獣医学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	イノシシやシカなどで確認されている急速な生息数増加は農林業被害や植生破壊の原因となっている。個体群管理は、これを解決するための有効なツールとされている。本セミナーは、個体群管理を適性に遂行するための基礎研究や手法について教示する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	鬼頭 克也
e-mail	k-kitoh@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	住血寄生虫症の病態発生と診断、治療法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬と猫の住血寄生虫を原因とする疾患を対象に、宿主-寄生体関係を主とした病態発生、診断、治療について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	山添 和明
e-mail	yamazoe@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物外科学
科目名	創傷治癒と湿潤療法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	現在、人医療では消毒薬とガーゼによる治療法から湿潤環境を維持する治療法へと変化しつつある。本授業では創傷治癒の基本原則を理解し、獣医療でも導入されつつある湿潤療法を症例を交えて紹介し、その適用について考えたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	前田 貞俊
e-mail	sadat@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床免疫学
科目名	動物の免疫介在性疾患における分子病態の解明
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	イヌおよびネコのアレルギー性疾患の臨床的特徴について概説した後、今日における診断および治療に関する問題点を明らかにする。さらに、アレルギー学および免疫生物学に関する論文の critical reading を通して比較免疫学の概念に関する理解を深め、獣医アレルギー学研究者が進むべき方向について議論していく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	椎名 貴彦
e-mail	tshiina@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経生理学
科目名	消化管の病態生理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食道や胃、小腸、大腸の運動は、脳・脊髄に由来する外来神経系と、消化管内部に存在する内在神経系によって制御されている。神経系による消化管運動の調節機構には、アセチルコリンや一酸化窒素をはじめ、様々な神経伝達物質が関与している。神経伝達物質の作用が十分に発揮されない、あるいは過剰に反応してしまうことにより、下痢や便秘などの、消化器異常が引き起こされると考えられている。本セミナーでは、学術論文を教材として、消化管ごとの神経支配の違いや、神経の分布様式、消化管運動の制御メカニズムなどを理解するとともに、それらと消
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	酒井 洋樹
e-mail	shiroki@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	腫瘍病理学
科目名	比較腫瘍病理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	医学および獣医学の最新論文を精読することによって、人間、犬および猫の腫瘍性疾患について比較検討し、比較腫瘍学の中での獣医腫瘍病理学の有用性を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大屋 賢司
e-mail	kohya@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	分子感染症学
科目名	細胞内寄生病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	病原微生物（特に細胞内寄生細菌）と宿主の相互作用から感染成立・発症に至るまでの過程を、細胞微生物学的側面から理解し、自身の研究活動に生かすことを目的とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	伊藤 直人
e-mail	naotoito@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	人獣共通感染症学
科目名	ウイルス性人獣共通病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	多くのウイルスは特定の宿主動物と共に進化し、長い時間をかけて共生関係を築いている。しかし、共存関係にない動物に感染すると、強い病原性を示す場合が少なくない。それは一体なぜだろうか？本講義では、分子レベルならびに進化というマクロな視点からウイルス-宿主（細胞）の相互作用について解説する。さらに、これらの相互作用の理解を通じて、人獣共通感染症の制御について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	浅野 玄
e-mail	asanojr@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	野生動物保護管理学
科目名	侵略的外来哺乳類の管理
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	わが国における生物多様性の劣化の一因として外来種による固有生態系への侵略があげられている。セミナーでは移入哺乳類の個体群管理法の実例を学び、個体群動態学的指標としてもっとも重要な年齢査定法について実験も行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	猪島 康雄
e-mail	inoshima@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	感染症診断学
科目名	ウイルス感染症の診断と対策
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	産業動物や野生動物のウイルス感染症発生例をもとに現在の診断法とその問題点などについて学ぶ。飼養・出荷形態や流通経路、生息環境や行動特性などの理解した上で、感染症制御のための現実的な対策について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大場 恵典
e-mail	ohba@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	産業動物臨床学
科目名	動物の遺伝性疾患の解析
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の遺伝性疾患について概説する。とくに原因遺伝子の同定方法および遺伝子診断法の確立について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	高島 康弘
e-mail	atakashi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感染症、およびそれに関連する領域（アレルギー、疫学、基礎免疫学）の論文のうち世界的に高い評価を受けたものを読み討議することで寄生者と宿主の関係を理解する。また討議の過程で戦略的な研究の進め方について理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	渡邊 一弘
e-mail	nabechan@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物外科学
科目名	小動物歯科口腔外科
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物の歯科・口腔外科を概説します。さらに、人の歯科治療法と比較することによって小動物における最良の歯科治療法を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	森 崇
e-mail	tmori@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床腫瘍学
科目名	獣医臨床腫瘍学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	腫瘍性疾患は、小動物に限らず人においてもいまだ様々な問題が山積している。どのような点が問題となっているか実際の臨床現場に触れていただいた上で、問題解決はどこまで進んでいるのか、またどのようなアプローチで研究が進められているのかについて理解することを目的としている。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	村瀬 哲磨
e-mail	muraset@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床繁殖学
科目名	哺乳動物精子の受精能力発現
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜を含む哺乳動物の受精において精子は鞭毛の超活性化運動、受精能獲得および先体反応（膜融合）を起こす。これらの現象が起きなければ受精できないことから、反応を調節する機構は不妊症の原因解明あるいは避妊のターゲットとなる。これらの分子機構に関する論文を読み本セミナーでは考察をしたいと思う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	齋藤 正一郎
e-mail	shouichi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経組織学
科目名	形態学における分子生物学的手法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	近年、科学技術の進歩により、組織切片上におけるタンパク質の検出限界は向上し、また易分解性である mRNA も検出できるようになった。しかしながら、その研究手技の原理、および一般的に”そうしなさい”とされている手技の理由を熟知しなければ、個々人の研究分野に適した独自の手技を確立することは難しい。本授業では、形態学的研究に利用されている分子生物学的手法 (in situ hybridization および免疫組織化学) についての原理と応用について討論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	高須 正規
e-mail	takasu@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床繁殖学
科目名	絶滅危惧種の保全戦略
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	種の保全を目的とした繁殖技術に関して概説し、この技術を用いた保全戦略を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	神志那 弘明
e-mail	kamicna@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医臨床神経病学
科目名	小動物の神経病学と画像診断学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物に認められる神経疾患の概要とそれらの画像診断技術について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7211b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	松山 勇人
e-mail	mhayato@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	内因性物質薬理学
科目名	平滑筋の受容体およびイオンチャネルの役割
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	平滑筋の受容体やイオンチャネルについて理解を深めるとともに、病態における役割について考察する。授業では各自が国際雑誌に投稿されている最近の科学論文を詳解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	西飯 直仁
e-mail	nishii@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物内科学
科目名	小動物の内分泌代謝性疾患の病態生理
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物の内分泌代謝性疾患について、病態生理、診断および治療法について解説する。また獣医内分泌学における問題点を見出し、その解決策について議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	浅井 鉄夫
e-mail	tasai@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	動物感染症制御学
科目名	感染症における抗菌剤治療および耐性菌
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感染症の原因菌における耐性獲得は重要な問題となっている。動物医療における薬剤耐性菌の出現防止に、獣医師は責任を持って取り組まなければならない。耐性菌に関する科学的知見に基づいて、抗菌剤の選択や使用方法について考えていく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	柴田 早苗
e-mail	shiba211@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医麻酔学
科目名	獣医麻酔学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物病院での診療などを通して、動物実験の際に必要な麻酔科学の知識を得る。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大西 真
e-mail	ohnishi7@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興感染症学
科目名	獣医微生物学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症、特に新興・再興細菌感染症に焦点をあてて、病原体の特徴に関して概説し、病原体の特性に応じて開発された分子診断法、分子疫学解析法について説明する。また、比較ゲノム解析学的視点により病原細菌の進化過程とその多様性形成機構について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	森川 茂
e-mail	morikawa@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱の疫学、診断、予防
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	平成 19 年 6 月に改正、施行された感染症法により、1 類感染症に分類されるウイルス性出血熱や 2 類感染症に分類される SARS 等の重篤な人獣共通感染症の原因ウイルスの保有、実験に関しても法的に規制されることになった。国内では 1 類感染症で輸入症例が確認されているのはラッサ熱 1 例のみだが、欧州では輸入症例が多発している。これらの重篤な人獣共通感染症についての疫学・診断及び予防を理解することを目標として授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	川端 寛樹
e-mail	kbata@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興感染症学
科目名	ベクター媒介性の新興細菌感染症の現状、発症機序
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	節足動物媒介性の新興感染症の現状、発症機序を理解し、その制御方法を探る事を目的とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	井上 智
e-mail	sinoue@nih.go.jp
教育研究指導分野	再興感染症学
科目名	動物由来感染症の発生機序とその予防方法
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	新興再興感染症における動物由来感染症の発生機序と発生予防の方法について公衆衛生の視点から獣医領域からのアプローチとその役割について考えてみたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	西條 政幸
e-mail	msaijo@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱および新興ウイルス感染症
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス性出血熱含む新興ウイルス感染症の疫学、病態、診断、予防・治療に関する理解を深めるとともに、その対策について考察するための授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	福士 秀悦
e-mail	fukushi@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	エボラ出血熱、ラッサ熱など、公衆衛生上の脅威となりうるウイルス性出血熱の発生状況を知り、診断法と発生予防対策について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	北嶋 聡
e-mail	satoshi@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品衛生学
科目名	食品、その成分および混入化学物質による毒性
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	<p>食品の安全を確保するための対策がこれまで以上に必要とされてきています。ここでは、食品に由来する様々な化学物質（食品成分および食品添加物、残留農薬、環境汚染物質、マイコトキシンなどの混入化学物質）により誘発される毒性を、より高精度に把握する方策を探ることを目標として授業を行います。</p>
教育内容	<p>食品由来の様々な化学物質に関する実験動物を用いた毒性把握の現状、問題点と対策につきレポートを提出してもらい、この内容についてメールにて質問と意見交換ならびに全受講生によるディスカッションを行います。</p>
評価方法	<p>最終レポートをまとめてもらい、これにより成績評価をおこないます。</p>
備考	<p>指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。</p>

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	大西 貴弘
e-mail	ohnisi@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品微生物学
科目名	自然免疫と生体防御機構
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体防御機構における自然免疫の重要性を概説し、病原微生物由来の分子パターンがどのような機構によって認識されるのか説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	朝倉 宏
e-mail	hasakura@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品微生物学
科目名	食品有害細菌の分子疫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品を介して感染する細菌性疾病の種類や特徴に関して概説し、病原細菌の特性に応じて開発された分子疫学手法および分子診断法（分子遺伝学的・免疫学的診断法等）について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	佐々木 貴正
e-mail	ysasaki@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食肉衛生学
科目名	食肉における病原細菌の制御
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食肉を汚染する病原細菌の種類、家畜の飼育管理状況及び食肉処理工程を概説し、食肉加工における病原細菌の制御法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	西藤 岳彦
e-mail	taksaito@affrc.go.jp
教育研究指導分野	獣医微生物学
科目名	ウイルス性人獣共通感染症
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症のうち、ウイルスに起因するものに焦点を合わせて、自然界での存在様式、伝播機序、人および動物宿主における病原性などに関する理解を深めることを目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	高松 大輔
e-mail	p1013dt@affrc.go.jp
教育研究指導分野	獣医微生物学
科目名	グラム陽性球菌による細菌感染症
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	グラム陽性球菌による感染症、特に豚レンサ球菌症やミツバチの腐蛆病について、発生状況や発病機序を概説し、病原体の特性や進化についても説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	真瀬 昌司
e-mail	masema@affrc.go.jp
教育研究指導分野	家畜衛生学
科目名	鳥ウイルス性疾病の疫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	鳥インフルエンザを含むウイルスに起因する鳥類の疾病の種類や特徴に関して概説し、原因となるウイルスの病原性および疫学について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	菅野 徹
e-mail	kannot@affrc.go.jp
教育研究指導分野	国際重要伝染病学
科目名	酪農環境下におけるウイルス性疾病
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	大規模酪農環境下において問題となるウイルス性疾病の現状や、それら疾病の防疫を目的としたウイルスの生態及び動態の解析や予防診断技術の開発など起因病原体側からの研究アプローチを紹介することにより臨床ウイルス学の理解を深めることを目標とした授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7411b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (I b)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	筒井 俊之
e-mail	tsutsui@affrc.go.jp
教育研究指導分野	動物感染症疫学
科目名	家畜感染症の流行疫学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物感染症の流行要因の解析に応用する疫学手法について実例を用いながら概説し、より詳細な分析を行うための統計学的手法について説明する。さらに、動物感染症の流行動態の解析や対策の評価に用いるシミュレーションモデル、発生予防措置を検討するために用いるリスクアセスメントについて説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	佐藤 文夫
e-mail	Fumio_Sato@jra.go.jp
教育研究指導分野	馬生産育成学
科目名	馬の生産および疾病管理
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	軽種馬の生産および育成技術の向上を目指して、誕生から競走馬になるまでの 育成期全般における飼養管理方法の改善、新生子学、若馬特有の内科および 外科疾患の診断・治療・予防方法の解明、新たな調教・馴致法の導入に関する 体系的な調査研究の紹介。そこでは、軽種馬の X 線や内視鏡、エコーを用いた 画像診断法や一次診療などの臨床獣医学的なことから、内分泌学、生理学や 行動学的手法を用いた調査研究まで馬に関することを学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより 総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等 について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	桑野 睦敏
e-mail	hoofvet@center.equinst.go.jp
教育研究指導分野	馬蹄病学
科目名	馬の蹄病理学および臨床医学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	スライド写真やビデオ画像などを使い、ウマの特殊な肢端構造である蹄の解剖学および各種蹄病について、解剖学的、病理学的、生化学的および病原微生物学的知見を教育。また、日本の装蹄技術についても紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7611b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (I b)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	大村 一
e-mail	hajime@equinst.go.jp
教育研究指導分野	馬生理学
科目名	馬運動生理学
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	運動中の呼吸循環応答を概説し、馬の生理学的特徴について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	末水 洋志
e-mail	suemizu@ciea.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	遺伝子改変動物作製の実際とヒト化動物
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	免疫不全マウスにヒト細胞・組織を生着させたヒト化マウスに関して概説し、様々な疾患・病態、あるいは正常生体機能を反映したモデル（免疫・感染症、薬物代謝）について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	橋本 晴夫
e-mail	hashimot@ciea.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	実験動物の開発・育成の基礎とモデル動物
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	実験動物の歴史、飼育技術、遺伝子改変技術について概説し、糖尿病を例に糖尿病モデル動物の変遷と現在の 2 型糖尿病モデルマウスについて説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7011b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (I b)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	林元 展人
e-mail	nobuh@ciea.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	実験動物の品質管理、感染症とそのモデル
単位数	2
必修および選択	必修
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	本科目ではマウス、ラットの感染症を概説するとともに、具体的な微生物学的品質管理（衛生管理、検査手法）について説明する。また、昨今使用されるマウス、ラットを用いた感染症モデルについて説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	北村 延夫
e-mail	kitamura@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	比較組織学
科目名	消化管の構造と制御組織
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	消化管の構造的特徴を食性と関連付けて理解し、それらの機能を調節する自律制御機構の組織学的成り立ちを理解する。消化管内分泌細胞および消化管神経の特徴について形態や含有する化学信号物質等に基づいて詳解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	鈴木 宏志
e-mail	hisuzuki@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	ゲノム機能学
科目名	発生・生殖工学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	発生工学の魅力は、興味ある遺伝子の機能を個体レベルで解析可能にすることにある。培養細胞を用いて血圧の制御にかかわる遺伝子の機能を観察することは困難だが、発生工学は生体の高次機構のなかで遺伝子機能を直接的に解析可能な検定系を提供できる。本授業では、発生工学とそれを支える生殖工学への理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	河津 信一郎
e-mail	skawazu@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	原虫病予防治療学
科目名	分子寄生虫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	「ポストゲノム」の原虫病研究では、遺伝子改変（トランスジェニック）技術を応用して、原虫ゲノムのリソースから真に有用な遺伝子を選別する研究手法が重要になると考える。このセミナーでは、トランスジェニック原虫の作製方法と、そのゲノム機能解析研究への応用法を理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	石井 利明
e-mail	ishii@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	神経薬理学
科目名	離乳と脳高次機能
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	離乳期に顕彰する自給本能発現における脳神経機構を解説し、動物行動を調節する脳高次機能の適応や発達の理解を深める。特に、離乳時の「固執」の変化は、動物行動と脳神経活動の因果関係や脳高次機能と心理学的発達の接点を理解する上で最適な題材となる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	古岡 秀文
e-mail	furuoka@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	病態病理学
科目名	感染病理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	BSE やスクレイピーを含むプリオン病、ヘルペスウイルスをはじめとする神経系ウイルス感染症や Lawsonia をはじめとする消化管細菌感染症にみられる病態の特徴と病理学的診断法、ならびにこれら感染症にみられる宿主免疫について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	倉園 久生
e-mail	hkurazon@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	蛋白毒素科学
科目名	細菌感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ある種の病原細菌は、蛋白毒素を産生して種々の病態を惹起する。現在までに病原細菌の産生する蛋白毒素が数多く報告され、あるものについてはその詳細な作用機作が分かっている。本授業では、細菌感染症を引き起こす病原細菌の産生する蛋白毒素の作用機作について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	猪熊 壽
e-mail	inokuma@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物内科学
科目名	大動物感染症の診断、治療および予防
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	大動物内科学において問題となる牛白血病などの難診断疾患、およびリケッチア、原虫などの人獣共通新興感染症を含む大動物の感染症について、その診断、治療および予防に関するアプローチの方法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	宮原 和郎
e-mail	miyahara@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	臨床病理学
科目名	臨床病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	画像診断法 (X線透視診断、X線撮影診断、超音波診断など) を主体とした臨床病理学的診断方法による、産業動物、特に乳牛における消化器疾患、循環器疾患および運動器疾患の病態について、実際の臨床例を題材としてその診断過程を基に理解させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	佐々木 基樹
e-mail	sasakim@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	比較組織学
科目名	分化、発達にともなう生殖器の機能形態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	胎子期から成熟個体までの脊椎動物の生殖器の分化、発達にともなう形態学的変化と、それにともなう生理学的機能の変化を把握することによってその相互関係を理解する。さらに、視床下部、下垂体の生殖器に対する調節機構や母体と胎子間の相互作用の理解も視野に入れる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	五十嵐 慎
e-mail	makoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	耐病性遺伝子工学
科目名	原虫の宿主感染機構と免疫応答
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	トキソプラズマ原虫に対するワクチン開発、およびシスト形成の分子機構の解明を主テーマとする。細胞内寄生原虫感染における基礎的な免疫機構および一般的な分子生物学の知識を身につける。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	横山 直明
e-mail	yokoyama@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	原虫病高度診断学
科目名	赤血球内寄生性原虫病学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	赤血球内に寄生する病原性原虫（バベシア原虫やタイレリア原虫）に対して、現在までに有効な予防法は確立されていない。確立の糸口として"どのようなタイプの原虫が、どのように増殖し、どのようにして宿主に病気を引き起こすのかを正しく理解することが重要となる。この科目では、赤血球内寄生性原虫による最新の関連知見を紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	小川 晴子
e-mail	hogawa@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	家禽疫病学
科目名	家禽のウイルス感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	鳥インフルエンザやニューカッスル病等の家禽に重篤な疾病を引き起こすウイルスについて概説し、自然界におけるそれらウイルスの進化と引き起こされる疾病の制御法について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	古林 与志安
e-mail	kyoshi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	運動器病理学
科目名	ウイルス関連腫瘍の病態と診断
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス関連腫瘍について病態を概説するとともに、それら疾患に対する診断法を含めた最新知見について、より深い知識が拡充できるように講義する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	松井 基純
e-mail	mmatsui@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	繁殖障害診断治療学
科目名	牛および馬における繁殖障害の病態生理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜の生産性に大きな影響を与える牛および馬の繁殖機能障害について、病態生理とその対策を学ぶ。特に、繁殖生理の要である内分泌学的視点に加え、近年、重要視されている栄養や快適性などの飼養環境要因についても、最新の研究成果を学び、課題を掘り起こす。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	福本 晋也
e-mail	fukumoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	ベクター生物学
科目名	寄生虫生態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	節足動物によって媒介されるフィラリアやマラリア等の寄生虫感染症を対象として、ベクターと宿主の体内における寄生体の複雑かつ巧妙なライフサイクルを分子遺伝学的観点から概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	大石 明広
e-mail	aoishi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物外科学
科目名	イヌの腎性貧血の病態生理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	このセミナーでは、エリスロポエチン産生性の問題、赤血球寿命の問題、および出血・失血の問題について行われてきている研究について学び、腎性貧血病態への理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	松本 高太郎
e-mail	kmatsumoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物内科学
科目名	マダニ媒介性疾患へのアプローチ
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症であるリケッチア症やエーリキア症、原虫性疾患などのマダニ媒介性疾患について、その診断および治療、周辺環境の調査法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	加藤 健太郎
e-mail	kkato@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	地球規模感染症学
科目名	分子感染症学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症を含めた原虫、ウイルス感染症において、原因となる病原体が如何にして宿主細胞に侵入・感染し、どの様にして宿主細胞内で増殖するのかという命題について、その分子機構を概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	南保 泰雄
e-mail	ynambo@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	馬繁殖学
科目名	馬の生殖内分泌
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	写真やビデオ画像などを使用し、馬の生産現場で行われている臨床繁殖診療について、種々の発情検査、交配適期の選択、妊娠鑑定、分娩管理法、分娩後初回発情などの一般診療から、カラードプラ超音波診断による画像診断、ホルモン測定による生殖内分泌検査方法などの研究まで、授業を行う。また、日本のサラブレッド生産育成について紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	石川 透
e-mail	torui@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	免疫生理学
科目名	上皮膜輸送
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	上皮細胞は体液コンパートメント間の水や電解質の交換に重要な役割を果たしている。このような分子の上皮膜輸送は多種多様なイオン輸送タンパク機能とその統合により可能となる。この科目では上皮細胞に機能発現するイオンチャンネル、トランスポーター、ポンプの構造機能連関および細胞内調節機構について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	室井 喜景
e-mail	muroi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	行動神経科学
科目名	本能行動を制御する神経機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の本能は様々な行動を通して表現される。例を挙げながら中枢神経系による本能行動の制御機構を概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	山岸 則夫
e-mail	yamagishi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	牛病学
科目名	牛疾患の病態と診断・治療法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	牛の代謝性疾患や各種外科疾患に関して、最新研究報告を交えて説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山本 欣郎
e-mail	yyoshio@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞システム学
科目名	感覚神経の信号伝達
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感覚神経の信号伝達経路について概説し、嗅覚、味覚、聴覚、固有感覚の特徴について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	板垣 匡
e-mail	itagaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	寄生虫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	寄生虫には多様な種があるが、それらは生命の誕生から繰り広げられてきた寄生虫と宿主の相互関係や相克の結果として進化し形成された。寄生虫種が持つ形態や生態、宿主特異性などの生物学的特徴と進化の関連を考察し、寄生虫生物学を理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	宇塚 雄次
e-mail	ujiiwa@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物臨床外科学
科目名	小動物臨床放射線学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	日々進化する伴侶動物医療において、外科的な診断・処置法について、とくに麻酔や断層撮影に関する造詣を深める。具体的には、各種麻酔薬の生体に対するさまざまな影響や、外科的疾患、とくに神経学的疾患に対する断層撮影の活用法についての授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 繁
e-mail	sshigeru@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	代謝病学
科目名	獣医内科学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	乳牛の周産期疾病、特に分娩前後にみられる乳熱などの低カルシウム (C a) 血症関連疾病およびケトosisや脂肪肝などの負のエネルギーバランス (N E B) 関連疾病の発生要因、病態および防除について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 れえ子
e-mail	reekos@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物病態内科学
科目名	鉄結合蛋白ラクトフェリンの免疫調節作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	免疫不全症に伴う慢性炎症のメカニズムについて、生体内における好中球機能ならびにリンパ球機能変動の観点から免疫学的に学ぶとともに、実際の臨床例における分析結果についても考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	中牟田 信明
e-mail	nakamuta@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経解剖学
科目名	脊椎動物嗅覚系の形態学的側面
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	様々な動物における嗅覚器と嗅球の形態等について、最新の論文を紹介しながら解説し、鋤鼻系を含む嗅覚系の理解と新しい研究課題の発掘を目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	木崎 景一郎
e-mail	kizaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞生理学
科目名	着床, 胎盤形成および血管新生の生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	着床および胎盤形成について概説し、これらの現象の成立に必須な子宮内膜細胞と栄養膜細胞の相互作用、分化機構、及び血管新生について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山田 美鈴
e-mail	yomisuzu@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞システム学
科目名	生体内ホメオスタシス維持機構論
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生物は外的環境を感知し、その変化に柔軟に対応するホメオスタシス機構を備えている。本科目では、各自でホメオスタシス維持機構に関するテーマを設定し、研究の背景・実験方等を発表やレポートとしてまとめ、議論することで理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱa）
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 至
e-mail	satoital@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	環境衛生学
科目名	放射線の研究利用と防護
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	研究推進のための有力なツールである放射線・放射性同位元素の様々な利用方法について解説するとともに、その管理の特殊性や防護理論を教授することにより、放射線・放射性同位元素の安全かつ有効な研究利用について習得させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	岡田 啓司
e-mail	keiji@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	生産獣医療学
科目名	生産獣医療学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	牛の生産獣医療学は、食の安全、動物福祉、畜産と環境を含む分野である。私たちの牛群管理は、反芻獣栄養学と護蹄管理を中基礎としている。それらをもとに、動物福祉を配慮した生産性向上の方策を探る。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	古市 達哉
e-mail	furuichi@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	モデル動物学
科目名	モデル動物を用いた疾患の病態解析
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	疾患モデル動物の作製方法、および疾患モデル動物を用いた病態解析法について解説する。基礎研究および創薬研究におけるモデル動物の重要性を解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	村上 賢二
e-mail	muraken@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	病原微生物学
科目名	獣医微生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物感染症の制御のために、病原体の病原性のメカニズムについて、さらに感染症の予防、診断、治療法を学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	片山 泰章
e-mail	masaaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	機能再建外科学
科目名	小動物臓器移植学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	猫の末期腎不全に対する根治的治療法である腎移植についての最新情報を移植免疫、免疫抑制法、手術技術および臓器保存の点から解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	高橋 透
e-mail	tatoru@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	繁殖機能制御学
科目名	獣医臨床繁殖学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	臨床繁殖学における診断?治療に関して、これを生理学および管理学的な視点から概説した上で、多様な繁殖障害に対する診断法や、生殖機能の人為的制御に基づく繁殖管理技術について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	落合 謙爾
e-mail	kochiai@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	組織病理学
科目名	獣医病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物のさまざまな疾患の病態解析
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山崎 真大
e-mail	masayama@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物病態内科学
科目名	応用獣医血液学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬・猫の持つ、細胞内が低カリウム濃度となっている赤血球についてその生化学的特徴を解説し、それらを応用した研究について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	高橋 正弘
e-mail	takamasa@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	大動物診断治療学
科目名	牛の胚移植の応用について
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	最近、海外でも和牛が注目されていますが、胚移植を活用した和牛の生産は農家の経営に役立つ技術であります。そこで、脂肪酸分析と胚品質の関係、リピーブリーダーへの活用など牛胚移植の新しい繁殖技術に関して説明します。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 洋
e-mail	satohsss@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	毒性薬理学
科目名	抗がん剤の薬理学的・毒性学的特性
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	抗がん剤の薬効機序とそれに起因した毒性作用に関して概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	彦野 弘一
e-mail	hhikono@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医免疫学
科目名	感染症の免疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	この科目は博士課程の学生に、感染とワクチネーションに対する免疫応答についての広い理解と、それを動物における感染症の研究、制圧、予防へ応用する能力を与える。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	大沼 俊名
e-mail	oonumat@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞生理学
科目名	血管新生制御の分子機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	腫瘍の進展や炎症時におこる血管新生について概説し、その具体的な解析方法について、各種の遺伝子組換え動物を使用したアプローチを中心に詳細な説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
 岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	福井 大祐
e-mail	dfukui@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	動物園動物・野生動物医学
科目名	保全医学概論
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人と動物の健康、そして地球上に存在するすべての生命体の基盤となる生態系の健全性は、互いにつながりを有しており、それらを維持・回復するには、「生物多様性保全」および「人と動物の共存」が重要な課題となる。この One Health を実現するための保全医学のアプローチについて、その概要を身近な野生動物問題を例示して解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論（Ⅱa）
配置大学	岩手大学
担当教員名	一條 俊浩
e-mail	ichijo@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	生産獣医療学
科目名	産業動物における臨床診断、治療および予後の関する診断法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生産獣医療の種類と特徴について概説するとともに、産業動物における臨床診断を中心に、効果的な治療および予後診断にいたるまでのプロセスを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	寺嶋 淳
e-mail	
教育研究指導分野	衛生微生物学
科目名	食品媒介細菌感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品を介する細菌感染症について、起因菌の細菌学的性状及び病原性発現機序とともに分子遺伝学的手法に基づく診断法などを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	星野 有希
e-mail	yhoshino@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	軟部組織外科学
科目名	伴侶動物の腫瘍性疾患に対する新規治療法の開発
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	伴侶動物の腫瘍性疾患について概説し、その病態発生から適応される新規治療法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	渡辺 元
e-mail	gen@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	生殖生理学
科目名	生殖の比較生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	卵や精子形成の調節における性腺と生殖中枢の関係について解説する。また、実験動物、家畜、家禽、野生動物など種々の動物の研究例を紹介しながら、生殖機能の内分泌学的調節メカニズムについて解説し、生理学的解析の進め方についても理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	白井 淳資
e-mail	jshirai@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医伝染病学
科目名	獣医伝染病学特論
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	学部の伝染病学の講義で行う内容をより詳しく、また学術的観点から深探求し、重要な家畜感染症を解説して行く。また人類にとって驚異となる感染症(人獣共通感染症を含む)について概要、疫学、病因および日本人が感染する可能性などについて解説し、それぞれの疾病に対しこれからどう取り組むかについてディスカッションを行う。今まで海外で行った感染症に関する研究を海外の研究施設も含め紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	藤川 浩
e-mail	fujik@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	食品安全管理学
科目名	食品の微生物学的安全性確保
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	有害微生物による食品の安全性を予防するため、微生物管理、すなわち微生物の汚染防止、殺菌、増殖抑制が非常に重要である。本講義では食品の微生物管理における基礎および応用についての理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	町田 登
e-mail	machida@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	腫瘍臨床病理学
科目名	小動物の腫瘍性疾患の細胞診断学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬および猫に発生する各種腫瘍性疾患の細胞診断について方法論と判読法を習得することを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	柴田 秀史
e-mail	shibata@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	比較解剖学
科目名	大脳辺縁系の神経解剖学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	中枢神経の構造の概略を説明した後、動物が生きていく上で必須の機能である記憶や学習といった高次神経機能の基盤となる Papez 回路を中心とした大脳辺縁系の神経解剖学を解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	佐々木 一昭
e-mail	skazuaki@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	臨床薬理学
科目名	薬物動態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	薬物動態学の基礎となる理論と薬物分析に関する方法論を講義する。薬物の吸収、分布、代謝、排泄という薬物動態学の基礎を学び、臨床への応用を考える。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	渋谷 淳
e-mail	mshibuta@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	毒性病理学
科目名	発達期神経毒性学、発がん
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	化学物質による発癌メカニズムの探究や神経発達に対する影響とその分子標的の解明などに関して、形態学に根ざした分子解析アプローチの可能性、アプリケーションの限界、得られた結果の解釈や応用性等について学び、個々の実験解析に活かせるようにする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	谷口 隆秀
e-mail	taniguti@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	感染防御学
科目名	ウイルス感染症における免疫反応と病態形成機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス感染症では、宿主側の様々な要因によって多様な病態が形成される。感染によって引き起こされる免疫応答が必ずしも宿主に有利に働くとは限らない。本講義では宿主の生体防御機構とウイルス感染症における病態形成の関係について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	佐藤 俊幸
e-mail	tsatoh@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	行動生物学
科目名	動物の行動形質の進化的理解：血縁選択と性選択
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	獣医学分野ではあまりとりあげられない、行動の適応的意義を、進化的観点から解説する。とくに血縁者どうしの協力的行動の進化 (血縁選択)、メスの選り好みによるオスの一見非適応的な形質の進化 (性選択) など、包括適応度の概念を導入しないと理解できない現象の解説を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	林谷 秀樹
e-mail	eisei@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医疫学
科目名	疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	疫学、特に感染症の疫学および臨床疫学に焦点を当て、その理論と応用について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	西藤 公司
e-mail	kojimail@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医皮膚科学
科目名	皮膚バリア機構の破綻による哺乳動物の皮膚疾患
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	皮膚バリア機構の破綻が関与すると考えられている哺乳動物の皮膚疾患(天疱瘡、膿痂疹、アトピー性皮膚炎など)を題材とし、バリア機構の破綻に関連する分子機構と病態との関連について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	田中 綾
e-mail	ryoryo@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	獣医循環器病学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	各種心機能検査による心疾患の病態評価と各病態に対する治療戦略について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	田中 知己
e-mail	tomomit@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜不妊症防除学
科目名	繁殖機能の中枢制御機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	反芻家畜の繁殖を調節している中枢機構に関して最近の知見を紹介し、家畜の繁殖が促進または障害される際のメカニズムを考えていく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	竹原 一明
e-mail	takehara@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医衛生学
科目名	感染症制御法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス性・細菌性感染症の病原体の自然界での生態について概説し、どのようにそれら病原体の侵入を制御したり、殺滅させたりできるかについて、戦略を説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	清水 美希
e-mail	mshimizu@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	酸化ストレスと疾患
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体内の酸化還元状態や生体内メチル化反応の変化を調べることにより、各種疾患の病態発現機序を解明する。特に、加齢性変化といわれている脳疾患や心血管疾患について検討する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	岸本 海織
e-mail	miori@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	放射線診断学および放射線防護
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	獣医学領域における放射線診断学の歴史と先端技術について説明する。また、放射線の安全な取扱いに必須となる放射線防護について、各自が現場で適切な防護方法を考え出せるレベルの知識の習得を目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	鈴木 和彦
e-mail	kzsuzuki@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	毒性病理学
科目名	線維化とがんの発症機序
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	化学物質による組織傷害によって惹起される線維化およびがんの発症機序への関与が示唆されている因子群についての多角的な解析およびそれらの結果に基づいた考察の仕方について学び、個々の実験へ活用できることを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	福島 隆治
e-mail	ryu-ji@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	小動物診断治療学
科目名	犬猫における超音波診断学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	従来からの犬猫の超音波診断法に加え、新規の適応と技術について学ぶ。 また、その習得することを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱa）
配置大学	東京農工大学
担当教員名	水谷 哲也
e-mail	tmizutan@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜感染症学
科目名	ウイルスの網羅的解析
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	既知のウイルスについてはすでに検査方法が確立しているが、未知のウイルスの核酸配列については全く情報がないので検出することが難しい。家畜感染症の分野において、最新の核酸を増幅する技術を駆使した、ウイルスの迅速・網羅的な検出方法を理解することを目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	石原 加奈子
e-mail	kanako-i@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	食品安全管理学
科目名	分子疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品媒介性感染症やその他の感染症における分子疫学及び疫学解析の手法やその応用を学び、感染症の制御についてディスカッションを行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	古谷 哲也
e-mail	furuyat@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	病原感染因子学
科目名	感染因子と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルスや原虫の動物やヒトへの感染においては、宿主細胞への侵入や細胞内感染の維持のため、寄生体と宿主の相互作用が必須であるが、この相互作用を研究することによって、疾病の治療や感染の予防に応用することができる。本講義では、この宿主・寄生体相互作用についての最新の知見を紹介し、学生の研究の発展にどのように生かしていくことができるかをディスカッションする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	大松 勉
e-mail	tomatsu@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜感染症学
科目名	獣医経済学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜感染症の発生は甚大な損失を社会全体にもたらすことから、感染症防疫にかかわる人材も経済学的視点を身に付けることが重要である。本講義ではその基礎となる経済学について理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	井手 香織
e-mail	k-ide@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医皮膚科学
科目名	上皮向性リンパ腫-ヒトと犬での比較-
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	主に皮膚や粘膜に病巣をつくり、治療が困難である上皮向性リンパ腫について、小動物のみならずヒトも含めた特徴・病態を説明し、動物種間における類似点や異なる点を比較検討する。そして最新の病態解析研究をもとに、犬の上皮向性リンパ腫について今後どのようなアプローチで研究を進めていけるのかをディスカッションする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	吉田 敏則
e-mail	yoshida7@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験病理学
科目名	分子器官病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	慢性疾患の分子病理学的特徴ならびに発生機序について学び、動物の疾病とヒトの疾病との共通性、病理発生における外因（感染症や化学物質暴露など）と内因（遺伝子変異や代謝異常など）との相互作用、疾患モデル動物を用いた治療標的分子の探索などにも目を向け、動物からヒトへより幅の広い角度から病気の成り立ちについて理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	打出 毅
e-mail	uchide@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	分子診断治療学
科目名	獣医内科学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人と伴侶動物で共通して認められる疾患について、分子的類似性を基盤とした新しい診断法、治療法について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	永岡 謙太郎
e-mail	nagaokak@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	分子生理学
科目名	アミノ酸代謝と生体機能
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体におけるアミノ酸の有用性や代謝経路について概説し、様々ま表現系を有するアミノ酸代謝酵素欠損マウスについて研究概要を説明するとともに、用いられている実験技術について理解させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	小山 哲史
e-mail	skoyama@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	行動生物学
科目名	行動生態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の一般的な行動原理を概説し、それぞれの動物およびその動物の行動の特性に応じた適応度上のコストと利益について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	阿閉 泰郎
e-mail	atozi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	脳形態学
科目名	哺乳類および鳥類の比較神経解剖学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	次の項目について講義および討論を行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 神経解剖学の研究方法 2. 神経組織の基本知識 3. 感覚系（嗅覚、視覚、聴覚、体性感覚）の哺乳類と鳥類との相違 4. 辺縁系の哺乳類と鳥類での違い 5. 高次機構の違い
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	志水 泰武
e-mail	yshimizu@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経生理学
科目名	恒常性を維持するための神経内分泌系
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	提示し課題に対して提出されたレポートを題材とし、討論しながら、データの取り扱い方を教授する。また論文を作成する過程で必要となる考察力の育成を目指す。
教育内容	e-learning システムを使って、提示された実験データをどのように活用して結論を導くべきか討論する。また、仮説を立て、その仮説を立証するためにどのような実験を組むべきか思考する。知識の提供ではなく、思考力の育成を目指す。
評価方法	受講状況と課題ごとに提出されるレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-learning システムで授業を実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	海野 年弘
e-mail	tunno@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	内因性物質薬理学
科目名	細胞膜の受容体とイオンチャネルの異常に基づく疾患
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	細胞膜の受容体やイオンチャネルの異常に基づく疾患について、その疾患の病態発現機構を分子レベルで概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 E-learning システムで授業を実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	柳井 徳磨
e-mail	yanai@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	比較病理学
科目名	野生および動物園動物病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。また、得られた成果をアジアにおける保全医学関連の国際学会で発表し、他の研究者と情報を共有し、国際的な学会活動に対する発表および討議能力を身につける。
教育内容	保全医学の一環として、環境、野生動物および人類の健康状態の病理学的側面を研究し、環境の異常に対して警鐘を鳴らす。環境の変化を知るための基礎的な研究、具体的には、野生動物の中毒、感染症および大量死などの現象を解明、さらに野生動物と人の間の共通感染症の病理発生を研究する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	福士 秀人
e-mail	hfukushi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	分子感染症学
科目名	ウイルス病原性発現機構の分子生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルスの病原性発現機構の解明は感染症制御の基礎である。この授業ではウイルスゲノムを標的として病原性発現機構を解明する手法について原理および応用に関して学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱa）
配置大学	岐阜大学
担当教員名	杉山 誠
e-mail	sugiyama@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	人獣共通感染症学
科目名	ウイルス性人獣共通感染症と社会
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	研究者は社会的位置付けを一層意識する必要があるとあり、社会（一般人）とのコミュニケーション能力がますます重要になる。この授業では、ウイルス性人獣共通感染症をテーマに、一般人の人に科学的な情報をどのように伝達したら良いかについて考えたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	鈴木 正嗣
e-mail	mszk@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	野生動物保護管理学
科目名	野生動物管理のための獣医学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	イノシシやシカなどで確認されている急速な生息数増加は農林業被害や植生破壊の原因となっている。個体群管理は、これを解決するための有効なツールとされている。本セミナーは、個体群管理を適性に遂行するための基礎研究や手法について教示する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	鬼頭 克也
e-mail	k-kitoh@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	住血寄生虫症の病態発生と診断、治療法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬と猫の住血寄生虫を原因とする疾患を対象に、宿主-寄生体関係を主とした病態発生、診断、治療について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論（Ⅱa）
配置大学	岐阜大学
担当教員名	山添 和明
e-mail	yamazoe@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物外科学
科目名	創傷治癒と湿潤療法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	現在、人医療では消毒薬とガーゼによる治療法から湿潤環境を維持する治療法へと変化しつつある。本授業では創傷治癒の基本原則を理解し、獣医療でも導入されつつある湿潤療法を症例を交えて紹介し、その適用について考えたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	前田 貞俊
e-mail	sadat@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床免疫学
科目名	動物の免疫介在性疾患における分子病態の解明
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	イヌおよびネコのアレルギー性疾患の臨床的特徴について概説した後、今日における診断および治療に関する問題点を明らかにする。さらに、アレルギー学および免疫生物学に関する論文の critical reading を通して比較免疫学の概念に関する理解を深め、獣医アレルギー学研究者が進むべき方向について議論していく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	椎名 貴彦
e-mail	tshiina@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経生理学
科目名	消化管の病態生理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食道や胃、小腸、大腸の運動は、脳・脊髄に由来する外来神経系と、消化管内部に存在する内在神経系によって制御されている。神経系による消化管運動の調節機構には、アセチルコリンや一酸化窒素をはじめ、様々な神経伝達物質が関与している。神経伝達物質の作用が十分に発揮されない、あるいは過剰に反応してしまうことにより、下痢や便秘などの、消化器異常が引き起こされると考えられている。本セミナーでは、学術論文を教材として、消化管ごとの神経支配の違いや、神経の分布様式、消化管運動の制御メカニズムなどを理解するとともに、それらと消
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	酒井 洋樹
e-mail	shiroki@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	腫瘍病理学
科目名	比較腫瘍病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	医学および獣医学の最新論文を精読することによって、人間、犬および猫の腫瘍性疾患について比較検討し、比較腫瘍学の中での獣医腫瘍病理学の有用性を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大屋 賢司
e-mail	kohya@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	分子感染症学
科目名	細胞内寄生病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	病原微生物（特に細胞内寄生細菌）と宿主の相互作用から感染成立・発症に至るまでの過程を、細胞微生物学的側面から理解し、自身の研究活動に生かすことを目的とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	伊藤 直人
e-mail	naotoito@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	人獣共通感染症学
科目名	ウイルス性人獣共通病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	多くのウイルスは特定の宿主動物と共に進化し、長い時間をかけて共生関係を築いている。しかし、共存関係にない動物に感染すると、強い病原性を示す場合が少なくない。それは一体なぜだろうか？本講義では、分子レベルならびに進化というマクロな視点からウイルス-宿主（細胞）の相互作用について解説する。さらに、これらの相互作用の理解を通じて、人獣共通感染症の制御について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	浅野 玄
e-mail	asanojr@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	野生動物保護管理学
科目名	侵略的外来哺乳類の管理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	わが国における生物多様性の劣化の一因として外来種による固有生態系への侵略があげられている。セミナーでは移入哺乳類の個体群管理法の実例を学び、個体群動態学的指標としてもっとも重要な年齢査定法について実験も行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	猪島 康雄
e-mail	inoshima@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	感染症診断学
科目名	ウイルス感染症の診断と対策
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	産業動物や野生動物のウイルス感染症発生例をもとに現在の診断法とその問題点などについて学ぶ。飼養・出荷形態や流通経路、生息環境や行動特性などの理解した上で、感染症制御のための現実的な対策について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大場 恵典
e-mail	ohba@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	産業動物臨床学
科目名	動物の遺伝性疾患の解析
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の遺伝性疾患について概説する。とくに原因遺伝子の同定方法および遺伝子診断法の確立について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	高島 康弘
e-mail	atakashi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感染症、およびそれに関連する領域（アレルギー、疫学、基礎免疫学）の論文のうち世界的に高い評価を受けたものを読み討議することで寄生者と宿主の関係を理解する。また討議の過程で戦略的な研究の進め方について理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	渡邊 一弘
e-mail	nabechan@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物外科学
科目名	小動物歯科口腔外科
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物の歯科・口腔外科を概説します。さらに、人の歯科治療法と比較することによって小動物における最良の歯科治療法を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	森 崇
e-mail	tmori@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床腫瘍学
科目名	獣医臨床腫瘍学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	腫瘍性疾患は、小動物に限らず人においてもいまだ様々な問題が山積している。どのような点が問題となっているか実際の臨床現場に触れていただいた上で、問題解決はどこまで進んでいるのか、またどのようなアプローチで研究が進められているのかについて理解することを目的としている。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	村瀬 哲磨
e-mail	muraset@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床繁殖学
科目名	哺乳動物精子の受精能力発現
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜を含む哺乳動物の受精において精子は鞭毛の超活性化運動、受精能獲得および先体反応（膜融合）を起こす。これらの現象が起きなければ受精できないことから、反応を調節する機構は不妊症の原因解明あるいは避妊のターゲットとなる。これらの分子機構に関する論文を読み本セミナーでは考察をしたいと思う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	齋藤 正一郎
e-mail	shouichi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経組織学
科目名	形態学における分子生物学的手法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	近年、科学技術の進歩により、組織切片上におけるタンパク質の検出限界は向上し、また易分解性である mRNA も検出できるようになった。しかしながら、その研究手技の原理、および一般的に”そうしなさい”とされている手技の理由を熟知しなければ、個々人の研究分野に適した独自の手技を確立することは難しい。本授業では、形態学的研究に利用されている分子生物学的手法 (in situ hybridization および免疫組織化学) についての原理と応用について討論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	高須 正規
e-mail	takasu@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床繁殖学
科目名	絶滅危惧種の保全戦略
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	種の保全を目的とした繁殖技術に関して概説し、この技術を用いた保全戦略を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	神志那 弘明
e-mail	kamicna@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医臨床神経病学
科目名	小動物の神経病学と画像診断学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物に認められる神経疾患の概要とそれらの画像診断技術について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	松山 勇人
e-mail	mhayato@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	内因性物質薬理学
科目名	平滑筋の受容体およびイオンチャネルの役割
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	平滑筋の受容体やイオンチャネルについて理解を深めるとともに、病態における役割について考察する。授業では各自が国際雑誌に投稿されている最近の科学論文を詳解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	西飯 直仁
e-mail	nishii@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物内科学
科目名	小動物の内分泌代謝性疾患の病態生理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物の内分泌代謝性疾患について、病態生理、診断および治療法について解説する。また獣医内分泌学における問題点を見出し、その解決策について議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	浅井 鉄夫
e-mail	tasai@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	動物感染症制御学
科目名	感染症における抗菌剤治療および耐性菌
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感染症の原因菌における耐性獲得は重要な問題でとなっている。動物医療における薬剤耐性菌の出現防止に、獣医師は責任を持って取り組まなければならない。耐性菌に関する科学的知見に基づいて、抗菌剤の選択や使用方法について考えていく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	柴田 早苗
e-mail	shiba211@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医麻酔学
科目名	獣医麻酔学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物病院での診療などを通して、動物実験の際に必要な麻酔科学の知識を得る。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大西 真
e-mail	ohnishi7@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興感染症学
科目名	獣医微生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症、特に新興・再興細菌感染症に焦点をあてて、病原体の特徴に関して概説し、病原体の特性に応じて開発された分子診断法、分子疫学解析法について説明する。また、比較ゲノム解析学的視点により病原細菌の進化過程とその多様性形成機構について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	森川 茂
e-mail	morikawa@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱の疫学、診断、予防
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	平成 19 年 6 月に改正、施行された感染症法により、1 類感染症に分類されるウイルス性出血熱や 2 類感染症に分類される SARS 等の重篤な人獣共通感染症の原因ウイルスの保有、実験に関しても法的に規制されることになった。国内では 1 類感染症で輸入症例が確認されているのはラッサ熱 1 例のみだが、欧州では輸入症例が多発している。これらの重篤な人獣共通感染症についての疫学・診断及び予防を理解することを目標として授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIa)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	川端 寛樹
e-mail	kbata@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興感染症学
科目名	ベクター媒介性の新興細菌感染症の現状、発症機序
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	節足動物媒介性の新興感染症の現状、発症機序を理解し、その制御方法を探る事を目的とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIa)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	井上 智
e-mail	sinoue@nih.go.jp
教育研究指導分野	再興感染症学
科目名	動物由来感染症の発生機序とその予防方法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	新興再興感染症における動物由来感染症の発生機序と発生予防の方法について公衆衛生の視点から獣医領域からのアプローチとその役割について考えてみたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱa）
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	西條 政幸
e-mail	msaijo@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱および新興ウイルス感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス性出血熱含む新興ウイルス感染症の疫学，病態，診断，予防・治療に関する理解を深めるとともに，その対策について考察するための授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱa）
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	福士 秀悦
e-mail	fukushi@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	エボラ出血熱、ラッサ熱など、公衆衛生上の脅威となりうるウイルス性出血熱の発生状況を知り、診断法と発生予防対策について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱa）
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	北嶋 聡
e-mail	satoshi@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品衛生学
科目名	食品、その成分および混入化学物質による毒性
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	<p>食品の安全を確保するための対策がこれまで以上に必要とされてきています。ここでは、食品に由来する様々な化学物質（食品成分および食品添加物、残留農薬、環境汚染物質、マイコトキシンなどの混入化学物質）により誘発される毒性を、より高精度に把握する方策を探ることを目標として授業を行います。</p>
教育内容	<p>食品由来の様々な化学物質に関する実験動物を用いた毒性把握の現状、問題点と対策につきレポートを提出してもらい、この内容についてメールにて質問と意見交換ならびに全受講生によるディスカッションを行います。</p>
評価方法	<p>最終レポートをまとめてもらい、これにより成績評価をおこないます。</p>
備考	<p>指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。</p>

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱa）
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	大西 貴弘
e-mail	ohnisi@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品微生物学
科目名	自然免疫と生体防御機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体防御機構における自然免疫の重要性を概説し、病原微生物由来の分子パターンがどのような機構によって認識されるのかを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIa)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	朝倉 宏
e-mail	hasakura@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品微生物学
科目名	食品有害細菌の分子疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品を介して感染する細菌性疾病の種類や特徴に関して概説し、病原細菌の特性に応じて開発された分子疫学手法および分子診断法（分子遺伝学的・免疫学的診断法等）について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱa）
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	佐々木 貴正
e-mail	ysasaki@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食肉衛生学
科目名	食肉における病原細菌の制御
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食肉を汚染する病原細菌の種類、家畜の飼育管理状況及び食肉処理工程を概説し、食肉加工における病原細菌の制御法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	西藤 岳彦
e-mail	taksaito@affrc.go.jp
教育研究指導分野	獣医微生物学
科目名	ウイルス性人獣共通感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症のうち、ウイルスに起因するものに焦点を合わせて、自然界での存在様式、伝播機序、人および動物宿主における病原性などに関する理解を深めることを目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	高松 大輔
e-mail	p1013dt@affrc.go.jp
教育研究指導分野	獣医微生物学
科目名	グラム陽性球菌による細菌感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	グラム陽性球菌による感染症、特に豚レンサ球菌症やミツバチの腐蛆病について、発生状況や発病機序を概説し、病原体の特性や進化についても説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	真瀬 昌司
e-mail	masema@affrc.go.jp
教育研究指導分野	家畜衛生学
科目名	鳥ウイルス性疾病の疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	鳥インフルエンザを含むウイルスに起因する鳥類の疾病の種類や特徴に関して概説し、原因となるウイルスの病原性および疫学について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	菅野 徹
e-mail	kannot@affrc.go.jp
教育研究指導分野	国際重要伝染病学
科目名	酪農環境下におけるウイルス性疾病
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	大規模酪農環境下において問題となるウイルス性疾病の現状や、それら疾病の防疫を目的としたウイルスの生態及び動態の解析や予防診断技術の開発など起因病原体側からの研究アプローチを紹介することにより臨床ウイルス学の理解を深めることを目標とした授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	筒井 俊之
e-mail	tsutsui@affrc.go.jp
教育研究指導分野	動物感染症疫学
科目名	家畜感染症の流行疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物感染症の流行要因の解析に応用する疫学手法について実例を用いながら概説し、より詳細な分析を行うための統計学的手法について説明する。さらに、動物感染症の流行動態の解析や対策の評価に用いるシミュレーションモデル、発生予防措置を検討するために用いるリスクアセスメントについて説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	佐藤 文夫
e-mail	Fumio_Sato@jra.go.jp
教育研究指導分野	馬生産育成学
科目名	馬の生産および疾病管理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	軽種馬の生産および育成技術の向上を目指して、誕生から競走馬になるまでの 育成期全般における飼養管理方法の改善、新生子学、若馬特有の内科および 外科疾患の診断・治療・予防方法の解明、新たな調教・馴致法の導入に関する 体系的な調査研究の紹介。そこでは、軽種馬の X 線や内視鏡、エコーを用いた 画像診断法や一次診療などの臨床獣医学的なことから、内分泌学、生理学や 行動学的手法を用いた調査研究まで馬に関することを学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	桑野 睦敏
e-mail	hoofvet@center.equinst.go.jp
教育研究指導分野	馬蹄病学
科目名	馬の蹄病理学および臨床医学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	スライド写真やビデオ画像などを使い、ウマの特殊な肢端構造である蹄の解剖学および各種蹄病について、解剖学的、病理学的、生化学的および病原微生物学的知見を教育。また、日本の装蹄技術についても紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論（Ⅱa）
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	大村 一
e-mail	hajime@equinst.go.jp
教育研究指導分野	馬生理学
科目名	馬運動生理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	運動中の呼吸循環応答を概説し、馬の生理学的特徴について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	末水 洋志
e-mail	suemizu@ciea.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	遺伝子改変動物作製の実際とヒト化動物
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	免疫不全マウスにヒト細胞・組織を生着させたヒト化マウスに関して概説し、様々な疾患・病態、あるいは正常生体機能を反映したモデル（免疫・感染症、薬物代謝）について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	橋本 晴夫
e-mail	hashimot@cica.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	実験動物の開発・育成の基礎とモデル動物
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	実験動物の歴史、飼育技術、遺伝子改変技術について概説し、糖尿病を例に糖尿病モデル動物の変遷と現在の 2 型糖尿病モデルマウスについて説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱa)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	林元 展人
e-mail	nobuh@ciea.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	実験動物の品質管理、感染症とそのモデル
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	本科目ではマウス、ラットの感染症を概説するとともに、具体的な微生物学的品質管理（衛生管理、検査手法）について説明する。また、昨今使用されるマウス、ラットを用いた感染症モデルについて説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	北村 延夫
e-mail	kitamura@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	比較組織学
科目名	消化管の構造と制御組織
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	消化管の構造的特徴を食性と関連付けて理解し、それらの機能を調節する自律制御機構の組織学的成り立ちを理解する。消化管内分泌細胞および消化管神経の特徴について形態や含有する化学信号物質等に基づいて詳解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	鈴木 宏志
e-mail	hisuzuki@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	ゲノム機能学
科目名	発生・生殖工学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	発生工学の魅力は、興味ある遺伝子の機能を個体レベルで解析可能にすることにある。培養細胞を用いて血圧の制御にかかわる遺伝子の機能を観察することは困難だが、発生工学は生体の高次機構のなかで遺伝子機能を直接的に解析可能な検定系を提供できる。本授業では、発生工学とそれを支える生殖工学への理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	河津 信一郎
e-mail	skawazu@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	原虫病予防治療学
科目名	分子寄生虫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	「ポストゲノム」の原虫病研究では、遺伝子改変（トランスジェニック）技術を応用して、原虫ゲノムのリソースから真に有用な遺伝子を選別する研究手法が重要になると考える。このセミナーでは、トランスジェニック原虫の作製方法と、そのゲノム機能解析研究への応用法を理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	石井 利明
e-mail	ishii@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	神経薬理学
科目名	離乳と脳高次機能
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	離乳期に顕彰する自給本能発現における脳神経機構を解説し、動物行動を調節する脳高次機能の適応や発達の理解を深める。特に、離乳時の「固執」の変化は、動物行動と脳神経活動の因果関係や脳高次機能と心理学的発達の接点を理解する上で最適な題材となる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	古岡 秀文
e-mail	furuoka@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	病態病理学
科目名	感染病理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	BSE やスクレイピーを含むプリオン病、ヘルペスウイルスをはじめとする神経系ウイルス感染症や Lawsonia をはじめとする消化管細菌感染症にみられる病態の特徴と病理学的診断法、ならびにこれら感染症にみられる宿主免疫について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	倉園 久生
e-mail	hkurazon@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	蛋白毒素科学
科目名	細菌感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ある種の病原細菌は、蛋白毒素を産生して種々の病態を惹起する。現在までに病原細菌の産生する蛋白毒素が数多く報告され、あるものについてはその詳細な作用機作が分かっている。本授業では、細菌感染症を引き起こす病原細菌の産生する蛋白毒素の作用機作について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	猪熊 壽
e-mail	inokuma@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物内科学
科目名	大動物感染症の診断、治療および予防
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	大動物内科学において問題となる牛白血病などの難診断疾患、およびリケッチア、原虫などの人獣共通新興感染症を含む大動物の感染症について、その診断、治療および予防に関するアプローチの方法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	宮原 和郎
e-mail	miyahara@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	臨床病理学
科目名	臨床病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	画像診断法 (X線透視診断、X線撮影診断、超音波診断など) を主体とした臨床病理学的診断方法による、産業動物、特に乳牛における消化器疾患、循環器疾患および運動器疾患の病態について、実際の臨床例を題材としてその診断過程を基に理解させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	佐々木 基樹
e-mail	sasakim@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	比較組織学
科目名	分化、発達にともなう生殖器の機能形態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	胎子期から成熟個体までの脊椎動物の生殖器の分化、発達にともなう形態学的変化と、それにとともなう生理学的機能の変化を把握することによってその相互関係を理解する。さらに、視床下部、下垂体の生殖器に対する調節機構や母体と胎子間の相互作用の理解も視野に入れる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	五十嵐 慎
e-mail	makoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	耐病性遺伝子工学
科目名	原虫の宿主感染機構と免疫応答
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	トキソプラズマ原虫に対するワクチン開発、およびシスト形成の分子機構の解明を主テーマとする。細胞内寄生原虫感染における基礎的な免疫機構および一般的な分子生物学の知識を身につける。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	横山 直明
e-mail	yokoyama@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	原虫病高度診断学
科目名	赤血球内寄生性原虫病学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	赤血球内に寄生する病原性原虫（バベシア原虫やタイレリア原虫）に対して、現在までに有効な予防法は確立されていない。確立の糸口として"どのようなタイプの原虫が、どのように増殖し、どのようにして宿主に病気を引き起こすのかを正しく理解することが重要となる。この科目では、赤血球内寄生性原虫による最新の関連知見を紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	小川 晴子
e-mail	hogawa@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	家禽疫病学
科目名	家禽のウイルス感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	鳥インフルエンザやニューカッスル病等の家禽に重篤な疾病を引き起こすウイルスについて概説し、自然界におけるそれらウイルスの進化と引き起こされる疾病の制御法について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	古林 与志安
e-mail	kyoshi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	運動器病理学
科目名	ウイルス関連腫瘍の病態と診断
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス関連腫瘍について病態を概説するとともに、それら疾患に対する診断法を含めた最新知見について、より深い知識が拡充できるように講義する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	松井 基純
e-mail	mmatsui@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	繁殖障害診断治療学
科目名	牛および馬における繁殖障害の病態生理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜の生産性に大きな影響を与える牛および馬の繁殖機能障害について、病態生理とその対策を学ぶ。特に、繁殖生理の要である内分泌学的視点に加え、近年、重要視されている栄養や快適性などの飼養環境要因についても、最新の研究成果を学び、課題を掘り起こす。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	福本 晋也
e-mail	fukumoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	ベクター生物学
科目名	寄生虫生態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	節足動物によって媒介されるフィラリアやマラリア等の寄生虫感染症を対象として、ベクターと宿主の体内における寄生体の複雑かつ巧妙なライフサイクルを分子遺伝学的観点から概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	大石 明広
e-mail	aoishi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物外科学
科目名	イヌの腎性貧血の病態生理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	このセミナーでは、エリスロポエチン産生性の問題、赤血球寿命の問題、および出血・失血の問題について行われてきている研究について学び、腎性貧血病態への理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	松本 高太郎
e-mail	kmatsumoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物内科学
科目名	マダニ媒介性疾患へのアプローチ
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症であるリケッチア症やエーリキア症、原虫性疾患などのマダニ媒介性疾患について、その診断および治療、周辺環境の調査法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	加藤 健太郎
e-mail	kkato@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	地球規模感染症学
科目名	分子感染症学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症を含めた原虫、ウイルス感染症において、原因となる病原体が如何にして宿主細胞に侵入・感染し、どの様にして宿主細胞内で増殖するのかという命題について、その分子機構を概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	南保 泰雄
e-mail	ynambo@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	馬繁殖学
科目名	馬の生殖内分泌
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	写真やビデオ画像などを使用し、馬の生産現場で行われている臨床繁殖診療について、種々の発情検査、交配適期の選択、妊娠鑑定、分娩管理法、分娩後初回発情などの一般診療から、カラードプラ超音波診断による画像診断、ホルモン測定による生殖内分泌検査方法などの研究まで、授業を行う。また、日本のサラブレッド生産育成について紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	石川 透
e-mail	torui@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	免疫生理学
科目名	上皮膜輸送
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	上皮細胞は体液コンパートメント間の水や電解質の交換に重要な役割を果たしている。このような分子の上皮膜輸送は多種多様なイオン輸送タンパク機能とその統合により可能となる。この科目では上皮細胞に機能発現するイオンチャンネル、トランスポーター、ポンプの構造機能連関および細胞内調節機構について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	室井 喜景
e-mail	muroi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	行動神経科学
科目名	本能行動を制御する神経機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の本能は様々な行動を通して表現される。例を挙げながら中枢神経系による本能行動の制御機構を概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	山岸 則夫
e-mail	yamagishi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	牛病学
科目名	牛疾患の病態と診断・治療法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	牛の代謝性疾患や各種外科疾患に関して、最新研究報告を交えて説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山本 欣郎
e-mail	yyoshio@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞システム学
科目名	感覚神経の信号伝達
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感覚神経の信号伝達経路について概説し、嗅覚、味覚、聴覚、固有感覚の特徴について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	板垣 匡
e-mail	itagaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	寄生虫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	寄生虫には多様な種があるが、それらは生命の誕生から繰り広げられてきた寄生虫と宿主の相互関係や相克の結果として進化し形成された。寄生虫種が持つ形態や生態、宿主特異性などの生物学的特徴と進化の関連を考察し、寄生虫生物学を理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	宇塚 雄次
e-mail	ujiiwa@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物臨床外科学
科目名	小動物臨床放射線学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	日々進化する伴侶動物医療において、外科的な診断・処置法について、とくに麻酔や断層撮影に関する造詣を深める。具体的には、各種麻酔薬の生体に対するさまざまな影響や、外科的疾患、とくに神経学的疾患に対する断層撮影の活用法についての授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 繁
e-mail	sshigeru@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	代謝病学
科目名	獣医内科学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	乳牛の周産期疾病、特に分娩前後にみられる乳熱などの低カルシウム (Ca) 血症関連疾病およびケトosisや脂肪肝などの負のエネルギーバランス (NEB) 関連疾病の発生要因、病態および防除について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 れえ子
e-mail	reekos@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物病態内科学
科目名	鉄結合蛋白ラクトフェリンの免疫調節作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	免疫不全症に伴う慢性炎症のメカニズムについて、生体内における好中球機能ならびにリンパ球機能変動の観点から免疫学的に学ぶとともに、実際の臨床例における分析結果についても考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	中牟田 信明
e-mail	nakamuta@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経解剖学
科目名	脊椎動物嗅覚系の形態学的側面
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	様々な動物における嗅覚器と嗅球の形態等について、最新の論文を紹介しながら解説し、鋤鼻系を含む嗅覚系の理解と新しい研究課題の発掘を目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	木崎 景一郎
e-mail	kizaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞生理学
科目名	着床, 胎盤形成および血管新生の生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	着床および胎盤形成について概説し、これらの現象の成立に必須な子宮内膜細胞と栄養膜細胞の相互作用、分化機構、及び血管新生について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山田 美鈴
e-mail	ymisuzu@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞システム学
科目名	生体内ホメオスタシス維持機構論
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生物は外的環境を感知し、その変化に柔軟に対応するホメオスタシス機構を備えている。本科目では、各自でホメオスタシス維持機構に関するテーマを設定し、研究の背景・実験方等を発表やレポートとしてまとめ、議論することで理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 至
e-mail	satoital@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	環境衛生学
科目名	放射線の研究利用と防護
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	研究推進のための有力なツールである放射線・放射性同位元素の様々な利用方法について解説するとともに、その管理の特殊性や防護理論を教授することにより、放射線・放射性同位元素の安全かつ有効な研究利用について習得させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	岡田 啓司
e-mail	keiji@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	生産獣医療学
科目名	生産獣医療学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	牛の生産獣医療学は、食の安全、動物福祉、畜産と環境を含む分野である。私たちの牛群管理は、反芻獣栄養学と護蹄管理を中基礎としている。それらをもとに、動物福祉を配慮した生産性向上の方策を探る。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	古市 達哉
e-mail	furuichi@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	モデル動物学
科目名	モデル動物を用いた疾患の病態解析
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	疾患モデル動物の作製方法、および疾患モデル動物を用いた病態解析法について解説する。基礎研究および創薬研究におけるモデル動物の重要性を解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	村上 賢二
e-mail	muraken@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	病原微生物学
科目名	獣医微生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物感染症の制御のために、病原体の病原性のメカニズムについて、さらに感染症の予防、診断、治療法を学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	片山 泰章
e-mail	masaaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	機能再建外科学
科目名	小動物臓器移植学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	猫の末期腎不全に対する根治的治療法である腎移植についての最新情報を移植免疫、免疫抑制法、手術技術および臓器保存の点から解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	高橋 透
e-mail	tatoru@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	繁殖機能制御学
科目名	獣医臨床繁殖学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	臨床繁殖学における診断・治療に関して、これを生理学および管理学的な視点から概説した上で、多様な繁殖障害に対する診断法や、生殖機能の人為的制御に基づく繁殖管理技術について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	落合 謙爾
e-mail	kochiai@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	組織病理学
科目名	獣医病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物のさまざまな疾患の病態解析
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山崎 真大
e-mail	masayama@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物病態内科学
科目名	応用獣医血液学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬・猫の持つ、細胞内が低カリウム濃度となっている赤血球についてその生化学的特徴を解説し、それらを応用した研究について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	高橋 正弘
e-mail	takamasa@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	大動物診断治療学
科目名	牛の胚移植の応用について
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	最近、海外でも和牛が注目されていますが、胚移植を活用した和牛の生産は農家の経営に役立つ技術であります。そこで、脂肪酸分析と胚品質の関係、リピートブリーダーへの活用など牛胚移植の新しい繁殖技術に関して説明します。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 洋
e-mail	satohsss@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	毒性薬理学
科目名	抗がん剤の薬理学的・毒性学的特性
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	抗がん剤の薬効機序とそれに起因した毒性作用に関して概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	彦野 弘一
e-mail	hhikono@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医免疫学
科目名	感染症の免疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	この科目は博士課程の学生に、感染とワクチネーションに対する免疫応答についての広い理解と、それを動物における感染症の研究、制圧、予防へ応用する能力を与える。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	大沼 俊名
e-mail	oonumat@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞生理学
科目名	血管新生制御の分子機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	腫瘍の進展や炎症時におこる血管新生について概説し、その具体的な解析方法について、各種の遺伝子組換え動物を使用したアプローチを中心に詳細な説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	福井 大祐
e-mail	dfukui@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	動物園動物・野生動物医学
科目名	保全医学概論
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人と動物の健康、そして地球上に存在するすべての生命体の基盤となる生態系の健全性は、互いにつながりを有しており、それらを維持・回復するには、「生物多様性保全」および「人と動物の共存」が重要な課題となる。この One Health を実現するための保全医学のアプローチについて、その概要を身近な野生動物問題を例示して解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	一條 俊浩
e-mail	ichijo@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	生産獣医療学
科目名	産業動物における臨床診断、治療および予後の関する診断法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生産獣医療の種類と特徴について概説するとともに、産業動物における臨床診断を中心に、効果的な治療および予後診断にいたるまでのプロセスを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	寺嶋 淳
e-mail	
教育研究指導分野	衛生微生物学
科目名	食品媒介細菌感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品を介する細菌感染症について、起因菌の細菌学的性状及び病原性発現機序とともに分子遺伝学的手法に基づく診断法などを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	星野 有希
e-mail	yhoshino@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	軟部組織外科学
科目名	伴侶動物の腫瘍性疾患に対する新規治療法の開発
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	伴侶動物の腫瘍性疾患について概説し、その病態発生から適応される新規治療法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	渡辺 元
e-mail	gen@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	生殖生理学
科目名	生殖の比較生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	卵や精子形成の調節における性腺と生殖中枢の関係について解説する。また、実験動物、家畜、家禽、野生動物など種々の動物の研究例を紹介しながら、生殖機能の内分泌学的調節メカニズムについて解説し、生理学的解析の進め方についても理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	白井 淳資
e-mail	jshirai@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医伝染病学
科目名	獣医伝染病学特論
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	学部の伝染病学の講義で行う内容をより詳しく、また学術的観点から深探求し、重要な家畜感染症を解説して行く。また人類にとって驚異となる感染症(人獣共通感染症を含む)について概要、疫学、病因および日本人が感染する可能性などについて解説し、それぞれの疾病に対しこれからどう取り組むかについてディスカッションを行う。今まで海外で行った感染症に関する研究を海外の研究施設も含め紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	藤川 浩
e-mail	fujik@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	食品安全管理学
科目名	食品の微生物学的安全性確保
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	有害微生物による食品の安全性を予防するため、微生物管理、すなわち微生物の汚染防止、殺菌、増殖抑制が非常に重要である。本講義では食品の微生物管理における基礎および応用についての理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	町田 登
e-mail	machida@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	腫瘍臨床病理学
科目名	小動物の腫瘍性疾患の細胞診断学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬および猫に発生する各種腫瘍性疾患の細胞診断について方法論と判読法を習得することを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	柴田 秀史
e-mail	shibata@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	比較解剖学
科目名	大脳辺縁系の神経解剖学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	中枢神経の構造の概略を説明した後、動物が生きていく上で必須の機能である記憶や学習といった高次神経機能の基盤となる Papez 回路を中心とした大脳辺縁系の神経解剖学を解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	佐々木 一昭
e-mail	skazuaki@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	臨床薬理学
科目名	薬物動態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	薬物動態学の基礎となる理論と薬物分析に関する方法論を講義する。薬物の吸収、分布、代謝、排泄という薬物動態学の基礎を学び、臨床への応用を考える。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	渋谷 淳
e-mail	mshibuta@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	毒性病理学
科目名	発達期神経毒性学、発がん
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	化学物質による発癌メカニズムの探究や神経発達に対する影響とその分子標的の解明などに関して、形態学に根ざした分子解析アプローチの可能性、アプリケーションの限界、得られた結果の解釈や応用性等について学び、個々の実験解析に活かせるようにする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	谷口 隆秀
e-mail	taniguti@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	感染防御学
科目名	ウイルス感染症における免疫反応と病態形成機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス感染症では、宿主側の様々な要因によって多様な病態が形成される。感染によって引き起こされる免疫応答が必ずしも宿主に有利に働くとは限らない。本講義では宿主の生体防御機構とウイルス感染症における病態形成の関係について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	佐藤 俊幸
e-mail	tsatoh@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	行動生物学
科目名	動物の行動形質の進化的理解：血縁選択と性選択
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	獣医学分野ではあまりとりあげられない、行動の適応的意義を、進化的観点から解説する。とくに血縁者どうしの協力的行動の進化 (血縁選択)、メスの選り好みによるオスの一見非適応的な形質の進化 (性選択) など、包括適応度の概念を導入しないと理解できない現象の解説を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	林谷 秀樹
e-mail	eisei@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医疫学
科目名	疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	疫学、特に感染症の疫学および臨床疫学に焦点を当て、その理論と応用について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	西藤 公司
e-mail	kojimail@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医皮膚科学
科目名	皮膚バリア機構の破綻による哺乳動物の皮膚疾患
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	皮膚バリア機構の破綻が関与すると考えられている哺乳動物の皮膚疾患(天疱瘡、膿痂疹、アトピー性皮膚炎など)を題材とし、バリア機構の破綻に関連する分子機構と病態との関連について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	田中 綾
e-mail	ryoryo@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	獣医循環器病学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	各種心機能検査による心疾患の病態評価と各病態に対する治療戦略について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	田中 知己
e-mail	tomomit@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜不妊症防除学
科目名	繁殖機能の中枢制御機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	反芻家畜の繁殖を調節している中枢機構に関して最近の知見を紹介し、家畜の繁殖が促進または障害される際のメカニズムを考えていく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	竹原 一明
e-mail	takehara@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医衛生学
科目名	感染症制御法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス性・細菌性感染症の病原体の自然界での生態について概説し、どのようにそれら病原体の侵入を制御したり、殺滅させたりできるかについて、戦略を説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	清水 美希
e-mail	mshimizu@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	酸化ストレスと疾患
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体内の酸化還元状態や生体内メチル化反応の変化を調べることにより、各種疾患の病態発現機序を解明する。特に、加齢性変化といわれている脳疾患や心血管疾患について検討する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	岸本 海織
e-mail	miori@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	放射線診断学および放射線防護
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	獣医学領域における放射線診断学の歴史と先端技術について説明する。また、放射線の安全な取扱いに必須となる放射線防護について、各自が現場で適切な防護方法を考え出せるレベルの知識の習得を目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	鈴木 和彦
e-mail	kzsuzuki@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	毒性病理学
科目名	線維化とがんの発症機序
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	化学物質による組織傷害によって惹起される線維化およびがんの発症機序への関与が示唆されている因子群についての多角的な解析およびそれらの結果に基づいた考察の仕方について学び、個々の実験へ活用できることを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	福島 隆治
e-mail	ryu-ji@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	小動物診断治療学
科目名	犬猫における超音波診断学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	従来からの犬猫の超音波診断法に加え、新規の適応と技術について学ぶ。 また、その習得することを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱb）
配置大学	東京農工大学
担当教員名	水谷 哲也
e-mail	tmizutan@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜感染症学
科目名	ウイルスの網羅的解析
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	既知のウイルスについてはすでに検査方法が確立しているが、未知のウイルスの核酸配列については全く情報がないので検出することが難しい。家畜感染症の分野において、最新の核酸を増幅する技術を駆使した、ウイルスの迅速・網羅的な検出方法を理解することを目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	石原 加奈子
e-mail	kanako-i@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	食品安全管理学
科目名	分子疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品媒介性感染症やその他の感染症における分子疫学及び疫学解析の手法やその応用を学び、感染症の制御についてディスカッションを行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	古谷 哲也
e-mail	furuyat@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	病原感染因子学
科目名	感染因子と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルスや原虫の動物やヒトへの感染においては、宿主細胞への侵入や細胞内感染の維持のため、寄生体と宿主の相互作用が必須であるが、この相互作用を研究することによって、疾病の治療や感染の予防に応用することができる。本講義では、この宿主・寄生体相互作用についての最新の知見を紹介し、学生の研究の発展にどのように生かしていくことができるかをディスカッションする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	大松 勉
e-mail	tomatsu@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜感染症学
科目名	獣医経済学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜感染症の発生は甚大な損失を社会全体にもたらすことから、感染症防疫にかかわる人材も経済学的視点を身に付けることが重要である。本講義ではその基礎となる経済学について理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	井手 香織
e-mail	k-ide@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医皮膚科学
科目名	上皮向性リンパ腫-ヒトと犬での比較-
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	主に皮膚や粘膜に病巣をつくり、治療が困難である上皮向性リンパ腫について、小動物のみならずヒトも含めた特徴・病態を説明し、動物種間における類似点や異なる点を比較検討する。そして最新の病態解析研究をもとに、犬の上皮向性リンパ腫について今後どのようなアプローチで研究を進めていけるのかをディスカッションする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	吉田 敏則
e-mail	yoshida7@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験病理学
科目名	分子器官病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	慢性疾患の分子病理学的特徴ならびに発生機序について学び、動物の疾病とヒトの疾病との共通性、病理発生における外因（感染症や化学物質暴露など）と内因（遺伝子変異や代謝異常など）との相互作用、疾患モデル動物を用いた治療標的分子の探索などにも目を向け、動物からヒトへより幅の広い角度から病気の成り立ちについて理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	打出 毅
e-mail	uchide@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	分子診断治療学
科目名	獣医内科学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人と伴侶動物で共通して認められる疾患について、分子的類似性を基盤とした新しい診断法、治療法について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	永岡 謙太郎
e-mail	nagaokak@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	分子生理学
科目名	アミノ酸代謝と生体機能
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体におけるアミノ酸の有用性や代謝経路について概説し、様々ま表現系を有するアミノ酸代謝酵素欠損マウスについて研究概要を説明するとともに、用いられている実験技術について理解させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	小山 哲史
e-mail	skoyama@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	行動生物学
科目名	行動生態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の一般的な行動原理を概説し、それぞれの動物およびその動物の行動の特性に応じた適応度上のコストと利益について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	阿閉 泰郎
e-mail	atozi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	脳形態学
科目名	哺乳類および鳥類の比較神経解剖学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	次の項目について講義および討論を行う。 1. 神経解剖学の研究方法 2. 神経組織の基本知識 3. 感覚系（嗅覚、視覚、聴覚、体性感覚）の哺乳類と鳥類との相違 4. 辺縁系の哺乳類と鳥類での違い 5. 高次機構の違い
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	志水 泰武
e-mail	yshimizu@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経生理学
科目名	恒常性を維持するための神経内分泌系
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	提示し課題に対して提出されたレポートを題材とし、討論しながら、データの取り扱い方を教授する。また論文を作成する過程で必要となる考察力の育成を目指す。
教育内容	e-learning システムを使って、提示された実験データをどのように活用して結論を導くべきか討論する。また、仮説を立て、その仮説を立証するためにどのような実験を組むべきか思考する。知識の提供ではなく、思考力の育成を目指す。
評価方法	受講状況と課題ごとに提出されるレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-learning システムで授業を実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	海野 年弘
e-mail	tunno@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	内因性物質薬理学
科目名	細胞膜の受容体とイオンチャネルの異常に基づく疾患
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	細胞膜の受容体やイオンチャネルの異常に基づく疾患について、その疾患の病態発現機構を分子レベルで概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 E-learning システムで授業を実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	柳井 徳磨
e-mail	yanai@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	比較病理学
科目名	野生および動物園動物病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	<p>講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。また、得られた成果をアジアにおける保全医学関連の国際学会で発表し、他の研究者と情報を共有し、国際的な学会活動に対する発表および討議能力を身につける。</p>
教育内容	<p>保全医学の一環として、環境、野生動物および人類の健康状態の病理学的側面を研究し、環境の異常に対して警鐘を鳴らす。環境の変化を知るための基礎的な研究、具体的には、野生動物の中毒、感染症および大量死などの現象を解明、さらに野生動物と人の間の共通感染症の病理発生を研究する。</p>
評価方法	<p>受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。</p>
備考	<p>指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。</p>

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	福士 秀人
e-mail	hfukushi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	分子感染症学
科目名	ウイルス病原性発現機構の分子生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルスの病原性発現機構の解明は感染症制御の基礎である。この授業ではウイルスゲノムを標的として病原性発現機構を解明する手法について原理および応用に関して学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	杉山 誠
e-mail	sugiyama@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	人獣共通感染症学
科目名	ウイルス性人獣共通感染症と社会
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	研究者は社会的位置付けを一層意識する必要がある、社会（一般の人）とのコミュニケーション能力がますます重要になる。この授業では、ウイルス性人獣共通感染症をテーマに、一般の人に科学的な情報をどのように伝達したら良いかについて考えたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	鈴木 正嗣
e-mail	mszk@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	野生動物保護管理学
科目名	野生動物管理のための獣医学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	イノシシやシカなどで確認されている急速な生息数増加は農林業被害や植生破壊の原因となっている。個体群管理は、これを解決するための有効なツールとされている。本セミナーは、個体群管理を適性に遂行するための基礎研究や手法について教示する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	鬼頭 克也
e-mail	k-kitoh@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	住血寄生虫症の病態発生と診断、治療法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬と猫の住血寄生虫を原因とする疾患を対象に、宿主-寄生体関係を主とした病態発生、診断、治療について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	山添 和明
e-mail	yamazoe@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物外科学
科目名	創傷治癒と湿潤療法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	現在、人医療では消毒薬とガーゼによる治療法から湿潤環境を維持する治療法へと変化しつつある。本授業では創傷治癒の基本原則を理解し、獣医療でも導入されつつある湿潤療法を症例を交えて紹介し、その適用について考えたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	前田 貞俊
e-mail	sadat@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床免疫学
科目名	動物の免疫介在性疾患における分子病態の解明
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	イヌおよびネコのアレルギー性疾患の臨床的特徴について概説した後、今日における診断および治療に関する問題点を明らかにする。さらに、アレルギー学および免疫生物学に関する論文の critical reading を通して比較免疫学の概念に関する理解を深め、獣医アレルギー学研究者が進むべき方向について議論していく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	椎名 貴彦
e-mail	tshiina@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経生理学
科目名	消化管の病態生理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食道や胃、小腸、大腸の運動は、脳・脊髄に由来する外来神経系と、消化管内部に存在する内在神経系によって制御されている。神経系による消化管運動の調節機構には、アセチルコリンや一酸化窒素をはじめ、様々な神経伝達物質が関与している。神経伝達物質の作用が十分に発揮されない、あるいは過剰に反応してしまうことにより、下痢や便秘などの、消化器異常が引き起こされると考えられている。本セミナーでは、学術論文を教材として、消化管ごとの神経支配の違いや、神経の分布様式、消化管運動の制御メカニズムなどを理解するとともに、それらと消
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	酒井 洋樹
e-mail	shiroki@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	腫瘍病理学
科目名	比較腫瘍病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	医学および獣医学の最新論文を精読することによって、人間、犬および猫の腫瘍性疾患について比較検討し、比較腫瘍学の中での獣医腫瘍病理学の有用性を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大屋 賢司
e-mail	kohya@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	分子感染症学
科目名	細胞内寄生病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	病原微生物（特に細胞内寄生細菌）と宿主の相互作用から感染成立・発症に至るまでの過程を、細胞微生物学的側面から理解し、自身の研究活動に生かすことを目的とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	伊藤 直人
e-mail	naotoito@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	人獣共通感染症学
科目名	ウイルス性人獣共通病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	多くのウイルスは特定の宿主動物と共に進化し、長い時間をかけて共生関係を築いている。しかし、共存関係にない動物に感染すると、強い病原性を示す場合が少なくない。それは一体なぜだろうか？本講義では、分子レベルならびに進化というマクロな視点からウイルス-宿主（細胞）の相互作用について解説する。さらに、これらの相互作用の理解を通じて、人獣共通感染症の制御について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	浅野 玄
e-mail	asanojr@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	野生動物保護管理学
科目名	侵略的外来哺乳類の管理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	わが国における生物多様性の劣化の一因として外来種による固有生態系への侵略があげられている。セミナーでは移入哺乳類の個体群管理法の実例を学び、個体群動態学的指標としてもっとも重要な年齢査定法について実験も行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	猪島 康雄
e-mail	inoshima@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	感染症診断学
科目名	ウイルス感染症の診断と対策
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	産業動物や野生動物のウイルス感染症発生例をもとに現在の診断法とその問題点などについて学ぶ。飼養・出荷形態や流通経路、生息環境や行動特性などの理解した上で、感染症制御のための現実的な対策について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大場 恵典
e-mail	ohba@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	産業動物臨床学
科目名	動物の遺伝性疾患の解析
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の遺伝性疾患について概説する。とくに原因遺伝子の同定方法および遺伝子診断法の確立について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	高島 康弘
e-mail	atakashi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感染症、およびそれに関連する領域（アレルギー、疫学、基礎免疫学）の論文のうち世界的に高い評価を受けたものを読み討議することで寄生者と宿主の関係を理解する。また討議の過程で戦略的な研究の進め方について理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	渡邊 一弘
e-mail	nabechan@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物外科学
科目名	小動物歯科口腔外科
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物の歯科・口腔外科を概説します。さらに、人の歯科治療法と比較することによって小動物における最良の歯科治療法を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	森 崇
e-mail	tmori@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床腫瘍学
科目名	獣医臨床腫瘍学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	腫瘍性疾患は、小動物に限らず人においてもいまだ様々な問題が山積している。どのような点が問題となっているか実際の臨床現場に触れていただいた上で、問題解決はどこまで進んでいるのか、またどのようなアプローチで研究が進められているのかについて理解することを目的としている。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	村瀬 哲磨
e-mail	muraset@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床繁殖学
科目名	哺乳動物精子の受精能力発現
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜を含む哺乳動物の受精において精子は鞭毛の超活性化運動、受精能獲得および先体反応（膜融合）を起こす。これらの現象が起きなければ受精できないことから、反応を調節する機構は不妊症の原因解明あるいは避妊のターゲットとなる。これらの分子機構に関する論文を読み本セミナーでは考察をしたいと思う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	齋藤 正一郎
e-mail	shouichi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経組織学
科目名	形態学における分子生物学的手法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	近年、科学技術の進歩により、組織切片上におけるタンパク質の検出限界は向上し、また易分解性である mRNA も検出できるようになった。しかしながら、その研究手技の原理、および一般的に”そうしなさい”とされている手技の理由を熟知しなければ、個々人の研究分野に適した独自の手技を確立することは難しい。本授業では、形態学的研究に利用されている分子生物学的手法 (in situ hybridization および免疫組織化学) についての原理と応用について討論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	高須 正規
e-mail	takasu@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床繁殖学
科目名	絶滅危惧種の保全戦略
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	種の保全を目的とした繁殖技術に関して概説し、この技術を用いた保全戦略を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	神志那 弘明
e-mail	kamicna@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医臨床神経病学
科目名	小動物の神経病学と画像診断学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物に認められる神経疾患の概要とそれらの画像診断技術について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7321b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	松山 勇人
e-mail	mhayato@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	内因性物質薬理学
科目名	平滑筋の受容体およびイオンチャネルの役割
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	平滑筋の受容体やイオンチャネルについて理解を深めるとともに、病態における役割について考察する。授業では各自が国際雑誌に投稿されている最近の科学論文を詳解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	西飯 直仁
e-mail	nishii@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物内科学
科目名	小動物の内分泌代謝性疾患の病態生理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物の内分泌代謝性疾患について、病態生理、診断および治療法について解説する。また獣医内分泌学における問題点を見出し、その解決策について議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	浅井 鉄夫
e-mail	tasai@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	動物感染症制御学
科目名	感染症における抗菌剤治療および耐性菌
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感染症の原因菌における耐性獲得は重要な問題でとなっている。動物医療における薬剤耐性菌の出現防止に、獣医師は責任を持って取り組まなければならない。耐性菌に関する科学的知見に基づいて、抗菌剤の選択や使用方法について考えていく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	柴田 早苗
e-mail	shiba211@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医麻酔学
科目名	獣医麻酔学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物病院での診療などを通して、動物実験の際に必要な麻酔科学の知識を得る。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大西 真
e-mail	ohnishi7@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興感染症学
科目名	獣医微生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症、特に新興・再興細菌感染症に焦点をあてて、病原体の特徴に関して概説し、病原体の特性に応じて開発された分子診断法、分子疫学解析法について説明する。また、比較ゲノム解析学的視点により病原細菌の進化過程とその多様性形成機構について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	森川 茂
e-mail	morikawa@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱の疫学、診断、予防
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	平成 19 年 6 月に改正、施行された感染症法により、1 類感染症に分類されるウイルス性出血熱や 2 類感染症に分類される SARS 等の重篤な人獣共通感染症の原因ウイルスの保有、実験に関しても法的に規制されることになった。国内では 1 類感染症で輸入症例が確認されているのはラッサ熱 1 例のみだが、欧州では輸入症例が多発している。これらの重篤な人獣共通感染症についての疫学・診断及び予防を理解することを目標として授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	川端 寛樹
e-mail	kbata@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興感染症学
科目名	ベクター媒介性の新興細菌感染症の現状、発症機序
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	節足動物媒介性の新興感染症の現状、発症機序を理解し、その制御方法を探る事を目的とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	井上 智
e-mail	sinoue@nih.go.jp
教育研究指導分野	再興感染症学
科目名	動物由来感染症の発生機序とその予防方法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	新興再興感染症における動物由来感染症の発生機序と発生予防の方法について公衆衛生の視点から獣医領域からのアプローチとその役割について考えてみたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	西條 政幸
e-mail	msaijo@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱および新興ウイルス感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス性出血熱含む新興ウイルス感染症の疫学, 病態, 診断, 予防・治療に関する理解を深めるとともに, その対策について考察するための授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	福士 秀悦
e-mail	fukushi@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	エボラ出血熱、ラッサ熱など、公衆衛生上の脅威となりうるウイルス性出血熱の発生状況を知り、診断法と発生予防対策について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱb）
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	北嶋 聡
e-mail	satoshi@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品衛生学
科目名	食品、その成分および混入化学物質による毒性
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	<p>食品の安全を確保するための対策がこれまで以上に必要とされてきています。ここでは、食品に由来する様々な化学物質（食品成分および食品添加物、残留農薬、環境汚染物質、マイコトキシンなどの混入化学物質）により誘発される毒性を、より高精度に把握する方策を探ることを目標として授業を行います。</p>
教育内容	<p>食品由来の様々な化学物質に関する実験動物を用いた毒性把握の現状、問題点と対策につきレポートを提出してもらい、この内容についてメールにて質問と意見交換ならびに全受講生によるディスカッションを行います。</p>
評価方法	<p>最終レポートをまとめてもらい、これにより成績評価をおこないます。</p>
備考	<p>指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。</p>

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	大西 貴弘
e-mail	ohnisi@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品微生物学
科目名	自然免疫と生体防御機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体防御機構における自然免疫の重要性を概説し、病原微生物由来の分子パターンがどのような機構によって認識されるのか説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	朝倉 宏
e-mail	hasakura@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品微生物学
科目名	食品有害細菌の分子疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品を介して感染する細菌性疾病の種類や特徴に関して概説し、病原細菌の特性に応じて開発された分子疫学手法および分子診断法（分子遺伝学的・免疫学的診断法等）について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱb）
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	佐々木 貴正
e-mail	ysasaki@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食肉衛生学
科目名	食肉における病原細菌の制御
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食肉を汚染する病原細菌の種類、家畜の飼育管理状況及び食肉処理工程を概説し、食肉加工における病原細菌の制御法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱb）
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	西藤 岳彦
e-mail	taksaito@affrc.go.jp
教育研究指導分野	獣医微生物学
科目名	ウイルス性人獣共通感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症のうち、ウイルスに起因するものに焦点を合わせて、自然界での存在様式、伝播機序、人および動物宿主における病原性などに関する理解を深めることを目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	高松 大輔
e-mail	p1013dt@affrc.go.jp
教育研究指導分野	獣医微生物学
科目名	グラム陽性球菌による細菌感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	グラム陽性球菌による感染症、特に豚レンサ球菌症やミツバチの腐蛆病について、発生状況や発病機序を概説し、病原体の特性や進化についても説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅱb)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	真瀬 昌司
e-mail	masema@affrc.go.jp
教育研究指導分野	家畜衛生学
科目名	鳥ウイルス性疾病の疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	鳥インフルエンザを含むウイルスに起因する鳥類の疾病の種類や特徴に関して概説し、原因となるウイルスの病原性および疫学について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIb)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	菅野 徹
e-mail	kannot@affrc.go.jp
教育研究指導分野	国際重要伝染病学
科目名	酪農環境下におけるウイルス性疾病
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	大規模酪農環境下において問題となるウイルス性疾病の現状や、それら疾病の防疫を目的としたウイルスの生態及び動態の解析や予防診断技術の開発など起因病原体側からの研究アプローチを紹介することにより臨床ウイルス学の理解を深めることを目標とした授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7521b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論（Ⅱb）
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	筒井 俊之
e-mail	tsutsui@affrc.go.jp
教育研究指導分野	動物感染症疫学
科目名	家畜感染症の流行疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物感染症の流行要因の解析に応用する疫学手法について実例を用いながら概説し、より詳細な分析を行うための統計学的手法について説明する。さらに、動物感染症の流行動態の解析や対策の評価に用いるシミュレーションモデル、発生予防措置を検討するために用いるリスクアセスメントについて説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	佐藤 文夫
e-mail	Fumio_Sato@jra.go.jp
教育研究指導分野	馬生産育成学
科目名	馬の生産および疾病管理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	軽種馬の生産および育成技術の向上を目指して、誕生から競走馬になるまでの 育成期全般における飼養管理方法の改善、新生子学、若馬特有の内科および 外科疾患の診断・治療・予防方法の解明、新たな調教・馴致法の導入に関する 体系的な調査研究の紹介。そこでは、軽種馬の X 線や内視鏡、エコーを用いた 画像診断法や一次診療などの臨床獣医学的なことから、内分泌学、生理学や 行動学的手法を用いた調査研究まで馬に関することを学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	桑野 睦敏
e-mail	hoofvet@center.equinst.go.jp
教育研究指導分野	馬蹄病学
科目名	馬の蹄病理学および臨床医学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	スライド写真やビデオ画像などを使い、ウマの特殊な肢端構造である蹄の解剖学および各種蹄病について、解剖学的、病理学的、生化学的および病原微生物学的知見を教育。また、日本の装蹄技術についても紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7721b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIb)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	大村 一
e-mail	hajime@equinst.go.jp
教育研究指導分野	馬生理学
科目名	馬運動生理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	運動中の呼吸循環応答を概説し、馬の生理学的特徴について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	末水 洋志
e-mail	suemizu@ciea.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	遺伝子改変動物作製の実際とヒト化動物
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	免疫不全マウスにヒト細胞・組織を生着させたヒト化マウスに関して概説し、様々な疾患・病態、あるいは正常生体機能を反映したモデル（免疫・感染症、薬物代謝）について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	橋本 晴夫
e-mail	hashimot@cica.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	実験動物の開発・育成の基礎とモデル動物
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	実験動物の歴史、飼育技術、遺伝子改変技術について概説し、糖尿病を例に糖尿病モデル動物の変遷と現在の 2 型糖尿病モデルマウスについて説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7121b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIb)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	林元 展人
e-mail	nobuh@ciea.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	実験動物の品質管理、感染症とそのモデル
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	本科目ではマウス、ラットの感染症を概説するとともに、具体的な微生物学的品質管理（衛生管理、検査手法）について説明する。また、昨今使用されるマウス、ラットを用いた感染症モデルについて説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	北村 延夫
e-mail	kitamura@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	比較組織学
科目名	消化管の構造と制御組織
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	消化管の構造的特徴を食性と関連付けて理解し、それらの機能を調節する自律制御機構の組織学的成り立ちを理解する。消化管内分泌細胞および消化管神経の特徴について形態や含有する化学信号物質等に基づいて詳解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	鈴木 宏志
e-mail	hisuzuki@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	ゲノム機能学
科目名	発生・生殖工学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	発生工学の魅力は、興味ある遺伝子の機能を個体レベルで解析可能にすることにある。培養細胞を用いて血圧の制御にかかわる遺伝子の機能を観察することは困難だが、発生工学は生体の高次機構のなかで遺伝子機能を直接的に解析可能な検定系を提供できる。本授業では、発生工学とそれを支える生殖工学への理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	河津 信一郎
e-mail	skawazu@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	原虫病予防治療学
科目名	分子寄生虫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	「ポストゲノム」の原虫病研究では、遺伝子改変（トランスジェニック）技術を応用して、原虫ゲノムのリソースから真に有用な遺伝子を選別する研究手法が重要になると考える。このセミナーでは、トランスジェニック原虫の作製方法と、そのゲノム機能解析研究への応用法を理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	石井 利明
e-mail	ishii@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	神経薬理学
科目名	離乳と脳高次機能
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	離乳期に顕彰する自給本能発現における脳神経機構を解説し、動物行動を調節する脳高次機能の適応や発達の理解を深める。特に、離乳時の「固執」の変化は、動物行動と脳神経活動の因果関係や脳高次機能と心理学的発達の接点を理解する上で最適な題材となる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	古岡 秀文
e-mail	furuoka@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	病態病理学
科目名	感染病理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	BSE やスクレイピーを含むプリオン病、ヘルペスウイルスをはじめとする神経系ウイルス感染症や Lawsonia をはじめとする消化管細菌感染症にみられる病態の特徴と病理学的診断法、ならびにこれら感染症にみられる宿主免疫について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	倉園 久生
e-mail	hkurazon@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	蛋白毒素科学
科目名	細菌感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ある種の病原細菌は、蛋白毒素を産生して種々の病態を惹起する。現在までに病原細菌の産生する蛋白毒素が数多く報告され、あるものについてはその詳細な作用機作が分かっている。本授業では、細菌感染症を引き起こす病原細菌の産生する蛋白毒素の作用機作について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	猪熊 壽
e-mail	inokuma@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物内科学
科目名	大動物感染症の診断、治療および予防
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	大動物内科学において問題となる牛白血病などの難診断疾患、およびリケッチア、原虫などの人獣共通新興感染症を含む大動物の感染症について、その診断、治療および予防に関するアプローチの方法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	宮原 和郎
e-mail	miyahara@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	臨床病理学
科目名	臨床病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	画像診断法 (X線透視診断、X線撮影診断、超音波診断など) を主体とした臨床病理学的診断方法による、産業動物、特に乳牛における消化器疾患、循環器疾患および運動器疾患の病態について、実際の臨床例を題材としてその診断過程を基に理解させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	佐々木 基樹
e-mail	sasakim@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	比較組織学
科目名	分化、発達にともなう生殖器の機能形態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	胎子期から成熟個体までの脊椎動物の生殖器の分化、発達にともなう形態学的変化と、それにとともなう生理学的機能の変化を把握することによってその相互関係を理解する。さらに、視床下部、下垂体の生殖器に対する調節機構や母体と胎子間の相互作用の理解も視野に入れる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	五十嵐 慎
e-mail	makoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	耐病性遺伝子工学
科目名	原虫の宿主感染機構と免疫応答
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	トキソプラズマ原虫に対するワクチン開発、およびシスト形成の分子機構の解明を主テーマとする。細胞内寄生原虫感染における基礎的な免疫機構および一般的な分子生物学の知識を身につける。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	横山 直明
e-mail	yokoyama@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	原虫病高度診断学
科目名	赤血球内寄生性原虫病学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	赤血球内に寄生する病原性原虫（バベシア原虫やタイレリア原虫）に対して、現在までに有効な予防法は確立されていない。確立の糸口として"どのようなタイプの原虫が、どのように増殖し、どのようにして宿主に病気を引き起こすのかを正しく理解することが重要となる。この科目では、赤血球内寄生性原虫による最新の関連知見を紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	小川 晴子
e-mail	hogawa@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	家禽疫病学
科目名	家禽のウイルス感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	鳥インフルエンザやニューカッスル病等の家禽に重篤な疾病を引き起こすウイルスについて概説し、自然界におけるそれらウイルスの進化と引き起こされる疾病の制御法について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	古林 与志安
e-mail	kyoshi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	運動器病理学
科目名	ウイルス関連腫瘍の病態と診断
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス関連腫瘍について病態を概説するとともに、それら疾患に対する診断法を含めた最新知見について、より深い知識が拡充できるように講義する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	松井 基純
e-mail	mmatsui@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	繁殖障害診断治療学
科目名	牛および馬における繁殖障害の病態生理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜の生産性に大きな影響を与える牛および馬の繁殖機能障害について、病態生理とその対策を学ぶ。特に、繁殖生理の要である内分泌学的視点に加え、近年、重要視されている栄養や快適性などの飼養環境要因についても、最新の研究成果を学び、課題を掘り起こす。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	福本 晋也
e-mail	fukumoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	ベクター生物学
科目名	寄生虫生態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	節足動物によって媒介されるフィラリアやマラリア等の寄生虫感染症を対象として、ベクターと宿主の体内における寄生体の複雑かつ巧妙なライフサイクルを分子遺伝学的観点から概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	大石 明広
e-mail	aoishi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物外科学
科目名	イヌの腎性貧血の病態生理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	このセミナーでは、エリスロポエチン産生性の問題、赤血球寿命の問題、および出血・失血の問題について行われてきている研究について学び、腎性貧血病態への理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	松本 高太郎
e-mail	kmatsumoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物内科学
科目名	マダニ媒介性疾患へのアプローチ
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症であるリケッチア症やエーリキア症、原虫性疾患などのマダニ媒介性疾患について、その診断および治療、周辺環境の調査法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	加藤 健太郎
e-mail	kkato@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	地球規模感染症学
科目名	分子感染症学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症を含めた原虫、ウイルス感染症において、原因となる病原体が如何にして宿主細胞に侵入・感染し、どの様にして宿主細胞内で増殖するのかという命題について、その分子機構を概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	南保 泰雄
e-mail	ynambo@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	馬繁殖学
科目名	馬の生殖内分泌
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	写真やビデオ画像などを使用し、馬の生産現場で行われている臨床繁殖診療について、種々の発情検査、交配適期の選択、妊娠鑑定、分娩管理法、分娩後初回発情などの一般診療から、カラードプラ超音波診断による画像診断、ホルモン測定による生殖内分泌検査方法などの研究まで、授業を行う。また、日本のサラブレッド生産育成について紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	石川 透
e-mail	torui@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	免疫生理学
科目名	上皮膜輸送
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	上皮細胞は体液コンパートメント間の水や電解質の交換に重要な役割を果たしている。このような分子の上皮膜輸送は多種多様なイオン輸送タンパク機能とその統合により可能となる。この科目では上皮細胞に機能発現するイオンチャンネル、トランスポーター、ポンプの構造機能連関および細胞内調節機構について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	室井 喜景
e-mail	muroi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	行動神経科学
科目名	本能行動を制御する神経機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の本能は様々な行動を通して表現される。例を挙げながら中枢神経系による本能行動の制御機構を概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	山岸 則夫
e-mail	yamagishi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	牛病学
科目名	牛疾患の病態と診断・治療法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	牛の代謝性疾患や各種外科疾患に関して、最新研究報告を交えて説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山本 欣郎
e-mail	yyoshio@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞システム学
科目名	感覚神経の信号伝達
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感覚神経の信号伝達経路について概説し、嗅覚、味覚、聴覚、固有感覚の特徴について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	板垣 匡
e-mail	itagaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	寄生虫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	寄生虫には多様な種があるが、それらは生命の誕生から繰り広げられてきた寄生虫と宿主の相互関係や相克の結果として進化し形成された。寄生虫種が持つ形態や生態、宿主特異性などの生物学的特徴と進化の関連を考察し、寄生虫生物学を理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	宇塚 雄次
e-mail	ujiiwa@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物臨床外科学
科目名	小動物臨床放射線学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	日々進化する伴侶動物医療において、外科的な診断・処置法について、とくに麻酔や断層撮影に関する造詣を深める。具体的には、各種麻酔薬の生体に対するさまざまな影響や、外科的疾患、とくに神経学的疾患に対する断層撮影の活用法についての授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 繁
e-mail	sshigeru@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	代謝病学
科目名	獣医内科学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	乳牛の周産期疾病、特に分娩前後にみられる乳熱などの低カルシウム (C a) 血症関連疾病およびケトosisや脂肪肝などの負のエネルギーバランス (N E B) 関連疾病の発生要因、病態および防除について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 れえ子
e-mail	reekos@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物病態内科学
科目名	鉄結合蛋白ラクトフェリンの免疫調節作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	免疫不全症に伴う慢性炎症のメカニズムについて、生体内における好中球機能ならびにリンパ球機能変動の観点から免疫学的に学ぶとともに、実際の臨床例における分析結果についても考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	中牟田 信明
e-mail	nakamuta@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経解剖学
科目名	脊椎動物嗅覚系の形態学的側面
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	様々な動物における嗅覚器と嗅球の形態等について、最新の論文を紹介しながら解説し、鋤鼻系を含む嗅覚系の理解と新しい研究課題の発掘を目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
 岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	木崎 景一郎
e-mail	kizaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞生理学
科目名	着床, 胎盤形成および血管新生の生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	着床および胎盤形成について概説し、これらの現象の成立に必須な子宮内膜細胞と栄養膜細胞の相互作用、分化機構、及び血管新生について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山田 美鈴
e-mail	ymisuzu@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞システム学
科目名	生体内ホメオスタシス維持機構論
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生物は外的環境を感知し、その変化に柔軟に対応するホメオスタシス機構を備えている。本科目では、各自でホメオスタシス維持機構に関するテーマを設定し、研究の背景・実験方等を発表やレポートとしてまとめ、議論することで理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 至
e-mail	satoital@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	環境衛生学
科目名	放射線の研究利用と防護
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	研究推進のための有力なツールである放射線・放射性同位元素の様々な利用方法について解説するとともに、その管理の特殊性や防護理論を教授することにより、放射線・放射性同位元素の安全かつ有効な研究利用について習得させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	岡田 啓司
e-mail	keiji@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	生産獣医療学
科目名	生産獣医療学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	牛の生産獣医療学は、食の安全、動物福祉、畜産と環境を含む分野である。私たちの牛群管理は、反芻獣栄養学と護蹄管理を中基礎としている。それらをもとに、動物福祉を配慮した生産性向上の方策を探る。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	古市 達哉
e-mail	furuichi@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	モデル動物学
科目名	モデル動物を用いた疾患の病態解析
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	疾患モデル動物の作製方法、および疾患モデル動物を用いた病態解析法について解説する。基礎研究および創薬研究におけるモデル動物の重要性を解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	村上 賢二
e-mail	muraken@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	病原微生物学
科目名	獣医微生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物感染症の制御のために、病原体の病原性のメカニズムについて、さらに感染症の予防、診断、治療法を学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	片山 泰章
e-mail	masaaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	機能再建外科学
科目名	小動物臓器移植学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	猫の末期腎不全に対する根治的治療法である腎移植についての最新情報を移植免疫、免疫抑制法、手術技術および臓器保存の点から解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	高橋 透
e-mail	tatoru@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	繁殖機能制御学
科目名	獣医臨床繁殖学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	臨床繁殖学における診断?治療に関して、これを生理学および管理学的な視点から概説した上で、多様な繁殖障害に対する診断法や、生殖機能の人為的制御に基づく繁殖管理技術について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	落合 謙爾
e-mail	kochiai@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	組織病理学
科目名	獣医病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物のさまざまな疾患の病態解析
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山崎 真大
e-mail	masayama@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物病態内科学
科目名	応用獣医血液学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬・猫の持つ、細胞内が低カリウム濃度となっている赤血球についてその生化学的特徴を解説し、それらを応用した研究について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	高橋 正弘
e-mail	takamasa@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	大動物診断治療学
科目名	牛の胚移植の応用について
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	最近、海外でも和牛が注目されていますが、胚移植を活用した和牛の生産は農家の経営に役立つ技術であります。そこで、脂肪酸分析と胚品質の関係、リピートブリーダーへの活用など牛胚移植の新しい繁殖技術に関して説明します。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 洋
e-mail	satohsss@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	毒性薬理学
科目名	抗がん剤の薬理学的・毒性学的特性
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	抗がん剤の薬効機序とそれに起因した毒性作用に関して概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	彦野 弘一
e-mail	hhikono@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医免疫学
科目名	感染症の免疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	この科目は博士課程の学生に、感染とワクチネーションに対する免疫応答についての広い理解と、それを動物における感染症の研究、制圧、予防へ応用する能力を与える。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	大沼 俊名
e-mail	oonumat@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞生理学
科目名	血管新生制御の分子機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	腫瘍の進展や炎症時におこる血管新生について概説し、その具体的な解析方法について、各種の遺伝子組換え動物を使用したアプローチを中心に詳細な説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	福井 大祐
e-mail	dfukui@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	動物園動物・野生動物医学
科目名	保全医学概論
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人と動物の健康、そして地球上に存在するすべての生命体の基盤となる生態系の健全性は、互いにつながりを有しており、それらを維持・回復するには、「生物多様性保全」および「人と動物の共存」が重要な課題となる。この One Health を実現するための保全医学のアプローチについて、その概要を身近な野生動物問題を例示して解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	一條 俊浩
e-mail	ichijo@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	生産獣医療学
科目名	産業動物における臨床診断、治療および予後の関する診断法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生産獣医療の種類と特徴について概説するとともに、産業動物における臨床診断を中心に、効果的な治療および予後診断にいたるまでのプロセスを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	寺嶋 淳
e-mail	
教育研究指導分野	衛生微生物学
科目名	食品媒介細菌感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品を介する細菌感染症について、起因菌の細菌学的性状及び病原性発現機序とともに分子遺伝学的手法に基づく診断法などを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岩手大学
担当教員名	星野 有希
e-mail	yhoshino@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	軟部組織外科学
科目名	伴侶動物の腫瘍性疾患に対する新規治療法の開発
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	伴侶動物の腫瘍性疾患について概説し、その病態発生から適応される新規治療法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	渡辺 元
e-mail	gen@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	生殖生理学
科目名	生殖の比較生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	卵や精子形成の調節における性腺と生殖中枢の関係について解説する。また、実験動物、家畜、家禽、野生動物など種々の動物の研究例を紹介しながら、生殖機能の内分泌学的調節メカニズムについて解説し、生理学的解析の進め方についても理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	白井 淳資
e-mail	jshirai@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医伝染病学
科目名	獣医伝染病学特論
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	学部の伝染病学の講義で行う内容をより詳しく、また学術的観点から深探求し、重要な家畜感染症を解説して行く。また人類にとって驚異となる感染症(人獣共通感染症を含む)について概要、疫学、病因および日本人が感染する可能性などについて解説し、それぞれの疾病に対しこれからどう取り組むかについてディスカッションを行う。今まで海外で行った感染症に関する研究を海外の研究施設も含め紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	藤川 浩
e-mail	fujik@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	食品安全管理学
科目名	食品の微生物学的安全性確保
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	有害微生物による食品の安全性を予防するため、微生物管理、すなわち微生物の汚染防止、殺菌、増殖抑制が非常に重要である。本講義では食品の微生物管理における基礎および応用についての理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	町田 登
e-mail	machida@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	腫瘍臨床病理学
科目名	小動物の腫瘍性疾患の細胞診断学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬および猫に発生する各種腫瘍性疾患の細胞診断について方法論と判読法を習得することを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	柴田 秀史
e-mail	shibata@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	比較解剖学
科目名	大脳辺縁系の神経解剖学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	中枢神経の構造の概略を説明した後、動物が生きていく上で必須の機能である記憶や学習といった高次神経機能の基盤となる Papez 回路を中心とした大脳辺縁系の神経解剖学を解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	佐々木 一昭
e-mail	skazuaki@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	臨床薬理学
科目名	薬物動態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	薬物動態学の基礎となる理論と薬物分析に関する方法論を講義する。薬物の吸収、分布、代謝、排泄という薬物動態学の基礎を学び、臨床への応用を考える。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	渋谷 淳
e-mail	mshibuta@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	毒性病理学
科目名	発達期神経毒性学、発がん
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	化学物質による発癌メカニズムの探究や神経発達に対する影響とその分子標的の解明などに関して、形態学に根ざした分子解析アプローチの可能性、アプリケーションの限界、得られた結果の解釈や応用性等について学び、個々の実験解析に活かせるようにする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	谷口 隆秀
e-mail	taniguti@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	感染防御学
科目名	ウイルス感染症における免疫反応と病態形成機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス感染症では、宿主側の様々な要因によって多様な病態が形成される。感染によって引き起こされる免疫応答が必ずしも宿主に有利に働くとは限らない。本講義では宿主の生体防御機構とウイルス感染症における病態形成の関係について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	佐藤 俊幸
e-mail	tsatoh@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	行動生物学
科目名	動物の行動形質の進化的理解：血縁選択と性選択
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	獣医学分野ではあまりとりあげられない、行動の適応的意義を、進化的観点から解説する。とくに血縁者どうしの協力的行動の進化（血縁選択）、メスの選り好みによるオスの一見非適応的な形質の進化（性選択）など、包括適応度の概念を導入しないと理解できない現象の解説を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	林谷 秀樹
e-mail	eisei@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医疫学
科目名	疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	疫学、特に感染症の疫学および臨床疫学に焦点を当て、その理論と応用について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	西藤 公司
e-mail	kojimail@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医皮膚科学
科目名	皮膚バリア機構の破綻による哺乳動物の皮膚疾患
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	皮膚バリア機構の破綻が関与すると考えられている哺乳動物の皮膚疾患(天疱瘡、膿痂疹、アトピー性皮膚炎など)を題材とし、バリア機構の破綻に関連する分子機構と病態との関連について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	田中 綾
e-mail	ryoryo@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	獣医循環器病学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	各種心機能検査による心疾患の病態評価と各病態に対する治療戦略について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	田中 知己
e-mail	tomomit@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜不妊症防除学
科目名	繁殖機能の中枢制御機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	反芻家畜の繁殖を調節している中枢機構に関して最近の知見を紹介し、家畜の繁殖が促進または障害される際のメカニズムを考えていく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	竹原 一明
e-mail	takehara@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医衛生学
科目名	感染症制御法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス性・細菌性感染症の病原体の自然界での生態について概説し、どのようにそれら病原体の侵入を制御したり、殺滅させたりできるかについて、戦略を説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	清水 美希
e-mail	mshimizu@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	酸化ストレスと疾患
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体内の酸化還元状態や生体内メチル化反応の変化を調べることにより、各種疾患の病態発現機序を解明する。特に、加齢性変化といわれている脳疾患や心血管疾患について検討する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	岸本 海織
e-mail	miori@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	放射線診断学および放射線防護
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	獣医学領域における放射線診断学の歴史と先端技術について説明する。また、放射線の安全な取扱に必須となる放射線防護について、各自が現場で適切な防護方法を考え出せるレベルの知識の習得を目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	鈴木 和彦
e-mail	kzsuzuki@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	毒性病理学
科目名	線維化とがんの発症機序
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	化学物質による組織傷害によって惹起される線維化およびがんの発症機序への関与が示唆されている因子群についての多角的な解析およびそれらの結果に基づいた考察の仕方について学び、個々の実験へ活用できることを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	福島 隆治
e-mail	ryu-ji@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	小動物診断治療学
科目名	犬猫における超音波診断学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	従来からの犬猫の超音波診断法に加え、新規の適応と技術について学ぶ。 また、その習得することを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	水谷 哲也
e-mail	tmizutan@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜感染症学
科目名	ウイルスの網羅的解析
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	既知のウイルスについてはすでに検査方法が確立しているが、未知のウイルスの核酸配列については全く情報がないので検出することが難しい。家畜感染症の分野において、最新の核酸を増幅する技術を駆使した、ウイルスの迅速・網羅的な検出方法を理解することを目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	石原 加奈子
e-mail	kanako-i@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	食品安全管理学
科目名	分子疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品媒介性感染症やその他の感染症における分子疫学及び疫学解析の手法やその応用を学び、感染症の制御についてディスカッションを行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	古谷 哲也
e-mail	furuyat@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	病原感染因子学
科目名	感染因子と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルスや原虫の動物やヒトへの感染においては、宿主細胞への侵入や細胞内感染の維持のため、寄生体と宿主の相互作用が必須であるが、この相互作用を研究することによって、疾病の治療や感染の予防に応用することができる。本講義では、この宿主・寄生体相互作用についての最新の知見を紹介し、学生の研究の発展にどのように生かしていくことができるかをディスカッションする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	大松 勉
e-mail	tomatsu@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜感染症学
科目名	獣医経済学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜感染症の発生は甚大な損失を社会全体にもたらすことから、感染症防疫にかかわる人材も経済学的視点を身に付けることが重要である。本講義ではその基礎となる経済学について理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	井手 香織
e-mail	k-ide@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医皮膚科学
科目名	上皮向性リンパ腫-ヒトと犬での比較-
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	主に皮膚や粘膜に病巣をつくり、治療が困難である上皮向性リンパ腫について、小動物のみならずヒトも含めた特徴・病態を説明し、動物種間における類似点や異なる点を比較検討する。そして最新の病態解析研究をもとに、犬の上皮向性リンパ腫について今後どのようなアプローチで研究を進めていけるのかをディスカッションする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	吉田 敏則
e-mail	yoshida7@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験病理学
科目名	分子器官病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	慢性疾患の分子病理学的特徴ならびに発生機序について学び、動物の疾病とヒトの疾病との共通性、病理発生における外因（感染症や化学物質暴露など）と内因（遺伝子変異や代謝異常など）との相互作用、疾患モデル動物を用いた治療標的分子の探索などにも目を向け、動物からヒトへより幅の広い角度から病気の成り立ちについて理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	打出 毅
e-mail	uchide@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	分子診断治療学
科目名	獣医内科学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人と伴侶動物で共通して認められる疾患について、分子的類似性を基盤とした新しい診断法、治療法について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	永岡 謙太郎
e-mail	nagaokak@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	分子生理学
科目名	アミノ酸代謝と生体機能
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体におけるアミノ酸の有用性や代謝経路について概説し、様々ま表現系を有するアミノ酸代謝酵素欠損マウスについて研究概要を説明するとともに、用いられている実験技術について理解させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	小山 哲史
e-mail	skoyama@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	行動生物学
科目名	行動生態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の一般的な行動原理を概説し、それぞれの動物およびその動物の行動の特性に応じた適応度上のコストと利益について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	阿閉 泰郎
e-mail	atozi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	脳形態学
科目名	哺乳類および鳥類の比較神経解剖学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	次の項目について講義および討論を行う。 1. 神経解剖学の研究方法 2. 神経組織の基本知識 3. 感覚系（嗅覚、視覚、聴覚、体性感覚）の哺乳類と鳥類との相違 4. 辺縁系の哺乳類と鳥類での違い 5. 高次機構の違い
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	志水 泰武
e-mail	yshimizu@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経生理学
科目名	恒常性を維持するための神経内分泌系
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	提示し課題に対して提出されたレポートを題材とし、討論しながら、データの取り扱い方を教授する。また論文を作成する過程で必要となる考察力の育成を目指す。
教育内容	e-learning システムを使って、提示された実験データをどのように活用して結論を導くべきか討論する。また、仮説を立て、その仮説を立証するためにどのような実験を組むべきか思考する。知識の提供ではなく、思考力の育成を目指す。
評価方法	受講状況と課題ごとに提出されるレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-learning システムで授業を実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	海野 年弘
e-mail	tunno@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	内因性物質薬理学
科目名	細胞膜の受容体とイオンチャネルの異常に基づく疾患
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	細胞膜の受容体やイオンチャネルの異常に基づく疾患について、その疾患の病態発現機構を分子レベルで概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 E-learning システムで授業を実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	柳井 徳磨
e-mail	yanai@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	比較病理学
科目名	野生および動物園動物病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	<p>講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。また、得られた成果をアジアにおける保全医学関連の国際学会で発表し、他の研究者と情報を共有し、国際的な学会活動に対する発表および討議能力を身につける。</p>
教育内容	<p>保全医学の一環として、環境、野生動物および人類の健康状態の病理学的側面を研究し、環境の異常に対して警鐘を鳴らす。環境の変化を知るための基礎的な研究、具体的には、野生動物の中毒、感染症および大量死などの現象を解明、さらに野生動物と人の間の共通感染症の病理発生を研究する。</p>
評価方法	<p>受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。</p>
備考	<p>指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。</p>

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	福士 秀人
e-mail	hfukushi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	分子感染症学
科目名	ウイルス病原性発現機構の分子生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルスの病原性発現機構の解明は感染症制御の基礎である。この授業ではウイルスゲノムを標的として病原性発現機構を解明する手法について原理および応用に関して学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	杉山 誠
e-mail	sugiyama@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	人獣共通感染症学
科目名	ウイルス性人獣共通感染症と社会
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	研究者は社会的位置付けを一層意識する必要があるとあり、社会（一般人）とのコミュニケーション能力がますます重要になる。この授業では、ウイルス性人獣共通感染症をテーマに、一般人の人に科学的な情報をどのように伝達したら良いかについて考えたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	鈴木 正嗣
e-mail	mszk@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	野生動物保護管理学
科目名	野生動物管理のための獣医学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	イノシシやシカなどで確認されている急速な生息数増加は農林業被害や植生破壊の原因となっている。個体群管理は、これを解決するための有効なツールとされている。本セミナーは、個体群管理を適性に遂行するための基礎研究や手法について教示する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	鬼頭 克也
e-mail	k-kitoh@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	住血寄生虫症の病態発生と診断、治療法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬と猫の住血寄生虫を原因とする疾患を対象に、宿主-寄生体関係を主とした病態発生、診断、治療について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	山添 和明
e-mail	yamazoe@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物外科学
科目名	創傷治癒と湿潤療法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	現在、人医療では消毒薬とガーゼによる治療法から湿潤環境を維持する治療法へと変化しつつある。本授業では創傷治癒の基本原則を理解し、獣医療でも導入されつつある湿潤療法を症例を交えて紹介し、その適用について考えたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	前田 貞俊
e-mail	sadat@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床免疫学
科目名	動物の免疫介在性疾患における分子病態の解明
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	イヌおよびネコのアレルギー性疾患の臨床的特徴について概説した後、今日における診断および治療に関する問題点を明らかにする。さらに、アレルギー学および免疫生物学に関する論文の critical reading を通して比較免疫学の概念に関する理解を深め、獣医アレルギー学研究者が進むべき方向について議論していく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	椎名 貴彦
e-mail	tshiina@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経生理学
科目名	消化管の病態生理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食道や胃、小腸、大腸の運動は、脳・脊髄に由来する外来神経系と、消化管内部に存在する内在神経系によって制御されている。神経系による消化管運動の調節機構には、アセチルコリンや一酸化窒素をはじめ、様々な神経伝達物質が関与している。神経伝達物質の作用が十分に発揮されない、あるいは過剰に応答してしまうことにより、下痢や便秘などの、消化器異常が引き起こされると考えられている。本セミナーでは、学術論文を教材として、消化管ごとの神経支配の違いや、神経の分布様式、消化管運動の制御メカニズムなどを理解するとともに、それらと消
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	酒井 洋樹
e-mail	shiroki@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	腫瘍病理学
科目名	比較腫瘍病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	医学および獣医学の最新論文を精読することによって、人間、犬および猫の腫瘍性疾患について比較検討し、比較腫瘍学の中での獣医腫瘍病理学の有用性を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大屋 賢司
e-mail	kohya@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	分子感染症学
科目名	細胞内寄生病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	病原微生物（特に細胞内寄生細菌）と宿主の相互作用から感染成立・発症に至るまでの過程を、細胞微生物学的側面から理解し、自身の研究活動に生かすことを目的とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	伊藤 直人
e-mail	naotoito@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	人獣共通感染症学
科目名	ウイルス性人獣共通病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	多くのウイルスは特定の宿主動物と共に進化し、長い時間をかけて共生関係を築いている。しかし、共存関係にない動物に感染すると、強い病原性を示す場合が少なくない。それは一体なぜだろうか？本講義では、分子レベルならびに進化というマクロな視点からウイルス-宿主（細胞）の相互作用について解説する。さらに、これらの相互作用の理解を通じて、人獣共通感染症の制御について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	浅野 玄
e-mail	asanojr@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	野生動物保護管理学
科目名	侵略的外来哺乳類の管理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	わが国における生物多様性の劣化の一因として外来種による固有生態系への侵略があげられている。セミナーでは移入哺乳類の個体群管理法の実例を学び、個体群動態学的指標としてもっとも重要な年齢査定法について実験も行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	猪島 康雄
e-mail	inoshima@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	感染症診断学
科目名	ウイルス感染症の診断と対策
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	産業動物や野生動物のウイルス感染症発生例をもとに現在の診断法とその問題点などについて学ぶ。飼養・出荷形態や流通経路、生息環境や行動特性などの理解した上で、感染症制御のための現実的な対策について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大場 恵典
e-mail	ohba@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	産業動物臨床学
科目名	動物の遺伝性疾患の解析
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の遺伝性疾患について概説する。とくに原因遺伝子の同定方法および遺伝子診断法の確立について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	高島 康弘
e-mail	atakashi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感染症、およびそれに関連する領域（アレルギー、疫学、基礎免疫学）の論文のうち世界的に高い評価を受けたものを読み討議することで寄生者と宿主の関係を理解する。また討議の過程で戦略的な研究の進め方について理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	渡邊 一弘
e-mail	nabechan@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物外科学
科目名	小動物歯科口腔外科
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物の歯科・口腔外科を概説します。さらに、人の歯科治療法と比較することによって小動物における最良の歯科治療法を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	森 崇
e-mail	tmori@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床腫瘍学
科目名	獣医臨床腫瘍学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	腫瘍性疾患は、小動物に限らず人においてもいまだ様々な問題が山積している。どのような点が問題となっているか実際の臨床現場に触れていただいた上で、問題解決はどこまで進んでいるのか、またどのようなアプローチで研究が進められているのかについて理解することを目的としている。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	村瀬 哲磨
e-mail	muraset@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床繁殖学
科目名	哺乳動物精子の受精能力発現
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜を含む哺乳動物の受精において精子は鞭毛の超活性化運動、受精能獲得および先体反応（膜融合）を起こす。これらの現象が起きなければ受精できないことから、反応を調節する機構は不妊症の原因解明あるいは避妊のターゲットとなる。これらの分子機構に関する論文を読み本セミナーでは考察をしたいと思う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	齋藤 正一郎
e-mail	shouichi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経組織学
科目名	形態学における分子生物学的手法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	近年、科学技術の進歩により、組織切片上におけるタンパク質の検出限界は向上し、また易分解性である mRNA も検出できるようになった。しかしながら、その研究手技の原理、および一般的に”そうしなさい”とされている手技の理由を熟知しなければ、個々人の研究分野に適した独自の手技を確立することは難しい。本授業では、形態学的研究に利用されている分子生物学的手法 (in situ hybridization および免疫組織化学) についての原理と応用について討論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	高須 正規
e-mail	takasu@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床繁殖学
科目名	絶滅危惧種の保全戦略
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	種の保全を目的とした繁殖技術に関して概説し、この技術を用いた保全戦略を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	神志那 弘明
e-mail	kamicna@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医臨床神経病学
科目名	小動物の神経病学と画像診断学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物に認められる神経疾患の概要とそれらの画像診断技術について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	松山 勇人
e-mail	mhayato@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	内因性物質薬理学
科目名	平滑筋の受容体およびイオンチャネルの役割
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	平滑筋の受容体やイオンチャネルについて理解を深めるとともに、病態における役割について考察する。授業では各自が国際雑誌に投稿されている最近の科学論文を詳解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	西飯 直仁
e-mail	nishii@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物内科学
科目名	小動物の内分泌代謝性疾患の病態生理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物の内分泌代謝性疾患について、病態生理、診断および治療法について解説する。また獣医内分泌学における問題点を見出し、その解決策について議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	浅井 鉄夫
e-mail	tasai@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	動物感染症制御学
科目名	感染症における抗菌剤治療および耐性菌
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感染症の原因菌における耐性獲得は重要な問題でとなっている。動物医療における薬剤耐性菌の出現防止に、獣医師は責任を持って取り組まなければならない。耐性菌に関する科学的知見に基づいて、抗菌剤の選択や使用方法について考えていく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	柴田 早苗
e-mail	shiba211@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医麻酔学
科目名	獣医麻酔学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物病院での診療などを通して、動物実験の際に必要な麻酔科学の知識を得る。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大西 真
e-mail	ohnishi7@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興感染症学
科目名	獣医微生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症、特に新興・再興細菌感染症に焦点をあてて、病原体の特徴に関して概説し、病原体の特性に応じて開発された分子診断法、分子疫学解析法について説明する。また、比較ゲノム解析学的視点により病原細菌の進化過程とその多様性形成機構について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	森川 茂
e-mail	morikawa@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱の疫学、診断、予防
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	平成 19 年 6 月に改正、施行された感染症法により、1 類感染症に分類されるウイルス性出血熱や 2 類感染症に分類される SARS 等の重篤な人獣共通感染症の原因ウイルスの保有、実験に関しても法的に規制されることになった。国内では 1 類感染症で輸入症例が確認されているのはラッサ熱 1 例のみだが、欧州では輸入症例が多発している。これらの重篤な人獣共通感染症についての疫学・診断及び予防を理解することを目標として授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	川端 寛樹
e-mail	kbata@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興感染症学
科目名	ベクター媒介性の新興細菌感染症の現状、発症機序
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	節足動物媒介性の新興感染症の現状、発症機序を理解し、その制御方法を探る事を目的とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	井上 智
e-mail	sinoue@nih.go.jp
教育研究指導分野	再興感染症学
科目名	動物由来感染症の発生機序とその予防方法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	新興再興感染症における動物由来感染症の発生機序と発生予防の方法について公衆衛生の視点から獣医領域からのアプローチとその役割について考えてみたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	西條 政幸
e-mail	msaijo@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱および新興ウイルス感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス性出血熱含む新興ウイルス感染症の疫学、病態、診断、予防・治療に関する理解を深めるとともに、その対策について考察するための授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	福士 秀悦
e-mail	fukushi@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	エボラ出血熱、ラッサ熱など、公衆衛生上の脅威となりうるウイルス性出血熱の発生状況を知り、診断法と発生予防対策について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	北嶋 聡
e-mail	satoshi@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品衛生学
科目名	食品、その成分および混入化学物質による毒性
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	食品の安全を確保するための対策がこれまで以上に必要とされてきています。ここでは、食品に由来する様々な化学物質（食品成分および食品添加物、残留農薬、環境汚染物質、マイコトキシンなどの混入化学物質）により誘発される毒性を、より高精度に把握する方策を探ることを目標として授業を行います。
教育内容	食品由来の様々な化学物質に関する実験動物を用いた毒性把握の現状、問題点と対策につきレポートを提出してもらい、この内容についてメールにて質問と意見交換ならびに全受講生によるディスカッションを行います。
評価方法	最終レポートをまとめてもらい、これにより成績評価をおこないます。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	大西 貴弘
e-mail	ohnisi@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品微生物学
科目名	自然免疫と生体防御機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体防御機構における自然免疫の重要性を概説し、病原微生物由来の分子パターンがどのような機構によって認識されるのかを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	朝倉 宏
e-mail	hasakura@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品微生物学
科目名	食品有害細菌の分子疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品を介して感染する細菌性疾病の種類や特徴に関して概説し、病原細菌の特性に応じて開発された分子疫学手法および分子診断法（分子遺伝学的・免疫学的診断法等）について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	佐々木 貴正
e-mail	ysasaki@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食肉衛生学
科目名	食肉における病原細菌の制御
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食肉を汚染する病原細菌の種類、家畜の飼育管理状況及び食肉処理工程を概説し、食肉加工における病原細菌の制御法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	西藤 岳彦
e-mail	taksaito@affrc.go.jp
教育研究指導分野	獣医微生物学
科目名	ウイルス性人獣共通感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症のうち、ウイルスに起因するものに焦点を合わせて、自然界での存在様式、伝播機序、人および動物宿主における病原性などに関する理解を深めることを目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	高松 大輔
e-mail	p1013dt@affrc.go.jp
教育研究指導分野	獣医微生物学
科目名	グラム陽性球菌による細菌感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	グラム陽性球菌による感染症、特に豚レンサ球菌症やミツバチの腐蛆病について、発生状況や発病機序を概説し、病原体の特性や進化についても説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	真瀬 昌司
e-mail	masema@affrc.go.jp
教育研究指導分野	家畜衛生学
科目名	鳥ウイルス性疾病の疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	鳥インフルエンザを含むウイルスに起因する鳥類の疾病の種類や特徴に関して概説し、原因となるウイルスの病原性および疫学について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	菅野 徹
e-mail	kannot@affrc.go.jp
教育研究指導分野	国際重要伝染病学
科目名	酪農環境下におけるウイルス性疾病
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	大規模酪農環境下において問題となるウイルス性疾病の現状や、それら疾病の防疫を目的としたウイルスの生態及び動態の解析や予防診断技術の開発など起因病原体側からの研究アプローチを紹介することにより臨床ウイルス学の理解を深めることを目標とした授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	筒井 俊之
e-mail	tsutsui@affrc.go.jp
教育研究指導分野	動物感染症疫学
科目名	家畜感染症の流行疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物感染症の流行要因の解析に応用する疫学手法について実例を用いながら概説し、より詳細な分析を行うための統計学的手法について説明する。さらに、動物感染症の流行動態の解析や対策の評価に用いるシミュレーションモデル、発生予防措置を検討するために用いるリスクアセスメントについて説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	佐藤 文夫
e-mail	Fumio_Sato@jra.go.jp
教育研究指導分野	馬生産育成学
科目名	馬の生産および疾病管理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	軽種馬の生産および育成技術の向上を目指して、誕生から競走馬になるまでの 育成期全般における飼養管理方法の改善、新生子学、若馬特有の内科および 外科疾患の診断・治療・予防方法の解明、新たな調教・馴致法の導入に関する 体系的な調査研究の紹介。そこでは、軽種馬の X 線や内視鏡、エコーを用いた 画像診断法や一次診療などの臨床獣医学的なことから、内分泌学、生理学や 行動学的手法を用いた調査研究まで馬に関することを学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより 総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等 について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	桑野 睦敏
e-mail	hoofvet@center.equinst.go.jp
教育研究指導分野	馬蹄病学
科目名	馬の蹄病理学および臨床医学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	スライド写真やビデオ画像などを使い、ウマの特殊な肢端構造である蹄の解剖学および各種蹄病について、解剖学的、病理学的、生化学的および病原微生物学的知見を教育。また、日本の装蹄技術についても紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	大村 一
e-mail	hajime@equinst.go.jp
教育研究指導分野	馬生理学
科目名	馬運動生理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	運動中の呼吸循環応答を概説し、馬の生理学的特徴について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	末水 洋志
e-mail	suemizu@ciea.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	遺伝子改変動物作製の実際とヒト化動物
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	免疫不全マウスにヒト細胞・組織を生着させたヒト化マウスに関して概説し、様々な疾患・病態、あるいは正常生体機能を反映したモデル（免疫・感染症、薬物代謝）について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	橋本 晴夫
e-mail	hashimot@cica.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	実験動物の開発・育成の基礎とモデル動物
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	実験動物の歴史、飼育技術、遺伝子改変技術について概説し、糖尿病を例に糖尿病モデル動物の変遷と現在の 2 型糖尿病モデルマウスについて説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲa)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	林元 展人
e-mail	nobuh@ciea.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	実験動物の品質管理、感染症とそのモデル
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	本科目ではマウス、ラットの感染症を概説するとともに、具体的な微生物学的品質管理（衛生管理、検査手法）について説明する。また、昨今使用されるマウス、ラットを用いた感染症モデルについて説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	北村 延夫
e-mail	kitamura@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	比較組織学
科目名	消化管の構造と制御組織
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	消化管の構造的特徴を食性と関連付けて理解し、それらの機能を調節する自律制御機構の組織学的成り立ちを理解する。消化管内分泌細胞および消化管神経の特徴について形態や含有する化学信号物質等に基づいて詳解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	鈴木 宏志
e-mail	hisuzuki@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	ゲノム機能学
科目名	発生・生殖工学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	発生工学の魅力は、興味ある遺伝子の機能を個体レベルで解析可能にすることにある。培養細胞を用いて血圧の制御にかかわる遺伝子の機能を観察することは困難だが、発生工学は生体の高次機構のなかで遺伝子機能を直接的に解析可能な検定系を提供できる。本授業では、発生工学とそれを支える生殖工学への理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	河津 信一郎
e-mail	skawazu@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	原虫病予防治療学
科目名	分子寄生虫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	「ポストゲノム」の原虫病研究では、遺伝子改変（トランスジェニック）技術を応用して、原虫ゲノムのリソースから真に有用な遺伝子を選別する研究手法が重要になると考える。このセミナーでは、トランスジェニック原虫の作製方法と、そのゲノム機能解析研究への応用法を理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	石井 利明
e-mail	ishii@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	神経薬理学
科目名	離乳と脳高次機能
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	離乳期に顕彰する自給本能発現における脳神経機構を解説し、動物行動を調節する脳高次機能の適応や発達の理解を深める。特に、離乳時の「固執」の変化は、動物行動と脳神経活動の因果関係や脳高次機能と心理学的発達の接点を理解する上で最適な題材となる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	古岡 秀文
e-mail	furuoka@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	病態病理学
科目名	感染病理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	BSE やスクレイピーを含むプリオン病、ヘルペスウイルスをはじめとする神経系ウイルス感染症や Lawsonia をはじめとする消化管細菌感染症にみられる病態の特徴と病理学的診断法、ならびにこれら感染症にみられる宿主免疫について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	倉園 久生
e-mail	hkurazon@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	蛋白毒素科学
科目名	細菌感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ある種の病原細菌は、蛋白毒素を産生して種々の病態を惹起する。現在までに病原細菌の産生する蛋白毒素が数多く報告され、あるものについてはその詳細な作用機作が分かっている。本授業では、細菌感染症を引き起こす病原細菌の産生する蛋白毒素の作用機作について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	猪熊 壽
e-mail	inokuma@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物内科学
科目名	大動物感染症の診断、治療および予防
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	大動物内科学において問題となる牛白血病などの難診断疾患、およびリケッチア、原虫などの人獣共通新興感染症を含む大動物の感染症について、その診断、治療および予防に関するアプローチの方法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	宮原 和郎
e-mail	miyahara@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	臨床病理学
科目名	臨床病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	画像診断法 (X線透視診断、X線撮影診断、超音波診断など) を主体とした臨床病理学的診断方法による、産業動物、特に乳牛における消化器疾患、循環器疾患および運動器疾患の病態について、実際の臨床例を題材としてその診断過程を基に理解させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	佐々木 基樹
e-mail	sasakim@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	比較組織学
科目名	分化、発達にともなう生殖器の機能形態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	胎子期から成熟個体までの脊椎動物の生殖器の分化、発達にともなう形態学的変化と、それにともなう生理学的機能の変化を把握することによってその相互関係を理解する。さらに、視床下部、下垂体の生殖器に対する調節機構や母体と胎子間の相互作用の理解も視野に入れる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	五十嵐 慎
e-mail	makoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	耐病性遺伝子工学
科目名	原虫の宿主感染機構と免疫応答
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	トキソプラズマ原虫に対するワクチン開発、およびシスト形成の分子機構の解明を主テーマとする。細胞内寄生原虫感染における基礎的な免疫機構および一般的な分子生物学の知識を身につける。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	横山 直明
e-mail	yokoyama@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	原虫病高度診断学
科目名	赤血球内寄生性原虫病学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	赤血球内に寄生する病原性原虫（バベシア原虫やタイレリア原虫）に対して、現在までに有効な予防法は確立されていない。確立の糸口として"どのようなタイプの原虫が、どのように増殖し、どのようにして宿主に病気を引き起こすのかを正しく理解することが重要となる。この科目では、赤血球内寄生性原虫による最新の関連知見を紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	小川 晴子
e-mail	hogawa@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	家禽疫病学
科目名	家禽のウイルス感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	鳥インフルエンザやニューカッスル病等の家禽に重篤な疾病を引き起こすウイルスについて概説し、自然界におけるそれらウイルスの進化と引き起こされる疾病の制御法について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	古林 与志安
e-mail	kyoshi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	運動器病理学
科目名	ウイルス関連腫瘍の病態と診断
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス関連腫瘍について病態を概説するとともに、それら疾患に対する診断法を含めた最新知見について、より深い知識が拡充できるように講義する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	松井 基純
e-mail	mmatsui@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	繁殖障害診断治療学
科目名	牛および馬における繁殖障害の病態生理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜の生産性に大きな影響を与える牛および馬の繁殖機能障害について、病態生理とその対策を学ぶ。特に、繁殖生理の要である内分泌学的視点に加え、近年、重要視されている栄養や快適性などの飼養環境要因についても、最新の研究成果を学び、課題を掘り起こす。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	福本 晋也
e-mail	fukumoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	ベクター生物学
科目名	寄生虫生態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	節足動物によって媒介されるフィラリアやマラリア等の寄生虫感染症を対象として、ベクターと宿主の体内における寄生体の複雑かつ巧妙なライフサイクルを分子遺伝学的観点から概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	大石 明広
e-mail	aoishi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物外科学
科目名	イヌの腎性貧血の病態生理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	このセミナーでは、エリスロポエチン産生性の問題、赤血球寿命の問題、および出血・失血の問題について行われてきている研究について学び、腎性貧血病態への理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-Learning システムにて行う。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	松本 高太郎
e-mail	kmatsumoto@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	大動物内科学
科目名	マダニ媒介性疾患へのアプローチ
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症であるリケッチア症やエーリキア症、原虫性疾患などのマダニ媒介性疾患について、その診断および治療、周辺環境の調査法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	加藤 健太郎
e-mail	kkato@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	地球規模感染症学
科目名	分子感染症学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症を含めた原虫、ウイルス感染症において、原因となる病原体が如何にして宿主細胞に侵入・感染し、どの様にして宿主細胞内で増殖するのかという命題について、その分子機構を概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	南保 泰雄
e-mail	ynambo@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	馬繁殖学
科目名	馬の生殖内分泌
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	写真やビデオ画像などを使用し、馬の生産現場で行われている臨床繁殖診療について、種々の発情検査、交配適期の選択、妊娠鑑定、分娩管理法、分娩後初回発情などの一般診療から、カラードプラ超音波診断による画像診断、ホルモン測定による生殖内分泌検査方法などの研究まで、授業を行う。また、日本のサラブレッド生産育成について紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	石川 透
e-mail	torui@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	免疫生理学
科目名	上皮膜輸送
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	上皮細胞は体液コンパートメント間の水や電解質の交換に重要な役割を果たしている。このような分子の上皮膜輸送は多種多様なイオン輸送タンパク機能とその統合により可能となる。この科目では上皮細胞に機能発現するイオンチャンネル、トランスポーター、ポンプの構造機能連関および細胞内調節機構について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIIb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	室井 喜景
e-mail	muroi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	行動神経科学
科目名	本能行動を制御する神経機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の本能は様々な行動を通して表現される。例を挙げながら中枢神経系による本能行動の制御機構を概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	帯広畜産大学
担当教員名	山岸 則夫
e-mail	yamagishi@obihiro.ac.jp
教育研究指導分野	牛病学
科目名	牛疾患の病態と診断・治療法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	牛の代謝性疾患や各種外科疾患に関して、最新研究報告を交えて説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山本 欣郎
e-mail	yyoshio@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞システム学
科目名	感覚神経の信号伝達
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感覚神経の信号伝達経路について概説し、嗅覚、味覚、聴覚、固有感覚の特徴について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	板垣 匡
e-mail	itagaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	寄生虫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	寄生虫には多様な種があるが、それらは生命の誕生から繰り広げられてきた寄生虫と宿主の相互関係や相克の結果として進化し形成された。寄生虫種が持つ形態や生態、宿主特異性などの生物学的特徴と進化の関連を考察し、寄生虫生物学を理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	宇塚 雄次
e-mail	ujiiwa@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物臨床外科学
科目名	小動物臨床放射線学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	日々進化する伴侶動物医療において、外科的な診断・処置法について、とくに麻酔や断層撮影に関する造詣を深める。具体的には、各種麻酔薬の生体に対するさまざまな影響や、外科的疾患、とくに神経学的疾患に対する断層撮影の活用法についての授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 繁
e-mail	sshigeru@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	代謝病学
科目名	獣医内科学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	乳牛の周産期疾病、特に分娩前後にみられる乳熱などの低カルシウム (C a) 血症関連疾病およびケトosisや脂肪肝などの負のエネルギーバランス (N E B) 関連疾病の発生要因、病態および防除について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 れえ子
e-mail	reekos@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物病態内科学
科目名	鉄結合蛋白ラクトフェリンの免疫調節作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	免疫不全症に伴う慢性炎症のメカニズムについて、生体内における好中球機能ならびにリンパ球機能変動の観点から免疫学的に学ぶとともに、実際の臨床例における分析結果についても考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	中牟田 信明
e-mail	nakamuta@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経解剖学
科目名	脊椎動物嗅覚系の形態学的側面
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	様々な動物における嗅覚器と嗅球の形態等について、最新の論文を紹介しながら解説し、鋤鼻系を含む嗅覚系の理解と新しい研究課題の発掘を目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	木崎 景一郎
e-mail	kizaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞生理学
科目名	着床, 胎盤形成および血管新生の生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	着床および胎盤形成について概説し、これらの現象の成立に必須な子宮内膜細胞と栄養膜細胞の相互作用、分化機構、及び血管新生について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山田 美鈴
e-mail	yomisuzu@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞システム学
科目名	生体内ホメオスタシス維持機構論
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生物は外的環境を感知し、その変化に柔軟に対応するホメオスタシス機構を備えている。本科目では、各自でホメオスタシス維持機構に関するテーマを設定し、研究の背景・実験方等を発表やレポートとしてまとめ、議論することで理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 至
e-mail	satoital@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	環境衛生学
科目名	放射線の研究利用と防護
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	研究推進のための有力なツールである放射線・放射性同位元素の様々な利用方法について解説するとともに、その管理の特殊性や防護理論を教授することにより、放射線・放射性同位元素の安全かつ有効な研究利用について習得させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	岡田 啓司
e-mail	keiji@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	生産獣医療学
科目名	生産獣医療学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	牛の生産獣医療学は、食の安全、動物福祉、畜産と環境を含む分野である。私たちの牛群管理は、反芻獣栄養学と護蹄管理を中基礎としている。それらをもとに、動物福祉を配慮した生産性向上の方策を探る。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	古市 達哉
e-mail	furuichi@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	モデル動物学
科目名	モデル動物を用いた疾患の病態解析
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	疾患モデル動物の作製方法、および疾患モデル動物を用いた病態解析法について解説する。基礎研究および創薬研究におけるモデル動物の重要性を解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	村上 賢二
e-mail	muraken@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	病原微生物学
科目名	獣医微生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物感染症の制御のために、病原体の病原性のメカニズムについて、さらに感染症の予防、診断、治療法を学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	片山 泰章
e-mail	masaaki@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	機能再建外科学
科目名	小動物臓器移植学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	猫の末期腎不全に対する根治的治療法である腎移植についての最新情報を移植免疫、免疫抑制法、手術技術および臓器保存の点から解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	高橋 透
e-mail	tatoru@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	繁殖機能制御学
科目名	獣医臨床繁殖学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	臨床繁殖学における診断?治療に関して、これを生理学および管理学的な視点から概説した上で、多様な繁殖障害に対する診断法や、生殖機能の人為的制御に基づく繁殖管理技術について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	落合 謙爾
e-mail	kochiai@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	組織病理学
科目名	獣医病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物のさまざまな疾患の病態解析
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	山崎 真大
e-mail	masayama@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物病態内科学
科目名	応用獣医血液学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬・猫の持つ、細胞内が低カリウム濃度となっている赤血球についてその生化学的特徴を解説し、それらを応用した研究について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	高橋 正弘
e-mail	takamasa@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	大動物診断治療学
科目名	牛の胚移植の応用について
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	最近、海外でも和牛が注目されていますが、胚移植を活用した和牛の生産は農家の経営に役立つ技術であります。そこで、脂肪酸分析と胚品質の関係、リピーブリーダーへの活用など牛胚移植の新しい繁殖技術に関して説明します。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	佐藤 洋
e-mail	satohsss@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	毒性薬理学
科目名	抗がん剤の薬理学的・毒性学的特性
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	抗がん剤の薬効機序とそれに起因した毒性作用に関して概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	彦野 弘一
e-mail	hhikono@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医免疫学
科目名	感染症の免疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	この科目は博士課程の学生に、感染とワクチネーションに対する免疫応答についての広い理解と、それを動物における感染症の研究、制圧、予防へ応用する能力を与える。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	大沼 俊名
e-mail	oonumat@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	細胞生理学
科目名	血管新生制御の分子機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	腫瘍の進展や炎症時におこる血管新生について概説し、その具体的な解析方法について、各種の遺伝子組換え動物を使用したアプローチを中心に詳細な説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	福井 大祐
e-mail	dfukui@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	動物園動物・野生動物医学
科目名	保全医学概論
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人と動物の健康、そして地球上に存在するすべての生命体の基盤となる生態系の健全性は、互いにつながりを有しており、それらを維持・回復するには、「生物多様性保全」および「人と動物の共存」が重要な課題となる。この One Health を実現するための保全医学のアプローチについて、その概要を身近な野生動物問題を例示して解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	一條 俊浩
e-mail	ichijo@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	生産獣医療学
科目名	産業動物における臨床診断、治療および予後の関する診断法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生産獣医療の種類と特徴について概説するとともに、産業動物における臨床診断を中心に、効果的な治療および予後診断にいたるまでのプロセスを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	寺嶋 淳
e-mail	
教育研究指導分野	衛生微生物学
科目名	食品媒介細菌感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品を介する細菌感染症について、起因菌の細菌学的性状及び病原性発現機序とともに分子遺伝学的手法に基づく診断法などを説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岩手大学
担当教員名	星野 有希
e-mail	yhoshino@iwate-u.ac.jp
教育研究指導分野	軟部組織外科学
科目名	伴侶動物の腫瘍性疾患に対する新規治療法の開発
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	伴侶動物の腫瘍性疾患について概説し、その病態発生から適応される新規治療法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	渡辺 元
e-mail	gen@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	生殖生理学
科目名	生殖の比較生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	卵や精子形成の調節における性腺と生殖中枢の関係について解説する。また、実験動物、家畜、家禽、野生動物など種々の動物の研究例を紹介しながら、生殖機能の内分泌学的調節メカニズムについて解説し、生理学的解析の進め方についても理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	白井 淳資
e-mail	jshirai@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医伝染病学
科目名	獣医伝染病学特論
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	学部の伝染病学の講義で行う内容をより詳しく、また学術的観点から深探求し、重要な家畜感染症を解説して行く。また人類にとって驚異となる感染症(人獣共通感染症を含む)について概要、疫学、病因および日本人が感染する可能性などについて解説し、それぞれの疾病に対しこれからどう取り組むかについてディスカッションを行う。今まで海外で行った感染症に関する研究を海外の研究施設も含め紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	藤川 浩
e-mail	fujik@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	食品安全管理学
科目名	食品の微生物学的安全性確保
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	有害微生物による食品の安全性を予防するため、微生物管理、すなわち微生物の汚染防止、殺菌、増殖抑制が非常に重要である。本講義では食品の微生物管理における基礎および応用についての理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	町田 登
e-mail	machida@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	腫瘍臨床病理学
科目名	小動物の腫瘍性疾患の細胞診断学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬および猫に発生する各種腫瘍性疾患の細胞診断について方法論と判読法を習得することを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	柴田 秀史
e-mail	shibata@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	比較解剖学
科目名	大脳辺縁系の神経解剖学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	中枢神経の構造の概略を説明した後、動物が生きていく上で必須の機能である記憶や学習といった高次神経機能の基盤となる Papez 回路を中心とした大脳辺縁系の神経解剖学を解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	佐々木 一昭
e-mail	skazuaki@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	臨床薬理学
科目名	薬物動態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	薬物動態学の基礎となる理論と薬物分析に関する方法論を講義する。薬物の吸収、分布、代謝、排泄という薬物動態学の基礎を学び、臨床への応用を考える。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	渋谷 淳
e-mail	mshibuta@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	毒性病理学
科目名	発達期神経毒性学、発がん
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	化学物質による発癌メカニズムの探究や神経発達に対する影響とその分子標的の解明などに関して、形態学に根ざした分子解析アプローチの可能性、アプリケーションの限界、得られた結果の解釈や応用性等について学び、個々の実験解析に活かせるようにする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	谷口 隆秀
e-mail	taniguti@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	感染防御学
科目名	ウイルス感染症における免疫反応と病態形成機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス感染症では、宿主側の様々な要因によって多様な病態が形成される。感染によって引き起こされる免疫応答が必ずしも宿主に有利に働くとは限らない。本講義では宿主の生体防御機構とウイルス感染症における病態形成の関係について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	佐藤 俊幸
e-mail	tsatoh@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	行動生物学
科目名	動物の行動形質の進化的理解：血縁選択と性選択
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	獣医学分野ではあまりとりあげられない、行動の適応的意義を、進化的観点から解説する。とくに血縁者どうしの協力的行動の進化（血縁選択）、メスの選り好みによるオスの一見非適応的な形質の進化（性選択）など、包括適応度の概念を導入しないと理解できない現象の解説を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	林谷 秀樹
e-mail	eisei@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医疫学
科目名	疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	疫学、特に感染症の疫学および臨床疫学に焦点を当て、その理論と応用について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	西藤 公司
e-mail	kojimail@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医皮膚科学
科目名	皮膚バリア機構の破綻による哺乳動物の皮膚疾患
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	皮膚バリア機構の破綻が関与すると考えられている哺乳動物の皮膚疾患(天疱瘡、膿痂疹、アトピー性皮膚炎など)を題材とし、バリア機構の破綻に関連する分子機構と病態との関連について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	田中 綾
e-mail	ryoryo@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	獣医循環器病学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	各種心機能検査による心疾患の病態評価と各病態に対する治療戦略について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	田中 知己
e-mail	tomomit@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜不妊症防除学
科目名	繁殖機能の中枢制御機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	反芻家畜の繁殖を調節している中枢機構に関して最近の知見を紹介し、家畜の繁殖が促進または障害される際のメカニズムを考えていく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	竹原 一明
e-mail	takehara@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医衛生学
科目名	感染症制御法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス性・細菌性感染症の病原体の自然界での生態について概説し、どのようにそれら病原体の侵入を制御したり、殺滅させたりできるかについて、戦略を説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	清水 美希
e-mail	mshimizu@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	酸化ストレスと疾患
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体内の酸化還元状態や生体内メチル化反応の変化を調べることにより、各種疾患の病態発現機序を解明する。特に、加齢性変化といわれている脳疾患や心血管疾患について検討する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	岸本 海織
e-mail	miori@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験外科学
科目名	放射線診断学および放射線防護
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	獣医学領域における放射線診断学の歴史と先端技術について説明する。また、放射線の安全な取扱いに必須となる放射線防護について、各自が現場で適切な防護方法を考え出せるレベルの知識の習得を目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	鈴木 和彦
e-mail	kzsuzuki@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	毒性病理学
科目名	線維化とがんの発症機序
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	化学物質による組織傷害によって惹起される線維化およびがんの発症機序への関与が示唆されている因子群についての多角的な解析およびそれらの結果に基づいた考察の仕方について学び、個々の実験へ活用できることを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	福島 隆治
e-mail	ryu-ji@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	小動物診断治療学
科目名	犬猫における超音波診断学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	従来からの犬猫の超音波診断法に加え、新規の適応と技術について学ぶ。 また、その習得することを目指す。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	水谷 哲也
e-mail	tmizutan@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜感染症学
科目名	ウイルスの網羅的解析
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	既知のウイルスについてはすでに検査方法が確立しているが、未知のウイルスの核酸配列については全く情報がないので検出することが難しい。家畜感染症の分野において、最新の核酸を増幅する技術を駆使した、ウイルスの迅速・網羅的な検出方法を理解することを目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	石原 加奈子
e-mail	kanako-i@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	食品安全管理学
科目名	分子疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品媒介性感染症やその他の感染症における分子疫学及び疫学解析の手法やその応用を学び、感染症の制御についてディスカッションを行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	古谷 哲也
e-mail	furuyat@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	病原感染因子学
科目名	感染因子と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルスや原虫の動物やヒトへの感染においては、宿主細胞への侵入や細胞内感染の維持のため、寄生体と宿主の相互作用が必須であるが、この相互作用を研究することによって、疾病の治療や感染の予防に応用することができる。本講義では、この宿主・寄生体相互作用についての最新の知見を紹介し、学生の研究の発展にどのように生かしていくことができるかをディスカッションする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	大松 勉
e-mail	tomatsu@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	家畜感染症学
科目名	獣医経済学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜感染症の発生は甚大な損失を社会全体にもたらすことから、感染症防疫にかかわる人材も経済学的視点を身に付けることが重要である。本講義ではその基礎となる経済学について理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	井手 香織
e-mail	k-ide@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	獣医皮膚科学
科目名	上皮向性リンパ腫-ヒトと犬での比較-
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	主に皮膚や粘膜に病巣をつくり、治療が困難である上皮向性リンパ腫について、小動物のみならずヒトも含めた特徴・病態を説明し、動物種間における類似点や異なる点を比較検討する。そして最新の病態解析研究をもとに、犬の上皮向性リンパ腫について今後どのようなアプローチで研究を進めていけるのかをディスカッションする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	吉田 敏則
e-mail	yoshida7@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	実験病理学
科目名	分子器官病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	慢性疾患の分子病理学的特徴ならびに発生機序について学び、動物の疾病とヒトの疾病との共通性、病理発生における外因（感染症や化学物質暴露など）と内因（遺伝子変異や代謝異常など）との相互作用、疾患モデル動物を用いた治療標的分子の探索などにも目を向け、動物からヒトへより幅の広い角度から病気の成り立ちについて理解を深める。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	打出 毅
e-mail	uchide@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	分子診断治療学
科目名	獣医内科学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人と伴侶動物で共通して認められる疾患について、分子的類似性を基盤とした新しい診断法、治療法について概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	永岡 謙太郎
e-mail	nagaokak@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	分子生理学
科目名	アミノ酸代謝と生体機能
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体におけるアミノ酸の有用性や代謝経路について概説し、様々ま表現系を有するアミノ酸代謝酵素欠損マウスについて研究概要を説明するとともに、用いられている実験技術について理解させる。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	東京農工大学
担当教員名	小山 哲史
e-mail	skoyama@cc.tuat.ac.jp
教育研究指導分野	行動生物学
科目名	行動生態学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の一般的な行動原理を概説し、それぞれの動物およびその動物の行動の特性に応じた適応度上のコストと利益について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	阿閉 泰郎
e-mail	atozi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	脳形態学
科目名	哺乳類および鳥類の比較神経解剖学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	次の項目について講義および討論を行う。 1. 神経解剖学の研究方法 2. 神経組織の基本知識 3. 感覚系（嗅覚、視覚、聴覚、体性感覚）の哺乳類と鳥類との相違 4. 辺縁系の哺乳類と鳥類での違い 5. 高次機構の違い
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	志水 泰武
e-mail	yshimizu@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経生理学
科目名	恒常性を維持するための神経内分泌系
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	提示し課題に対して提出されたレポートを題材とし、討論しながら、データの取り扱い方を教授する。また論文を作成する過程で必要となる考察力の育成を目指す。
教育内容	e-learning システムを使って、提示された実験データをどのように活用して結論を導くべきか討論する。また、仮説を立て、その仮説を立証するためにどのような実験を組むべきか思考する。知識の提供ではなく、思考力の育成を目指す。
評価方法	受講状況と課題ごとに提出されるレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 e-learning システムで授業を実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	海野 年弘
e-mail	tunno@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	内因性物質薬理学
科目名	細胞膜の受容体とイオンチャネルの異常に基づく疾患
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	細胞膜の受容体やイオンチャネルの異常に基づく疾患について、その疾患の病態発現機構を分子レベルで概説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。 E-learning システムで授業を実施する。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	柳井 徳磨
e-mail	yanai@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	比較病理学
科目名	野生および動物園動物病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。また、得られた成果をアジアにおける保全医学関連の国際学会で発表し、他の研究者と情報を共有し、国際的な学会活動に対する発表および討議能力を身につける。
教育内容	保全医学の一環として、環境、野生動物および人類の健康状態の病理学的側面を研究し、環境の異常に対して警鐘を鳴らす。環境の変化を知るための基礎的な研究、具体的には、野生動物の中毒、感染症および大量死などの現象を解明、さらに野生動物と人の間の共通感染症の病理発生を研究する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	福士 秀人
e-mail	hfukushi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	分子感染症学
科目名	ウイルス病原性発現機構の分子生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルスの病原性発現機構の解明は感染症制御の基礎である。この授業ではウイルスゲノムを標的として病原性発現機構を解明する手法について原理および応用に関して学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	杉山 誠
e-mail	sugiyama@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	人獣共通感染症学
科目名	ウイルス性人獣共通感染症と社会
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	研究者は社会的な位置づけを一層意識する必要がある。社会（一般人）とのコミュニケーション能力がますます重要になる。この授業では、ウイルス性人獣共通感染症をテーマに、一般人に科学的な情報をどのように伝達したら良いかについて考えたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	鈴木 正嗣
e-mail	mszk@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	野生動物保護管理学
科目名	野生動物管理のための獣医学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	イノシシやシカなどで確認されている急速な生息数増加は農林業被害や植生破壊の原因となっている。個体群管理は、これを解決するための有効なツールとされている。本セミナーは、個体群管理を適性に遂行するための基礎研究や手法について教示する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	鬼頭 克也
e-mail	k-kitoh@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	住血寄生虫症の病態発生と診断、治療法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	犬と猫の住血寄生虫を原因とする疾患を対象に、宿主-寄生体関係を主とした病態発生、診断、治療について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	山添 和明
e-mail	yamazoe@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物外科学
科目名	創傷治癒と湿潤療法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	現在、人医療では消毒薬とガーゼによる治療法から湿潤環境を維持する治療法へと変化しつつある。本授業では創傷治癒の基本原則を理解し、獣医療でも導入されつつある湿潤療法を症例を交えて紹介し、その適用について考えたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	前田 貞俊
e-mail	sadat@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床免疫学
科目名	動物の免疫介在性疾患における分子病態の解明
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	イヌおよびネコのアレルギー性疾患の臨床的特徴について概説した後、今日における診断および治療に関する問題点を明らかにする。さらに、アレルギー学および免疫生物学に関する論文の critical reading を通して比較免疫学の概念に関する理解を深め、獣医アレルギー学研究者が進むべき方向について議論していく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	椎名 貴彦
e-mail	tshiina@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経生理学
科目名	消化管の病態生理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食道や胃、小腸、大腸の運動は、脳・脊髄に由来する外来神経系と、消化管内部に存在する内在神経系によって制御されている。神経系による消化管運動の調節機構には、アセチルコリンや一酸化窒素をはじめ、様々な神経伝達物質が関与している。神経伝達物質の作用が十分に発揮されない、あるいは過剰に反応してしまうことにより、下痢や便秘などの、消化器異常が引き起こされると考えられている。本セミナーでは、学術論文を教材として、消化管ごとの神経支配の違いや、神経の分布様式、消化管運動の制御メカニズムなどを理解するとともに、それらと消
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	酒井 洋樹
e-mail	shiroki@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	腫瘍病理学
科目名	比較腫瘍病理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	医学および獣医学の最新論文を精読することによって、人間、犬および猫の腫瘍性疾患について比較検討し、比較腫瘍学の中での獣医腫瘍病理学の有用性を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大屋 賢司
e-mail	kohya@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	分子感染症学
科目名	細胞内寄生病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	病原微生物（特に細胞内寄生細菌）と宿主の相互作用から感染成立・発症に至るまでの過程を、細胞微生物学的側面から理解し、自身の研究活動に生かすことを目的とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	伊藤 直人
e-mail	naotoito@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	人獣共通感染症学
科目名	ウイルス性人獣共通病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	多くのウイルスは特定の宿主動物と共に進化し、長い時間をかけて共生関係を築いている。しかし、共存関係にない動物に感染すると、強い病原性を示す場合が少なくない。それは一体なぜだろうか？本講義では、分子レベルならびに進化というマクロな視点からウイルス-宿主（細胞）の相互作用について解説する。さらに、これらの相互作用の理解を通じて、人獣共通感染症の制御について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	浅野 玄
e-mail	asanojr@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	野生動物保護管理学
科目名	侵略的外来哺乳類の管理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	わが国における生物多様性の劣化の一因として外来種による固有生態系への侵略があげられている。セミナーでは移入哺乳類の個体群管理法の実例を学び、個体群動態学的指標としてもっとも重要な年齢査定法について実験も行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	猪島 康雄
e-mail	inoshima@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	感染症診断学
科目名	ウイルス感染症の診断と対策
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	産業動物や野生動物のウイルス感染症発生例をもとに現在の診断法とその問題点などについて学ぶ。飼養・出荷形態や流通経路、生息環境や行動特性などの理解した上で、感染症制御のための現実的な対策について考察する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大場 恵典
e-mail	ohba@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	産業動物臨床学
科目名	動物の遺伝性疾患の解析
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物の遺伝性疾患について概説する。とくに原因遺伝子の同定方法および遺伝子診断法の確立について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	高島 康弘
e-mail	atakashi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医寄生虫病学
科目名	病原体と宿主の相互作用
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感染症、およびそれに関連する領域（アレルギー、疫学、基礎免疫学）の論文のうち世界的に高い評価を受けたものを読み討議することで寄生者と宿主の関係を理解する。また討議の過程で戦略的な研究の進め方について理解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	渡邊 一弘
e-mail	nabechan@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物外科学
科目名	小動物歯科口腔外科
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物の歯科・口腔外科を概説します。さらに、人の歯科治療法と比較することによって小動物における最良の歯科治療法を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	森 崇
e-mail	tmori@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床腫瘍学
科目名	獣医臨床腫瘍学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	腫瘍性疾患は、小動物に限らず人においてもいまだ様々な問題が山積している。どのような点が問題となっているか実際の臨床現場に触れていただいた上で、問題解決はどこまで進んでいるのか、またどのようなアプローチで研究が進められているのかについて理解することを目的としている。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	村瀬 哲磨
e-mail	muraset@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床繁殖学
科目名	哺乳動物精子の受精能力発現
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	家畜を含む哺乳動物の受精において精子は鞭毛の超活性化運動、受精能獲得および先体反応（膜融合）を起こす。これらの現象が起きなければ受精できないことから、反応を調節する機構は不妊症の原因解明あるいは避妊のターゲットとなる。これらの分子機構に関する論文を読み本セミナーでは考察をしたいと思う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	齋藤 正一郎
e-mail	shouichi@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	神経組織学
科目名	形態学における分子生物学的手法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	近年、科学技術の進歩により、組織切片上におけるタンパク質の検出限界は向上し、また易分解性である mRNA も検出できるようになった。しかしながら、その研究手技の原理、および一般的に”そうしなさい”とされている手技の理由を熟知しなければ、個々人の研究分野に適した独自の手技を確立することは難しい。本授業では、形態学的研究に利用されている分子生物学的手法 (in situ hybridization および免疫組織化学) についての原理と応用について討論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	高須 正規
e-mail	takasu@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	臨床繁殖学
科目名	絶滅危惧種の保全戦略
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	種の保全を目的とした繁殖技術に関して概説し、この技術を用いた保全戦略を議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	神志那 弘明
e-mail	kamicna@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医臨床神経病学
科目名	小動物の神経病学と画像診断学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物に認められる神経疾患の概要とそれらの画像診断技術について解説する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7331b
連合講座	病態獣医学
授業科目	病態獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	松山 勇人
e-mail	mhayato@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	内因性物質薬理学
科目名	平滑筋の受容体およびイオンチャネルの役割
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	平滑筋の受容体やイオンチャネルについて理解を深めるとともに、病態における役割について考察する。授業では各自が国際雑誌に投稿されている最近の科学論文を詳解する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	西飯 直仁
e-mail	nishii@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	小動物内科学
科目名	小動物の内分泌代謝性疾患の病態生理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	小動物の内分泌代謝性疾患について、病態生理、診断および治療法について解説する。また獣医内分泌学における問題点を見出し、その解決策について議論する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	浅井 鉄夫
e-mail	tasai@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	動物感染症制御学
科目名	感染症における抗菌剤治療および耐性菌
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	感染症の原因菌における耐性獲得は重要な問題となっている。動物医療における薬剤耐性菌の出現防止に、獣医師は責任を持って取り組まなければならない。耐性菌に関する科学的知見に基づいて、抗菌剤の選択や使用方法について考えていく。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	柴田 早苗
e-mail	shiba211@gifu-u.ac.jp
教育研究指導分野	獣医麻酔学
科目名	獣医麻酔学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物病院での診療などを通して、動物実験の際に必要な麻酔科学の知識を得る。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	岐阜大学
担当教員名	大西 真
e-mail	ohnishi7@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興感染症学
科目名	獣医微生物学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症、特に新興・再興細菌感染症に焦点をあてて、病原体の特徴に関して概説し、病原体の特性に応じて開発された分子診断法、分子疫学解析法について説明する。また、比較ゲノム解析学的視点により病原細菌の進化過程とその多様性形成機構について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	森川 茂
e-mail	morikawa@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱の疫学、診断、予防
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	平成 19 年 6 月に改正、施行された感染症法により、1 類感染症に分類されるウイルス性出血熱や 2 類感染症に分類される SARS 等の重篤な人獣共通感染症の原因ウイルスの保有、実験に関しても法的に規制されることになった。国内では 1 類感染症で輸入症例が確認されているのはラッサ熱 1 例のみだが、欧州では輸入症例が多発している。これらの重篤な人獣共通感染症についての疫学・診断及び予防を理解することを目標として授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	川端 寛樹
e-mail	kbata@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興感染症学
科目名	ベクター媒介性の新興細菌感染症の現状、発症機序
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	節足動物媒介性の新興感染症の現状、発症機序を理解し、その制御方法を探る事を目的とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	井上 智
e-mail	sinoue@nih.go.jp
教育研究指導分野	再興感染症学
科目名	動物由来感染症の発生機序とその予防方法
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	新興再興感染症における動物由来感染症の発生機序と発生予防の方法について公衆衛生の視点から獣医領域からのアプローチとその役割について考えてみたい。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	西條 政幸
e-mail	msaijo@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱および新興ウイルス感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	ウイルス性出血熱含む新興ウイルス感染症の疫学、病態、診断、予防・治療に関する理解を深めるとともに、その対策について考察するための授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	国立感染症研究所
担当教員名	福士 秀悦
e-mail	fukushi@nih.go.jp
教育研究指導分野	新興ウイルス学
科目名	ウイルス性出血熱
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	エボラ出血熱、ラッサ熱など、公衆衛生上の脅威となりうるウイルス性出血熱の発生状況を知り、診断法と発生予防対策について学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	北嶋 聡
e-mail	satoshi@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品衛生学
科目名	食品、その成分および混入化学物質による毒性
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	<p>食品の安全を確保するための対策がこれまで以上に必要とされてきています。ここでは、食品に由来する様々な化学物質（食品成分および食品添加物、残留農薬、環境汚染物質、マイコトキシンなどの混入化学物質）により誘発される毒性を、より高精度に把握する方策を探ることを目標として授業を行います。</p>
教育内容	<p>食品由来の様々な化学物質に関する実験動物を用いた毒性把握の現状、問題点と対策につきレポートを提出してもらい、この内容についてメールにて質問と意見交換ならびに全受講生によるディスカッションを行います。</p>
評価方法	<p>最終レポートをまとめてもらい、これにより成績評価をおこないます。</p>
備考	<p>指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。</p>

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	大西 貴弘
e-mail	ohnisi@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品微生物学
科目名	自然免疫と生体防御機構
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	生体防御機構における自然免疫の重要性を概説し、病原微生物由来の分子パターンがどのような機構によって認識されるのか説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (IIIb)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	朝倉 宏
e-mail	hasakura@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食品微生物学
科目名	食品有害細菌の分子疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食品を介して感染する細菌性疾病の種類や特徴に関して概説し、病原細菌の特性に応じて開発された分子疫学手法および分子診断法（分子遺伝学的・免疫学的診断法等）について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	国立医薬品食品衛生研究所
担当教員名	佐々木 貴正
e-mail	ysasaki@nihs.go.jp
教育研究指導分野	食肉衛生学
科目名	食肉における病原細菌の制御
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	食肉を汚染する病原細菌の種類、家畜の飼育管理状況及び食肉処理工程を概説し、食肉加工における病原細菌の制御法について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	西藤 岳彦
e-mail	taksaito@affrc.go.jp
教育研究指導分野	獣医微生物学
科目名	ウイルス性人獣共通感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	人獣共通感染症のうち、ウイルスに起因するものに焦点を合わせて、自然界での存在様式、伝播機序、人および動物宿主における病原性などに関する理解を深めることを目標とする。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	高松 大輔
e-mail	p1013dt@affrc.go.jp
教育研究指導分野	獣医微生物学
科目名	グラム陽性球菌による細菌感染症
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	グラム陽性球菌による感染症、特に豚レンサ球菌症やミツバチの腐蛆病について、発生状況や発病機序を概説し、病原体の特性や進化についても説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	真瀬 昌司
e-mail	masema@affrc.go.jp
教育研究指導分野	家畜衛生学
科目名	鳥ウイルス性疾病の疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	鳥インフルエンザを含むウイルスに起因する鳥類の疾病の種類や特徴に関して概説し、原因となるウイルスの病原性および疫学について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	菅野 徹
e-mail	kannot@affrc.go.jp
教育研究指導分野	国際重要伝染病学
科目名	酪農環境下におけるウイルス性疾病
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	大規模酪農環境下において問題となるウイルス性疾病の現状や、それら疾病の防疫を目的としたウイルスの生態及び動態の解析や予防診断技術の開発など起因病原体側からの研究アプローチを紹介することにより臨床ウイルス学の理解を深めることを目標とした授業を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7531b
連合講座	応用獣医学
授業科目	応用獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	動物衛生研究所
担当教員名	筒井 俊之
e-mail	tsutsui@affrc.go.jp
教育研究指導分野	動物感染症疫学
科目名	家畜感染症の流行疫学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	動物感染症の流行要因の解析に応用する疫学手法について実例を用いながら概説し、より詳細な分析を行うための統計学的手法について説明する。さらに、動物感染症の流行動態の解析や対策の評価に用いるシミュレーションモデル、発生予防措置を検討するために用いるリスクアセスメントについて説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	佐藤 文夫
e-mail	Fumio_Sato@jra.go.jp
教育研究指導分野	馬生産育成学
科目名	馬の生産および疾病管理
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	軽種馬の生産および育成技術の向上を目指して、誕生から競走馬になるまでの 育成期全般における飼養管理方法の改善、新生子学、若馬特有の内科および 外科疾患の診断・治療・予防方法の解明、新たな調教・馴致法の導入に関する 体系的な調査研究の紹介。そこでは、軽種馬の X 線や内視鏡、エコーを用いた 画像診断法や一次診療などの臨床獣医学的なことから、内分泌学、生理学や 行動学的手法を用いた調査研究まで馬に関することを学ぶ。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより 総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等 について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (IIIb)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	桑野 睦敏
e-mail	hoofvet@center.equinst.go.jp
教育研究指導分野	馬蹄病学
科目名	馬の蹄病理学および臨床医学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	スライド写真やビデオ画像などを使い、ウマの特殊な肢端構造である蹄の解剖学および各種蹄病について、解剖学的、病理学的、生化学的および病原微生物学的知見を教育。また、日本の装蹄技術についても紹介する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7731b
連合講座	臨床獣医学
授業科目	臨床獣医学特論 (Ⅲb)
配置大学	JRA 競走馬総合研究所
担当教員名	大村 一
e-mail	hajime@equinst.go.jp
教育研究指導分野	馬生理学
科目名	馬運動生理学
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	運動中の呼吸循環応答を概説し、馬の生理学的特徴について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	末水 洋志
e-mail	suemizu@ciea.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	遺伝子改変動物作製の実際とヒト化動物
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	免疫不全マウスにヒト細胞・組織を生着させたヒト化マウスに関して概説し、様々な疾患・病態、あるいは正常生体機能を反映したモデル（免疫・感染症、薬物代謝）について説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	橋本 晴夫
e-mail	hashimot@cica.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	実験動物の開発・育成の基礎とモデル動物
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	実験動物の歴史、飼育技術、遺伝子改変技術について概説し、糖尿病を例に糖尿病モデル動物の変遷と現在の 2 型糖尿病モデルマウスについて説明する。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。

平成 30 年度前学期
岐阜大学大学院連合獣医学研究科シラバス

シラバス No	VES_VES7131b
連合講座	基礎獣医学
授業科目	基礎獣医学特論 (IIIb)
配置大学	実験動物中央研究所
担当教員名	林元 展人
e-mail	nobuh@ciea.or.jp
教育研究指導分野	実験動物学
科目名	実験動物の品質管理、感染症とそのモデル
単位数	2
必修および選択	選択
教育目標	講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、学位論文の作成を支援する。
教育内容	本科目ではマウス、ラットの感染症を概説するとともに、具体的な微生物学的品質管理（衛生管理、検査手法）について説明する。また、昨今使用されるマウス、ラットを用いた感染症モデルについて説明を行う。
評価方法	受講状況と受講後のレポートにより総合的に評価する。
備考	指導教員が履修者を教育しながら、学位論文の作成等について支援するものである。